

第3次栗原市総合計画策定に関する

結婚・出産・子育て意識調査結果



令和8年2月
栗原市

(1) 目的

令和9年度から令和18年度までの10年間を計画期間としている「第3次栗原市総合計画」の策定にあたり、結婚・出産・子育てに関する多様な価値観やご意見を把握し、それぞれのライフスタイルに寄り添った支援のあり方を検討するために実施したものを。

(2) 調査対象

栗原市在住の18歳～49歳の市民から2,500人を無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配布・回収、及びインターネットによる回答の併用

(4) 実施時期

配布 令和7年9月12日

回収 令和7年9月30日

(5) 回収件数及び回収率

回収件数 707件（うち紙面による回収件数405件、インターネットによる回収件数302件）

回収率 28.3%

(6) 調査結果

グラフの構成比の端数処理については、四捨五入の関係から合計が100.0%にならない場合があります。

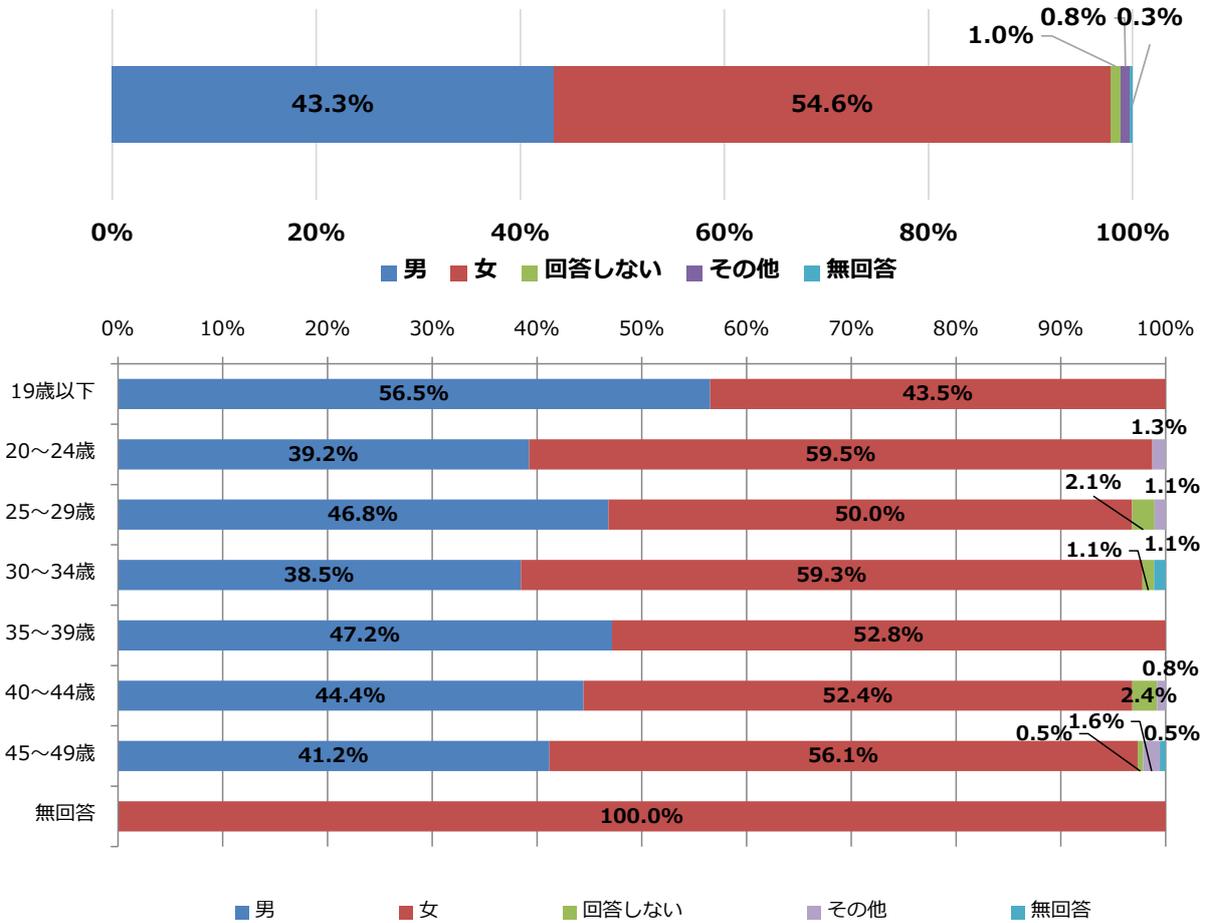
複数回答可の設問では、各選択肢の回答率を算出しているため、合計値が100%にならない場合があります。

- ①回答者の属性（性別・年齢・家族構成・職業・居住地・住宅の建て方・居住年数） P 2
- ②結婚・出産・子育てについて P 8
- ③仕事のあり方について P 3 5.
- ④栗原市の施策について P 3 9
- ⑤結婚や出産、子育てがしやすいまちおよび若者が定着するために必要なこと自由記述一覧 p 4 2

①回答者の属性

(性別・年齢・家族構成・職業・居住地・住まいのあり方・居住年数)

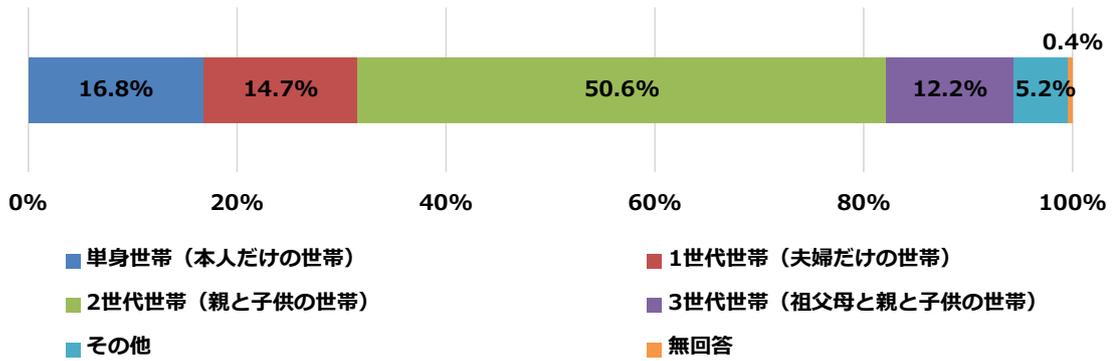
◆性別



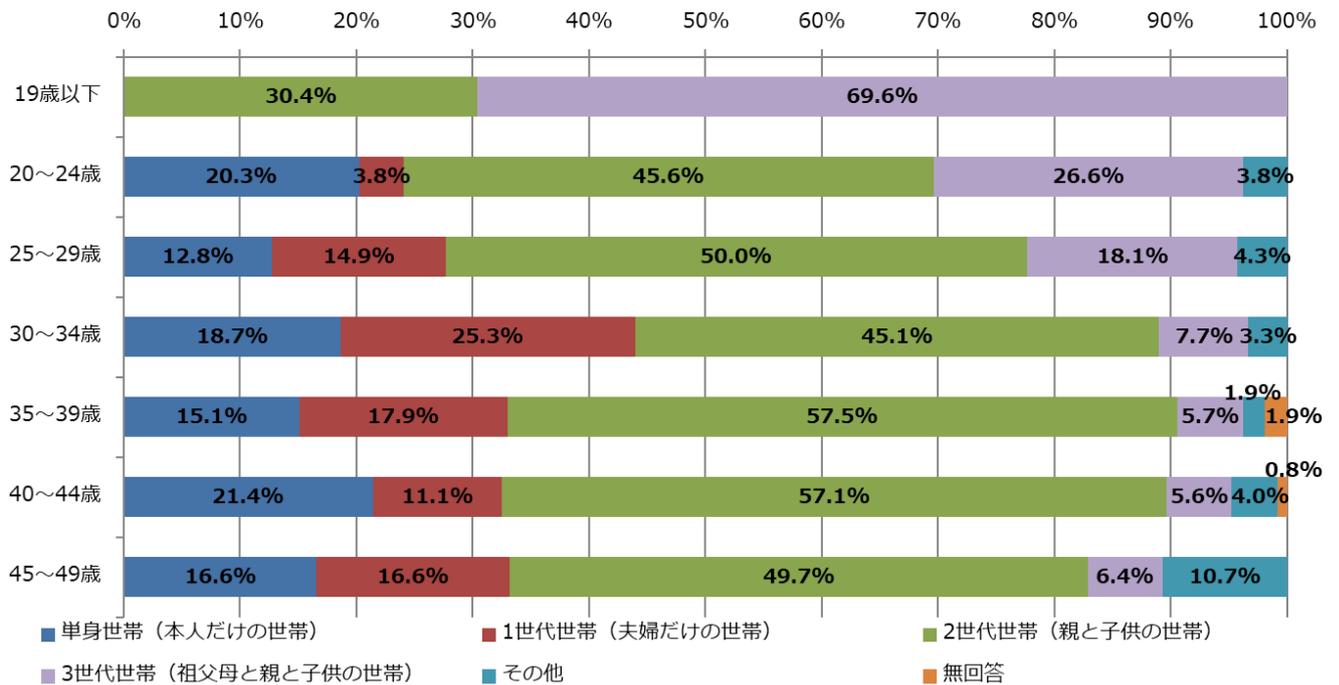
◆年齢



◆ 家族構成

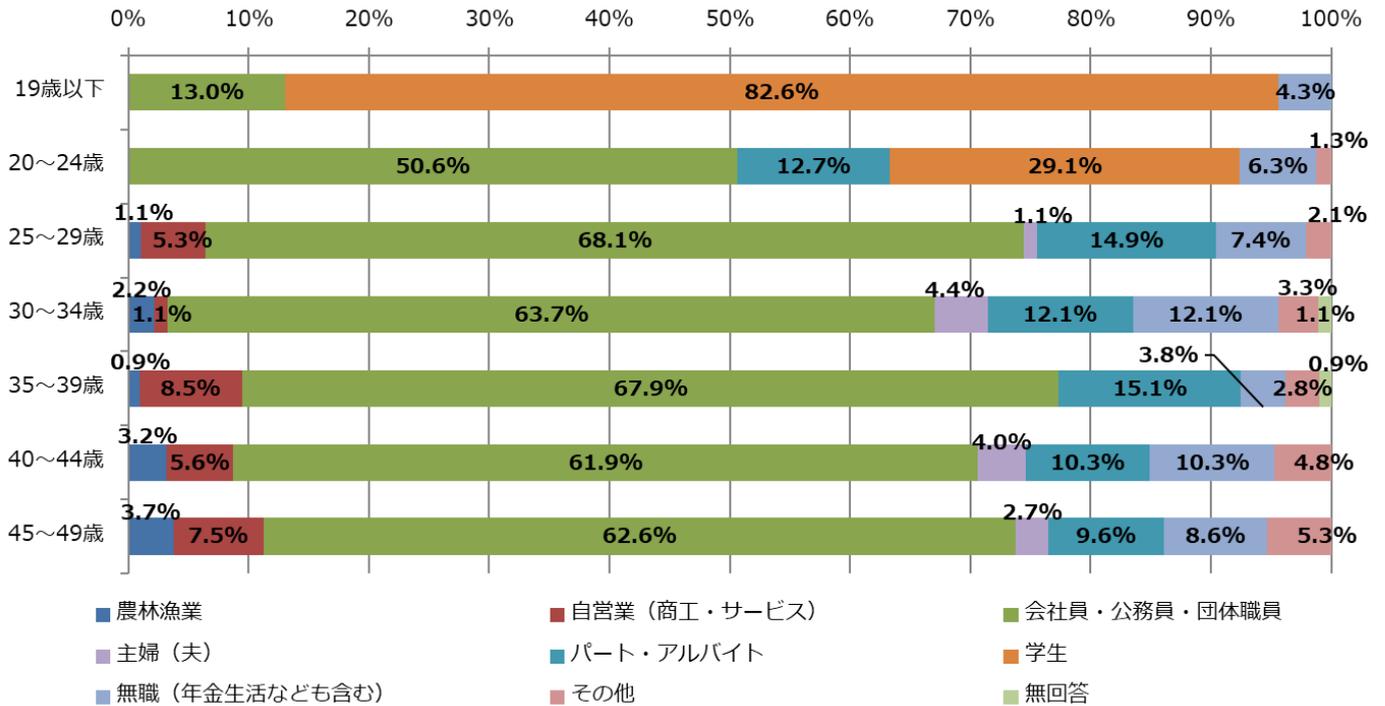
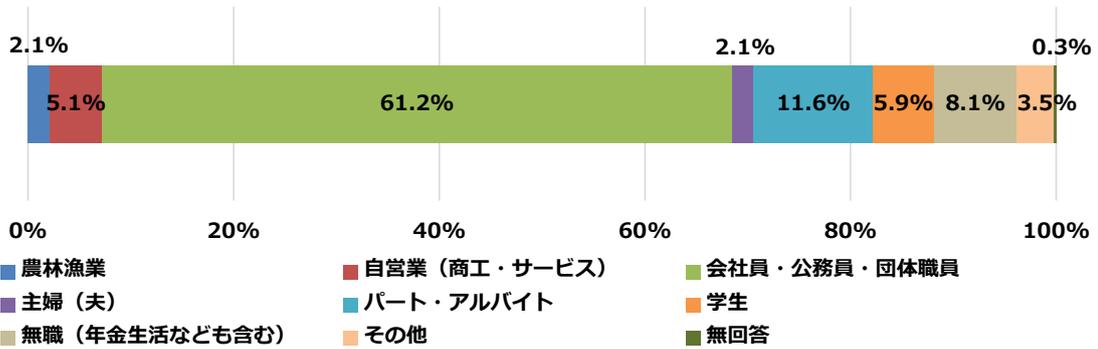


【年代別】



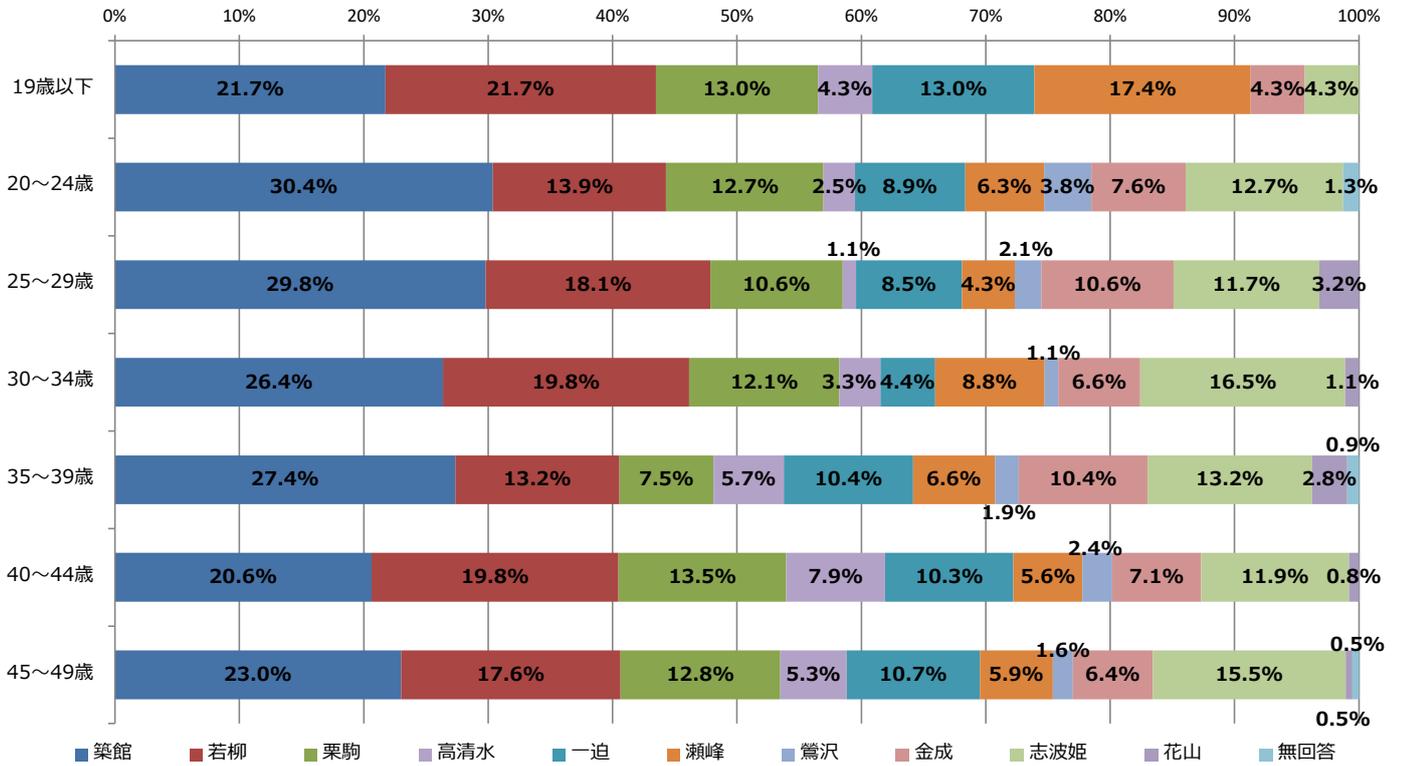
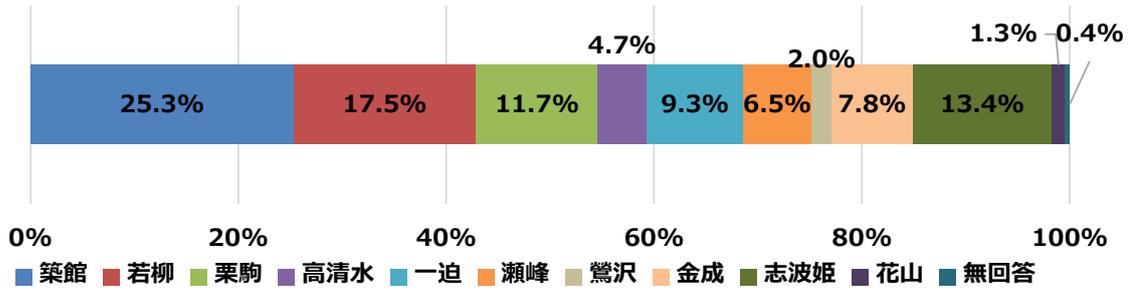
その他の自由回答	
2世代 3世代の 2世帯の家族構成	夫・自分・義父
4世代世帯(曾祖母と親と子供) (2)	親と子供
家族構成は4だが、学生の為他県に在住している。	夫婦と子供の世帯
両親と自分 (両親と本人、本人と両親) (3)	父親一人と子供2人
夫婦と妻の母親	祖母
親と同居	本人と婚約者
親の世帯	兄弟 (2)
親と本人	本人と兄のみ
母と妹と本人の世帯	姉と同居
親と兄だけ	同棲 (4)
親と本人と弟	子連れ彼女
本人と親 (母のみ)	

◆職業

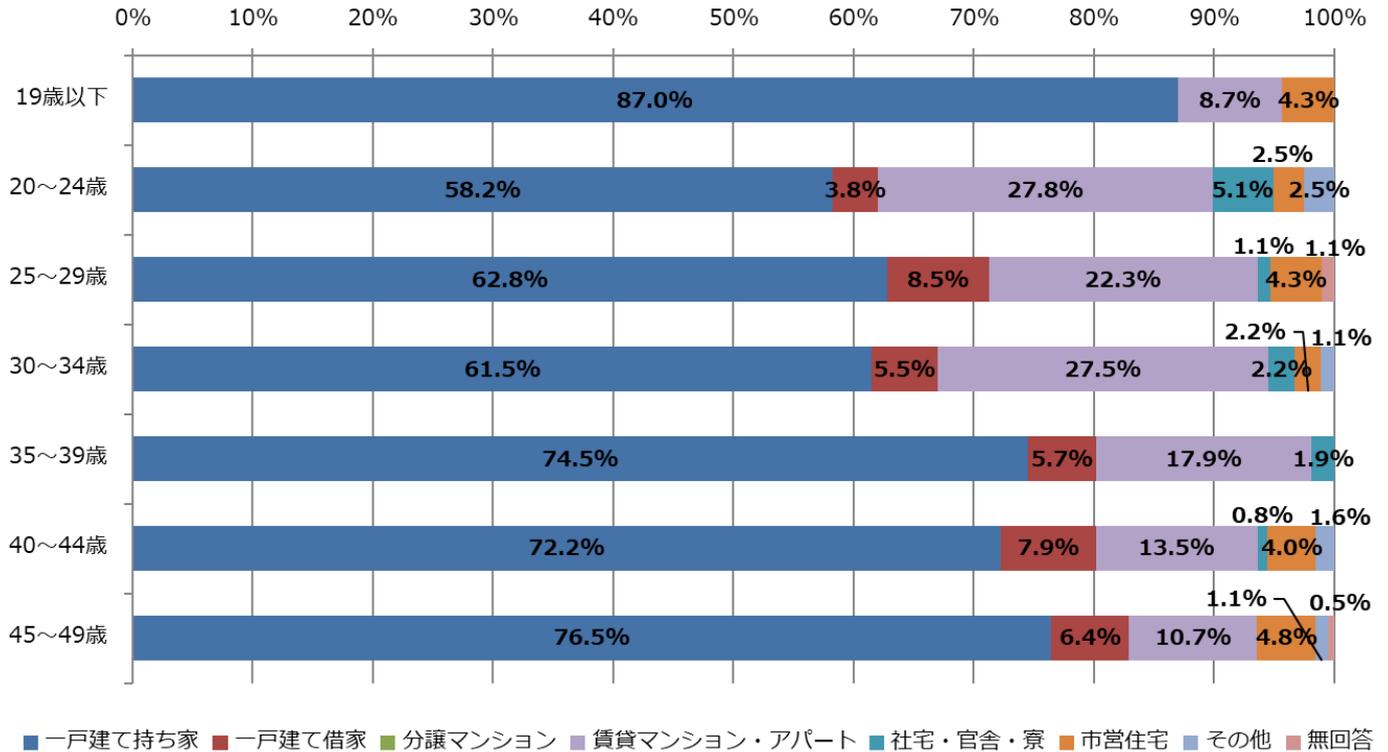
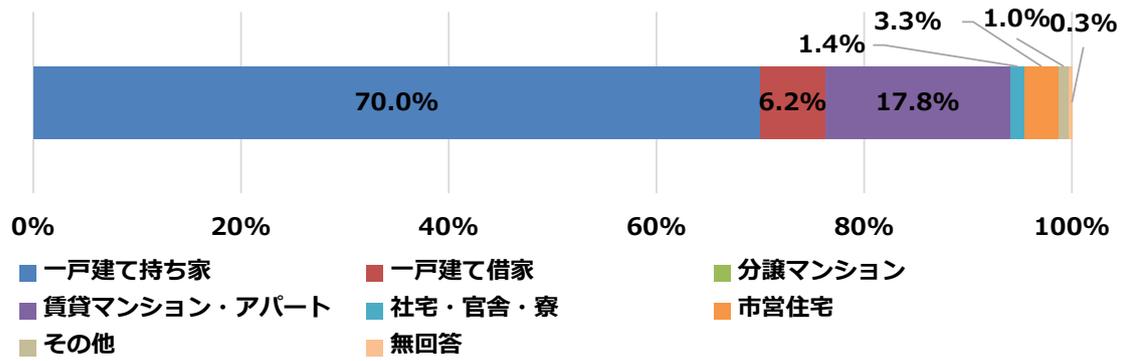


その他の自由回答	
福祉関係	製造業
介護職員	販売員
社会福祉法人・福祉事業所通所（2）	サービス業
会社員	フリーランス
会社役員	大工
契約社員	病気療養
派遣社員（2）	療養中

◆居住地

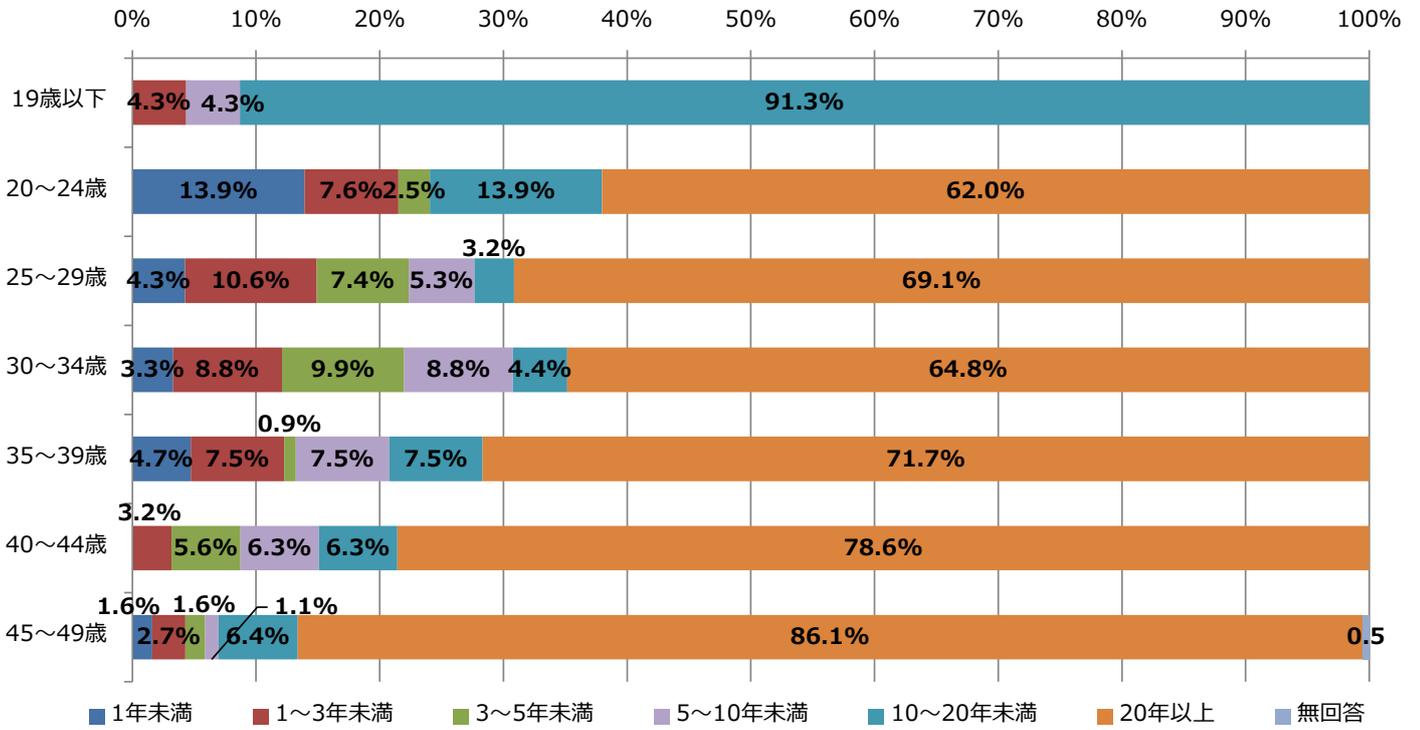
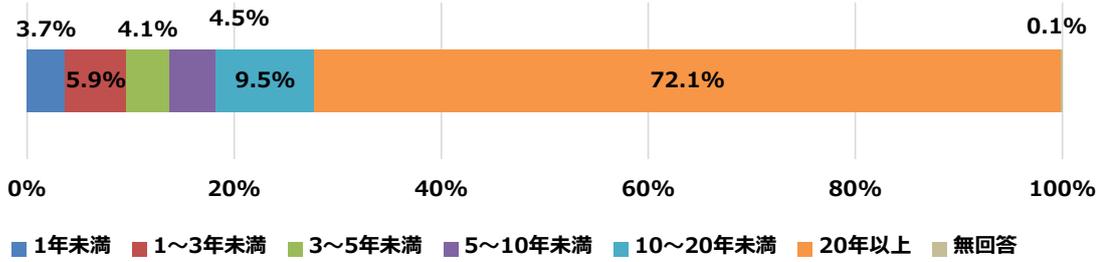


◆住まいのあり方



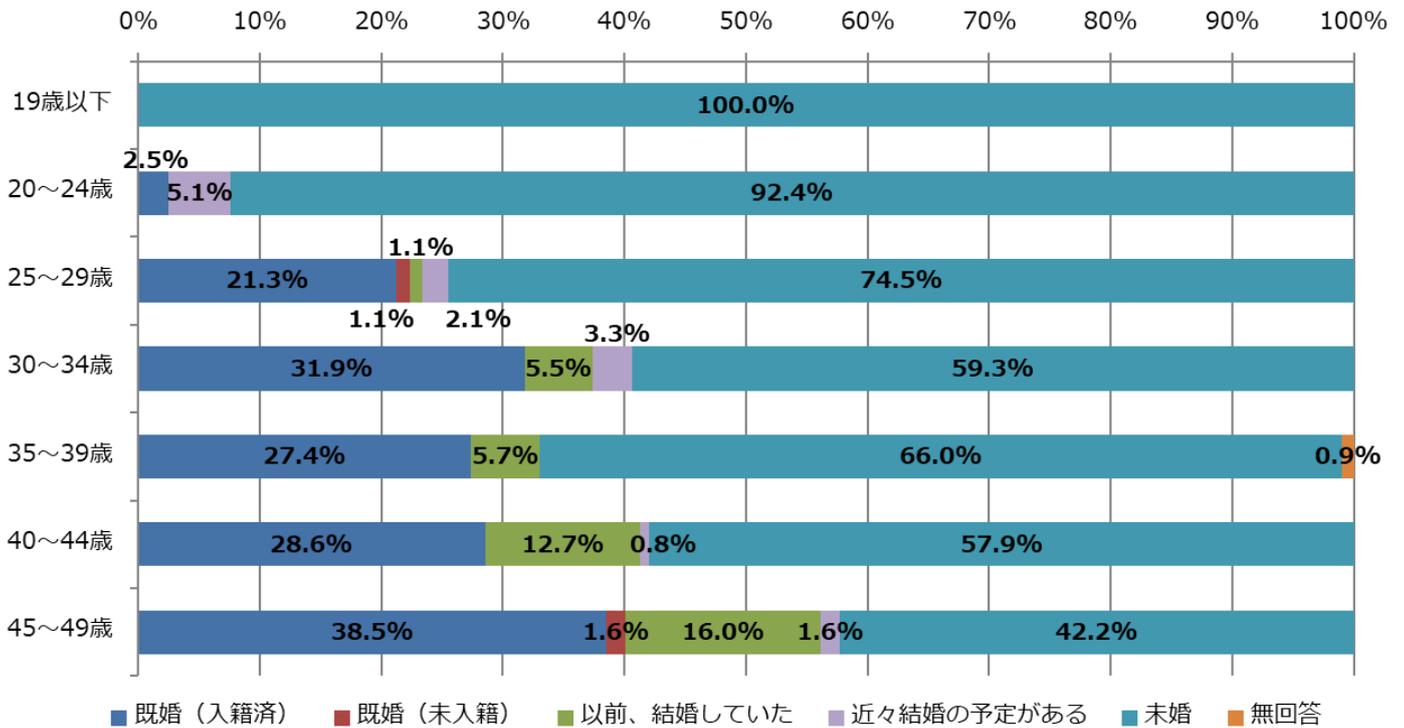
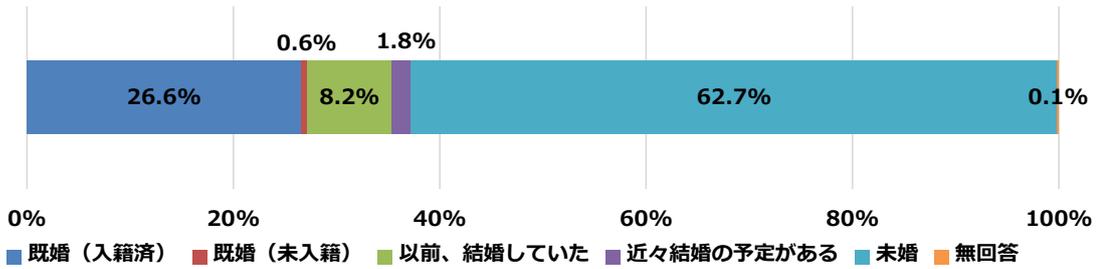
その他の自由回答
家族所有（家族の持ち家、親の一軒家）（2）
県営住宅
1だが現在は4。

◆居住年数



②結婚・出産・子育てについて

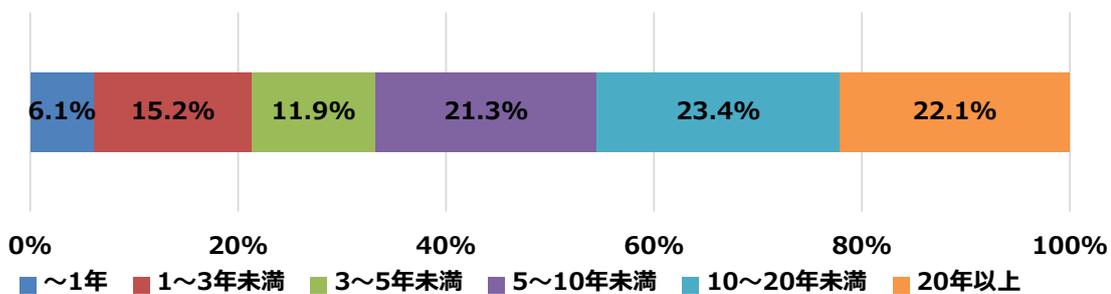
◆結婚しているか



◆考察

・19歳以下では「未婚」が100.0%となっており、20歳代でも「未婚」の割合が高い状況にあり、40～44歳においても「未婚」の割合が半分以上を占めており、晩婚化の傾向が読み取れる。40歳代では「以前、結婚していた」とする割合が10%以上となっている。また、「近々結婚する予定がある」の割合は年齢が高くなると減少する傾向にあるが、35～39歳では0%となっている。

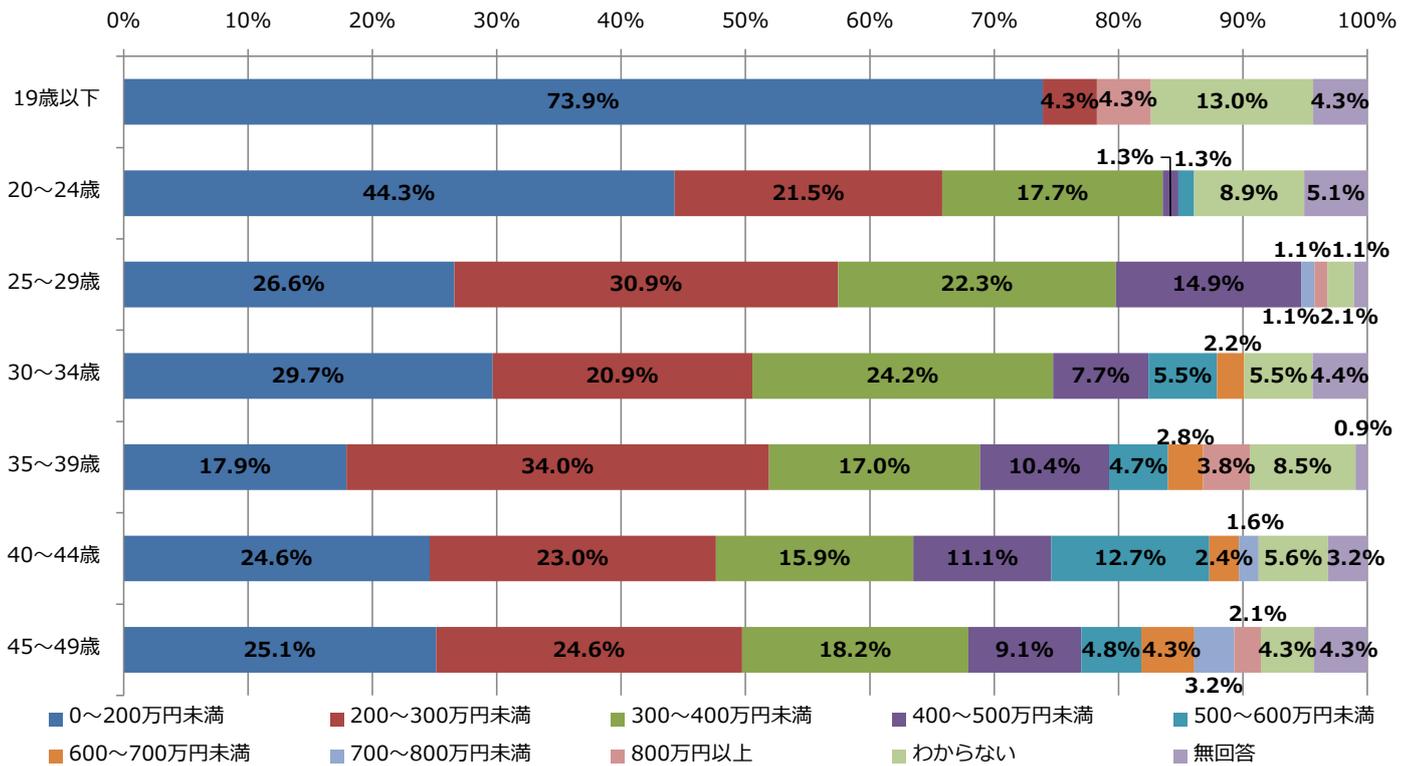
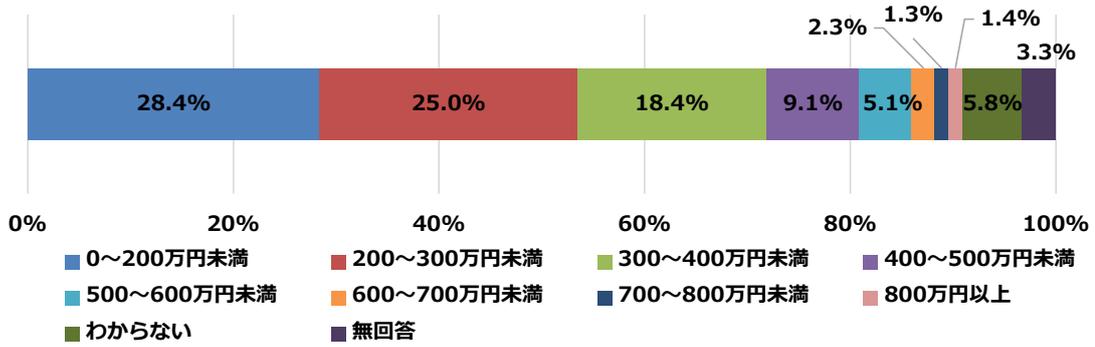
◆結婚期間は



◆考察

・「10～20年未満」が23.4%と最も多く、次いで「20年以上」が22.1%、「5～10年未満」が21.3%と続いている。

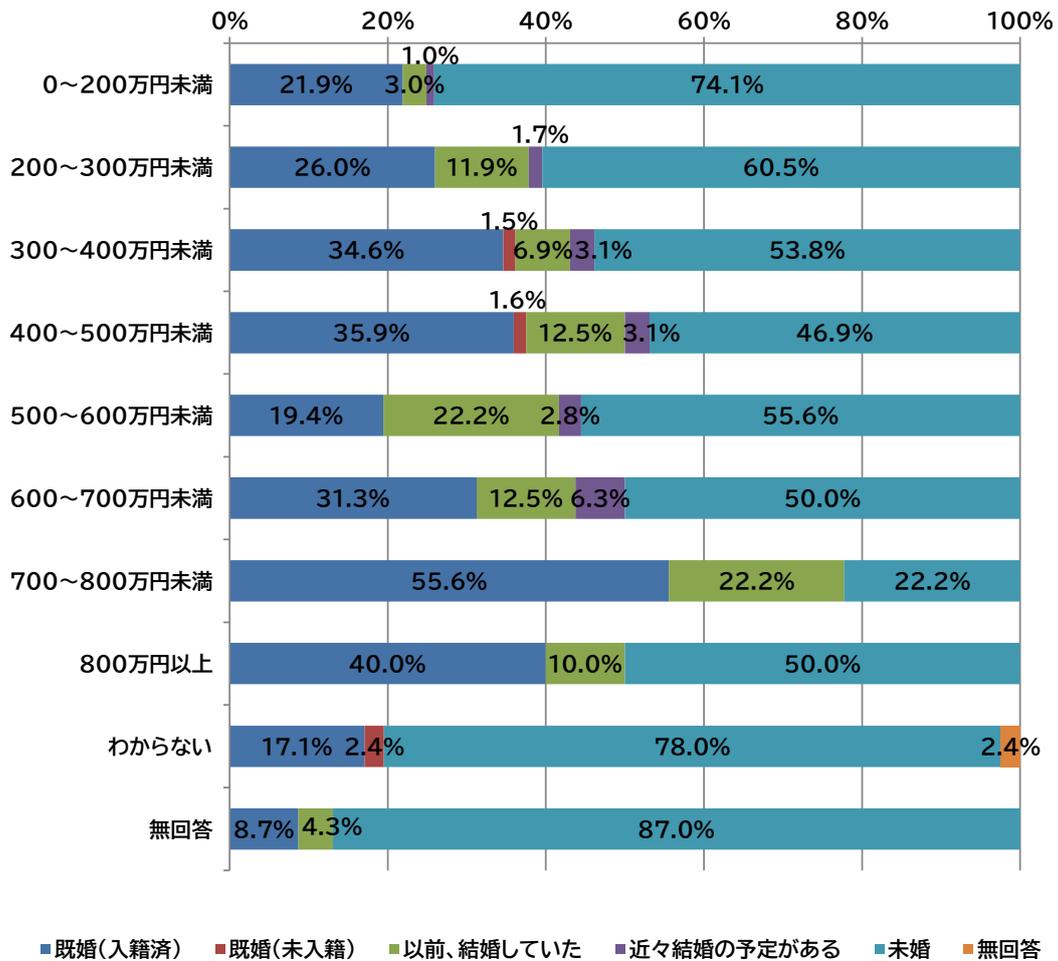
◆おおよその年収は



◆考察

・19歳以下では「0~200万円未満」が73.9%を占めており、年齢が上がり30~34歳にかけて徐々に年収も上昇しているが、それ以上の年代では概ね変動は少なく、半数前後が300万円未満となっている。

◆年収別結婚の状況は

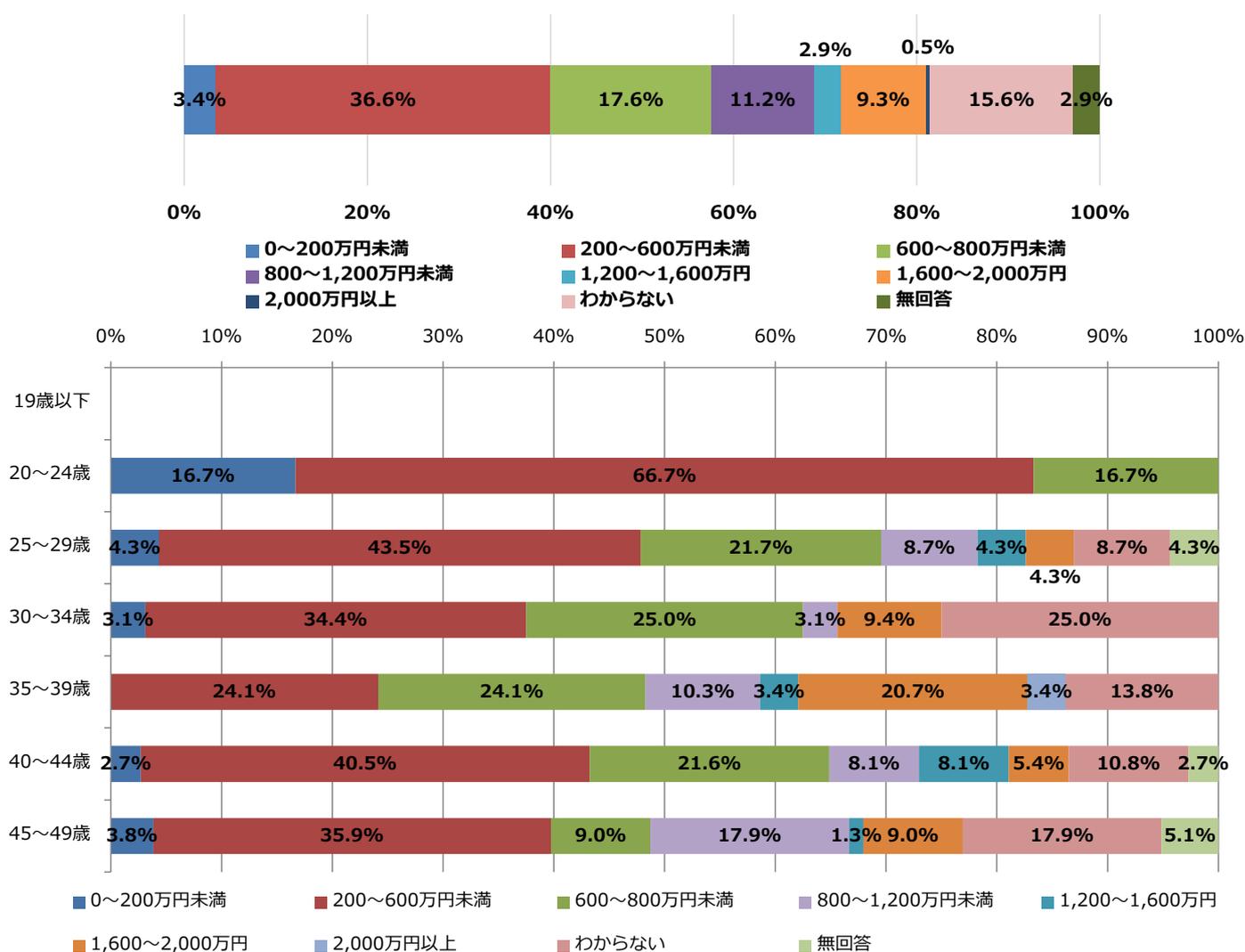


◆考察

・年収が「400~500万円未満」まで上がるにつれて、既婚（入籍済）の割合が高くなっている。なお、既婚（入籍済）の割合が最も低いのは「500~600万円未満」、最も高いのは「700~800万円未満」となっている。

◆あなたとパートナーを合わせたおおよその年収

(「既婚(入籍済)」「既婚(未入籍)」「近々結婚の予定がある」と回答した方)

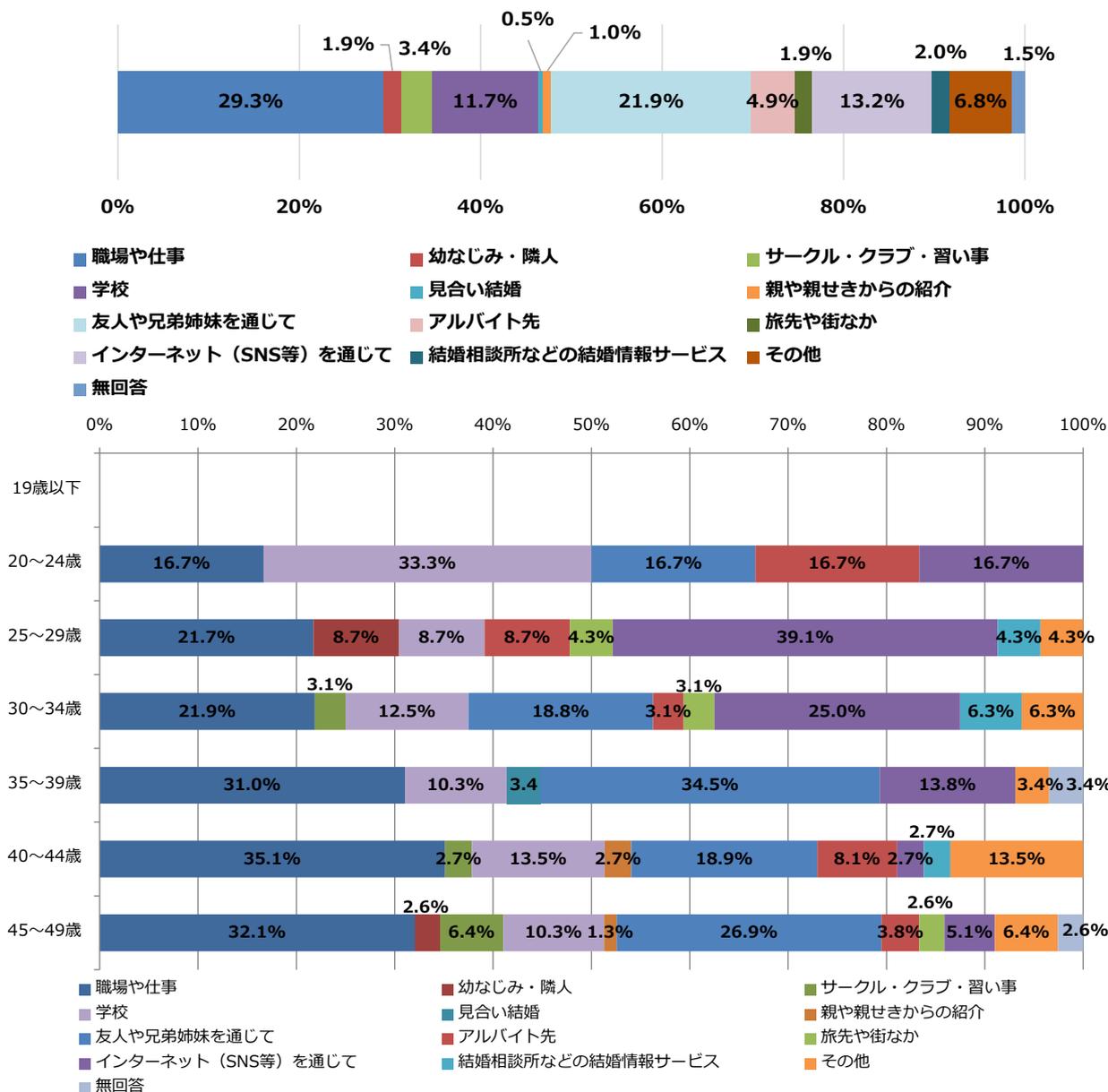


◆考察

・パートナーがいる20歳以上で、パートナーと合わせた年収は、いずれも「200~600万円未満」が最も多くなっており、20~24歳で66.7%、25~29歳で43.5%を占めている。年齢が上がると徐々に年収も上昇し、35~39歳では1,600~2,000万円が20.7%を占めている。

◆パートナーとどこで知り合ったか

(「既婚 (入籍済)」「既婚 (未入籍)」「近々結婚の予定がある」と回答した方)

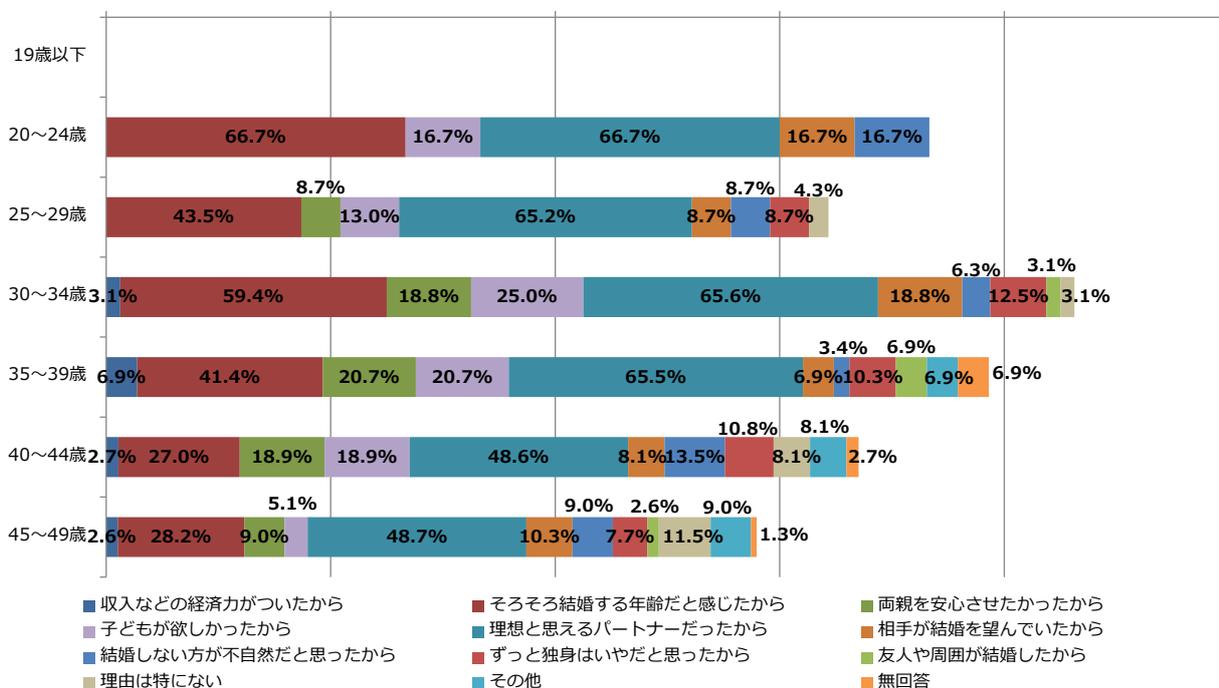
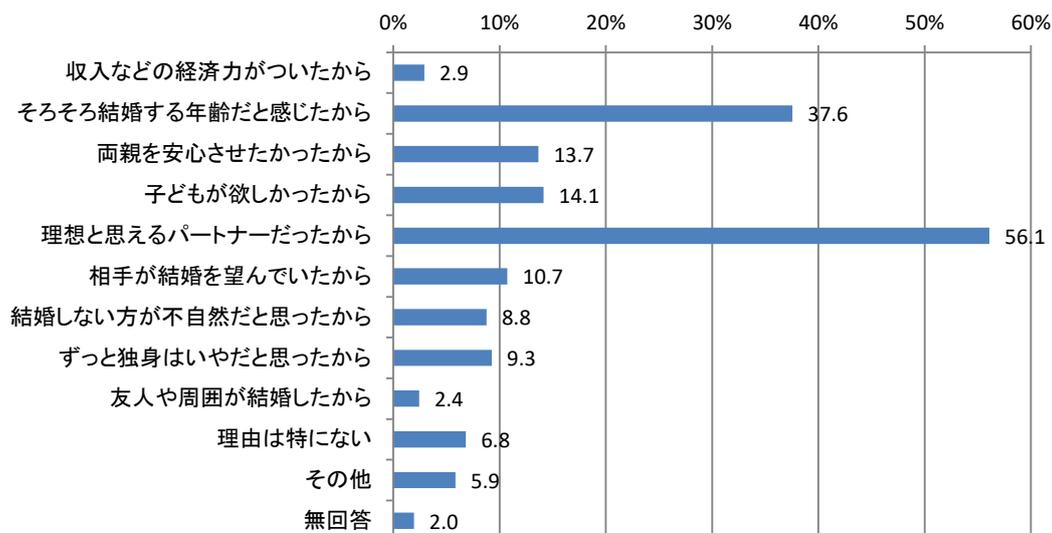


その他の自由回答	
職場の先輩からの紹介 (2)	婚活イベント
知人からの紹介	市のイベント (クリスマスパーティー)
他地域で地域盛り上げる為の活動中	マッチングアプリ
勤め先のお客さん	電話で。
飲み会	何故そこまで答える必要があるか分からない。
居酒屋	出会いなし

◆考察

・20~24歳で「学校」33.3%、「アルバイト先」16.7%などがあるが、25~29歳では「インターネット (SNS等) を通じて」が39.1%と多く、35歳以上では「職場や仕事」「見合い結婚」の割合が高くなっている。

◆パートナーと結婚を決めたきっかけは（最大3項目まで回答）
 （「既婚（入籍済）」「既婚（未入籍）」「近々結婚の予定がある」と回答した方）



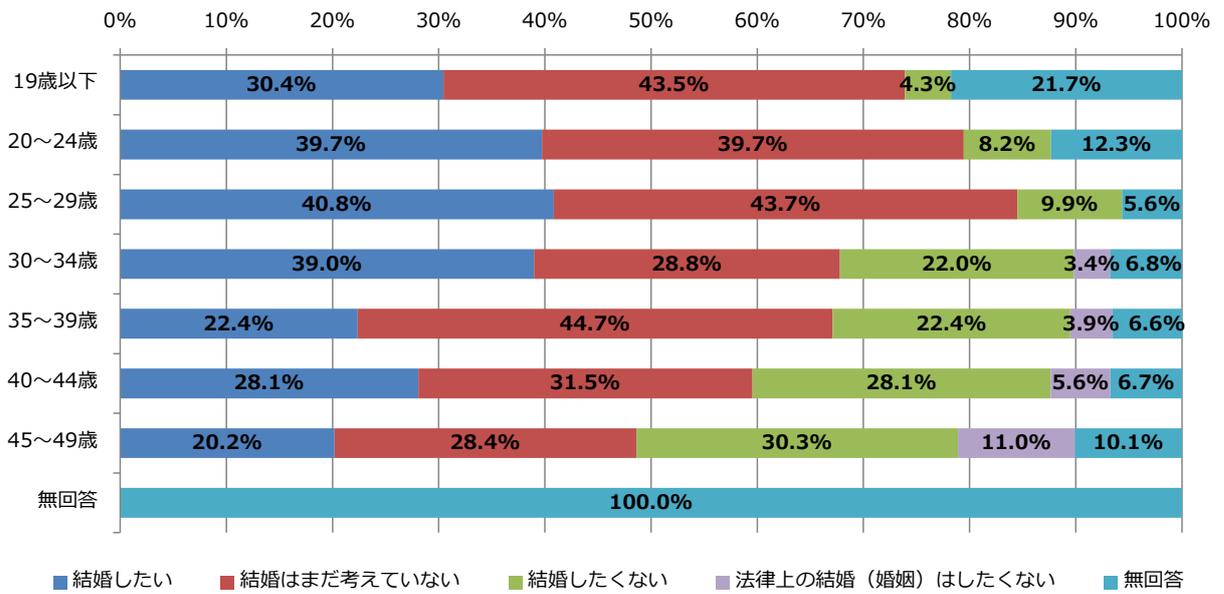
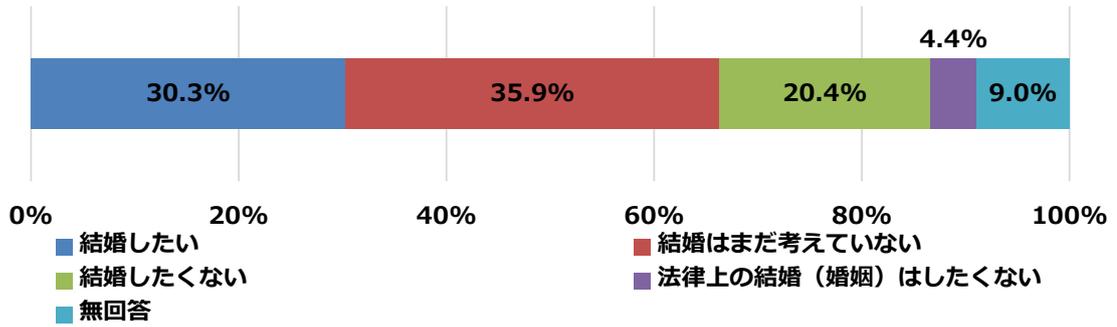
その他の自由回答	
子供ができ、自然な流れで。	制度等で不利益だから。
子供が出来たから（2）	しないより、する方が良かったから。
相手の事が好きだから。	異動の関係で会うのに交通費がかかりすぎるから
運命だった！	説明する必要ないと思う。プライバシーの侵害かと！
婚姻関係がないと診察に同行できなかつたり、入院中 会えなかつたりするため。	

◆考察

- ・どの年代も「理想と思えるパートナーだったから」が最も多くなっているが、20～24歳と30～34歳で「そろそろ結婚する年齢だと感じたから」それぞれ66.7%、59.4%を占めている。

◆結婚の希望

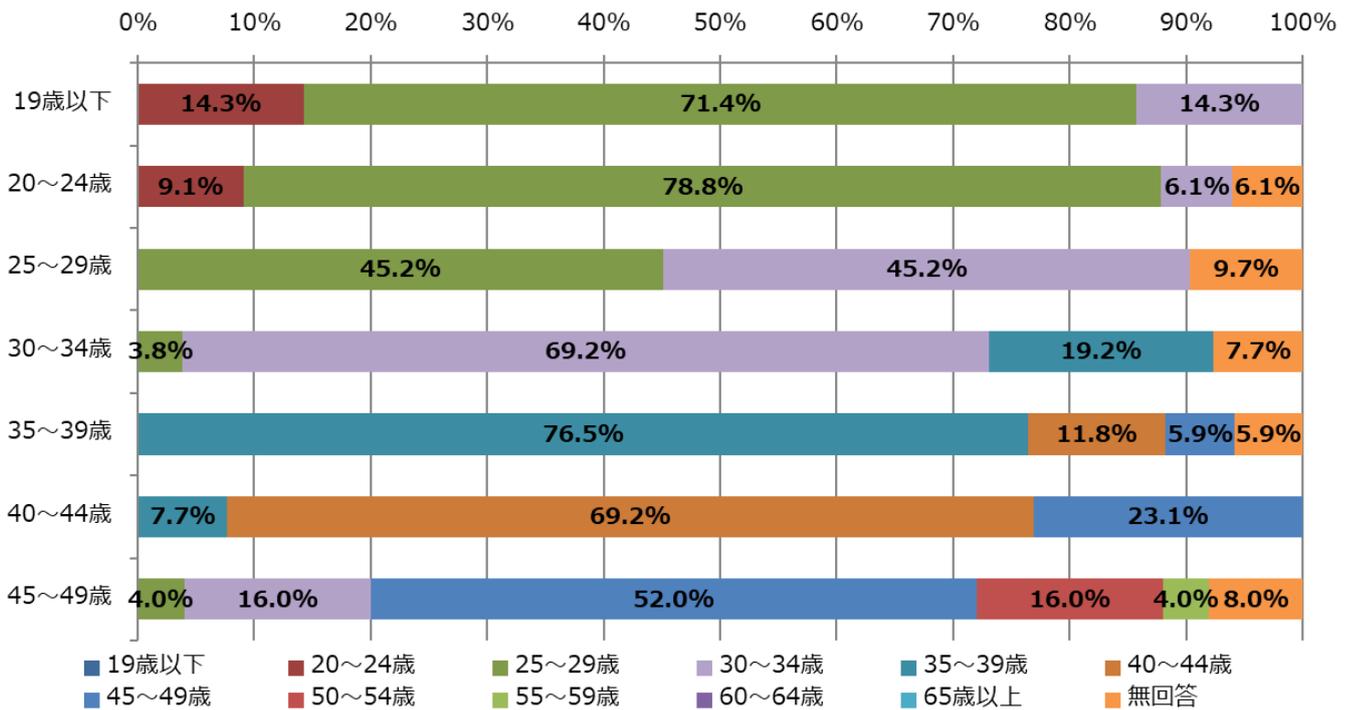
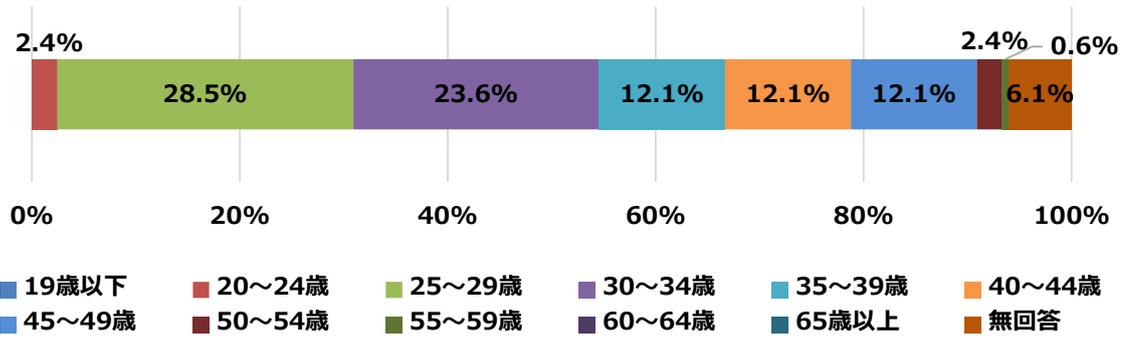
(「以前、結婚していた」「未婚」と回答した方)



◆考察

- ・19歳以下から30~34歳までの若い世代では、「結婚したい」の割合が40%前後あるが、それ以上の世代も含めて「結婚はまだ考えていない」も40%前後あり、30歳以上では「結婚したくない」が20%以上を占めている。

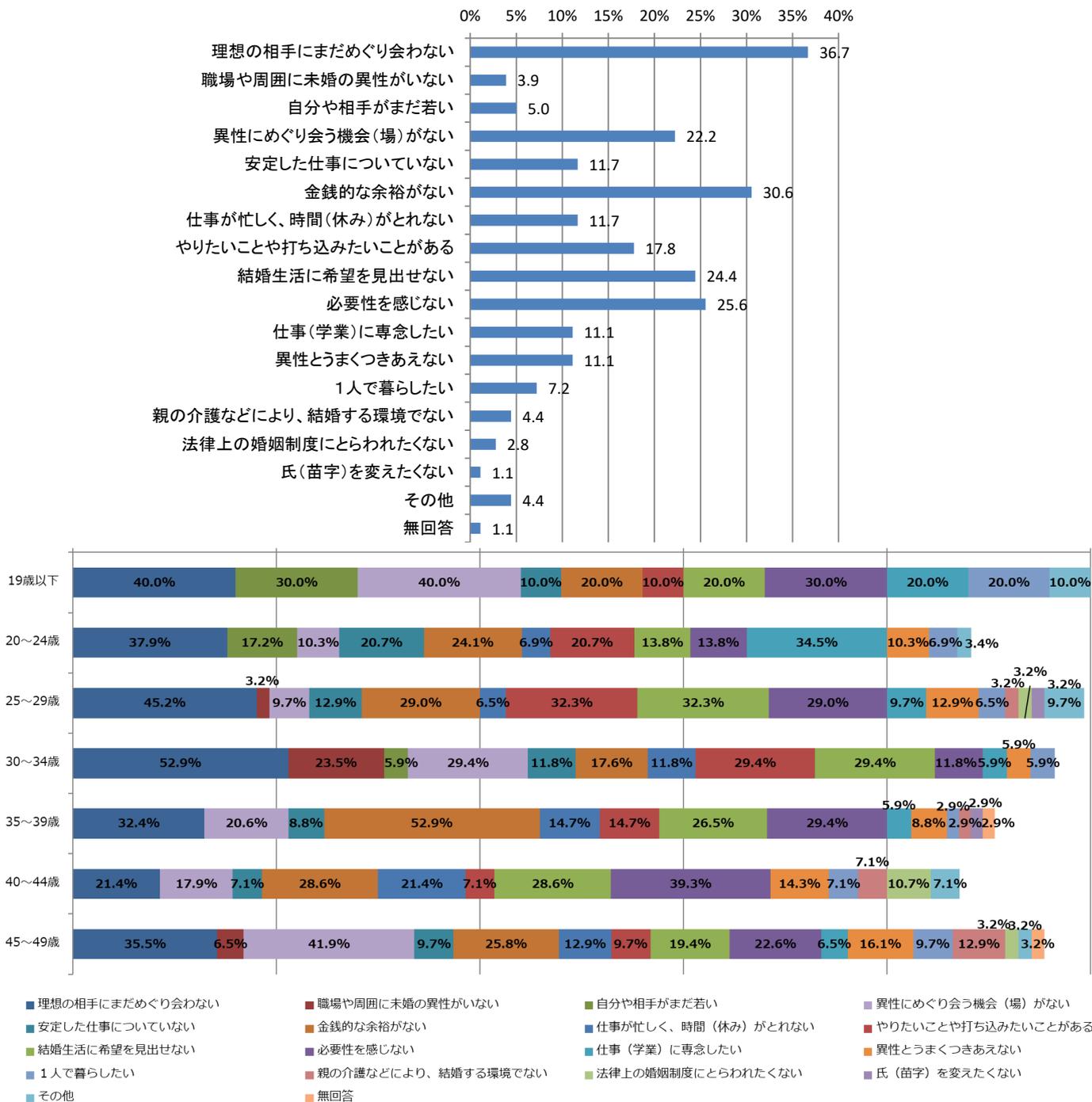
◆結婚の予定または希望する結婚年齢は
 (「近々結婚の予定がある」または「結婚したい」と回答した方)



◆考察

・25~29歳までの若い世代では「25~29歳」とする割合が最も多いが、30~34歳以上の世代では自分の現在の年齢階層（つまり近い将来）での結婚を希望する割合が高くなっている。

◆結婚をまだ考えていない理由は（最大3項目まで回答）
（「結婚はまだ考えていない」と回答した方）



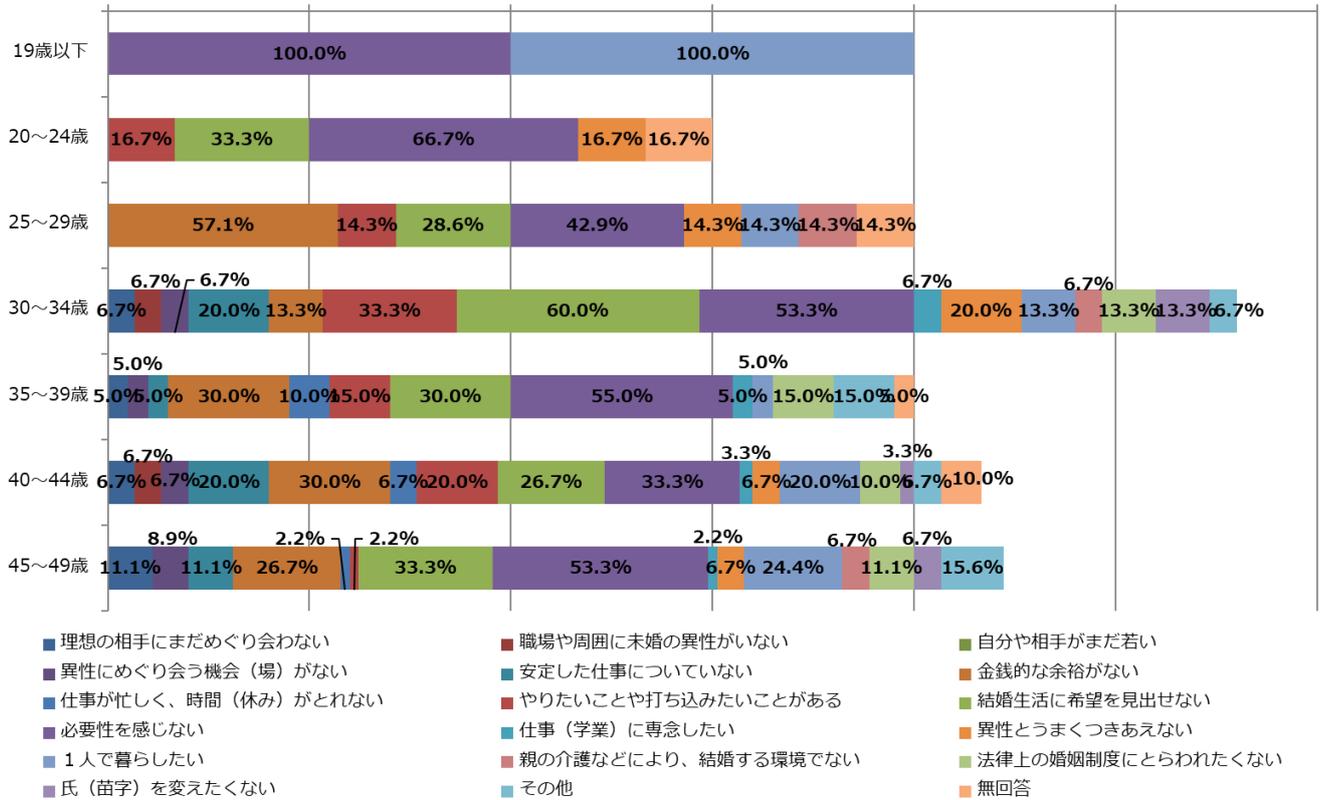
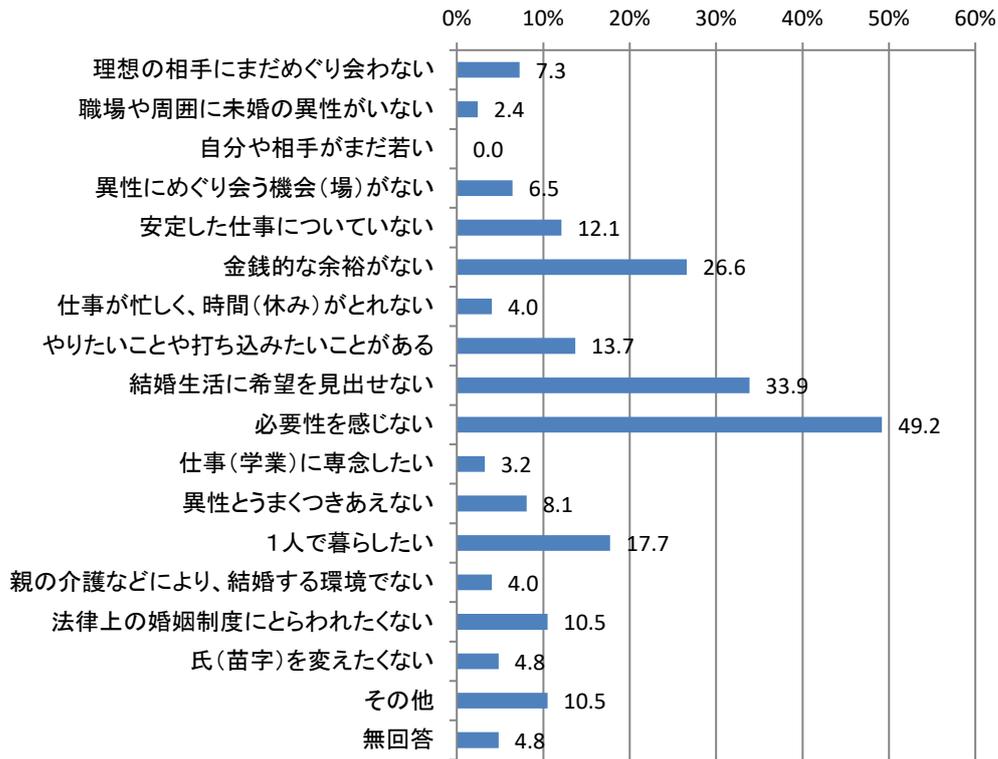
その他の自由回答	
家事をしない人と一緒に暮らせない。	結婚の必要性を感じない。
障害がある。	結婚する環境でない。
知的問題	人との生活が面倒に感じる
健康面的に問題がある。相手に迷惑かける。	

◆考察

・19歳以下から30～34歳までの若い世代では、「理想の相手にまだめぐり会わない」の割合が高いが、35～39歳では「金銭的な余裕がない」が52.9%、45～49歳では「異性にめぐり会う機会（場）がない」が41.9%と最も多くなっている。

◆結婚したくない理由は（最大3項目まで回答）

（「結婚したくない」「法律上の結婚はしたくない」と回答した方）

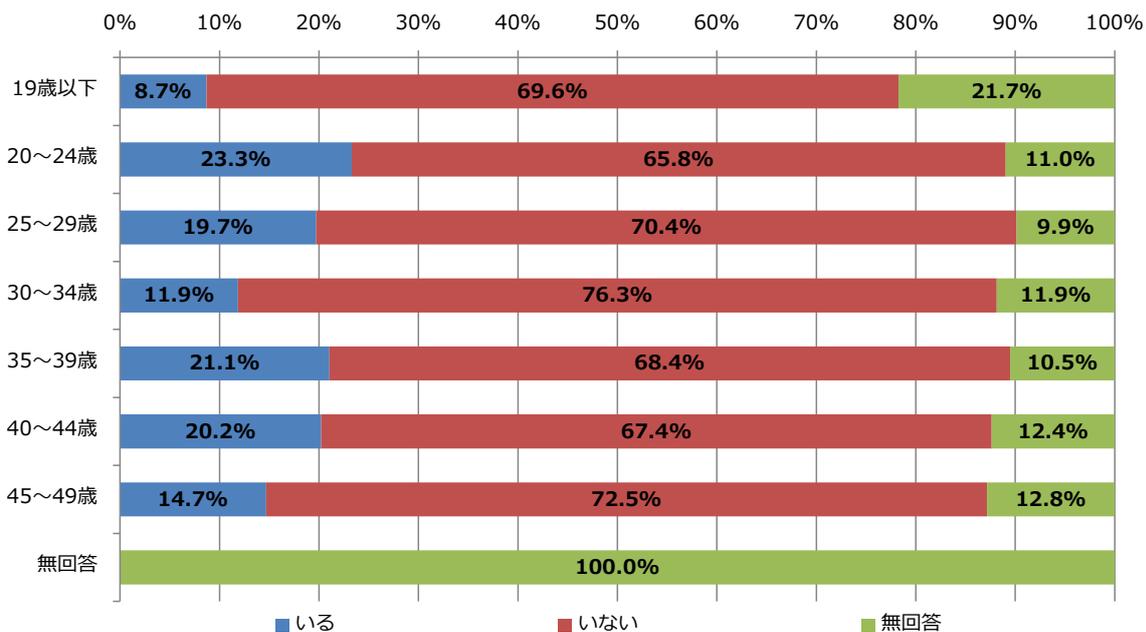
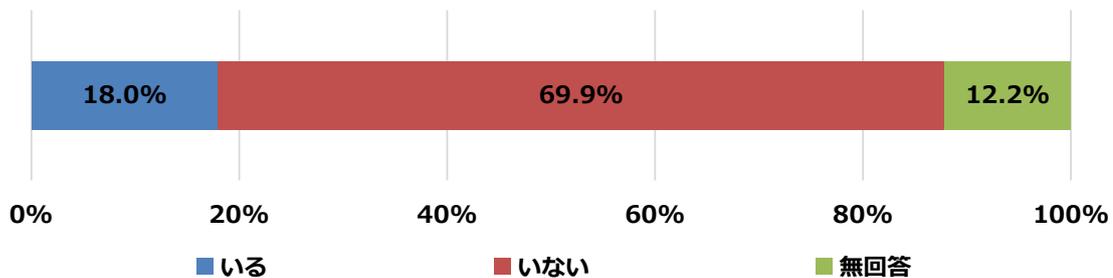


その他の自由回答	
子供ができないので。	重度障害を持っているため。
面倒、邪魔である。	障がいを持っているため。
人と関わる事が苦手な所があり、自分にはうまく出来ないと考えているから。	病気
人間関係の不安	収入がない。責任が怖い。自身がない。
単純に他人が怖い	デメリットのほうが多い
性格的に無理。	お互いの、家の家族構成
理解してもらえない。	猫だけで良い

◆考察

- ・どの年代でも「必要性を感じない」が多くなっており、「金銭的な余裕がない」「結婚生活に希望を見出せない」なども多くなっている。

◆交際している人はいるか
 (「以前、結婚していた」「未婚」と回答した方)

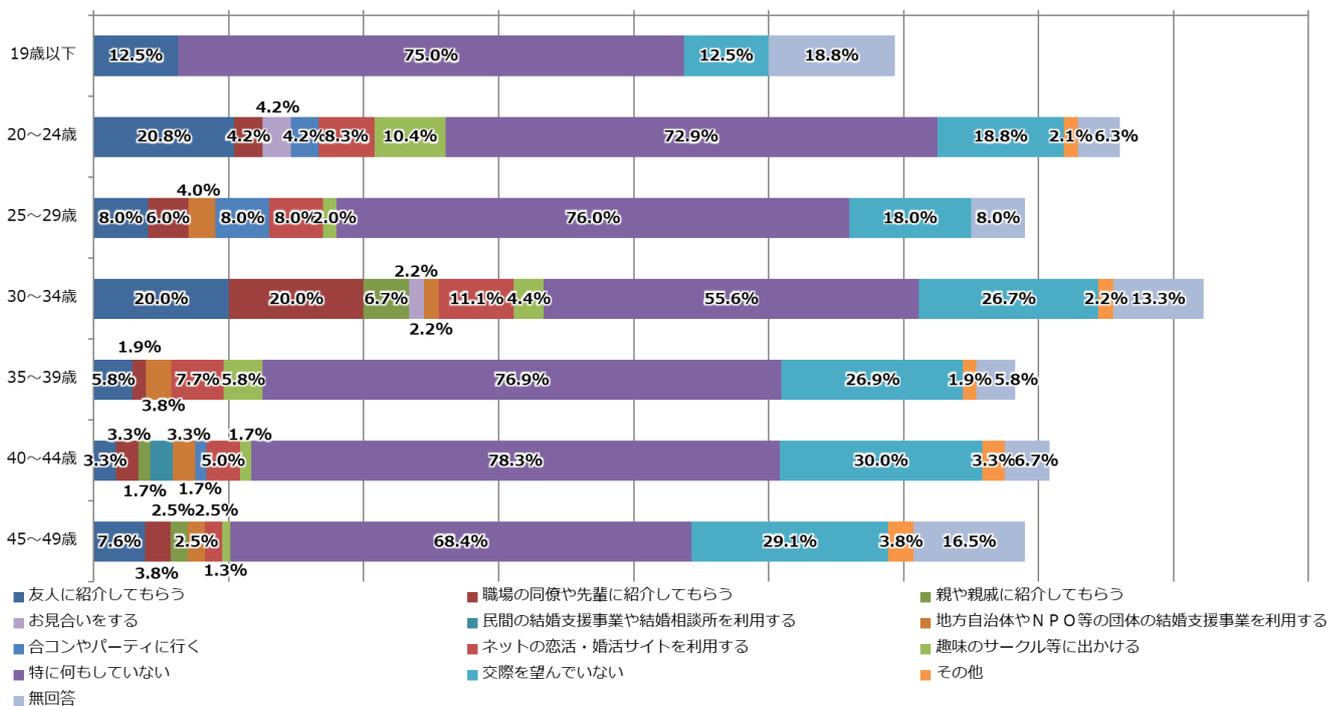
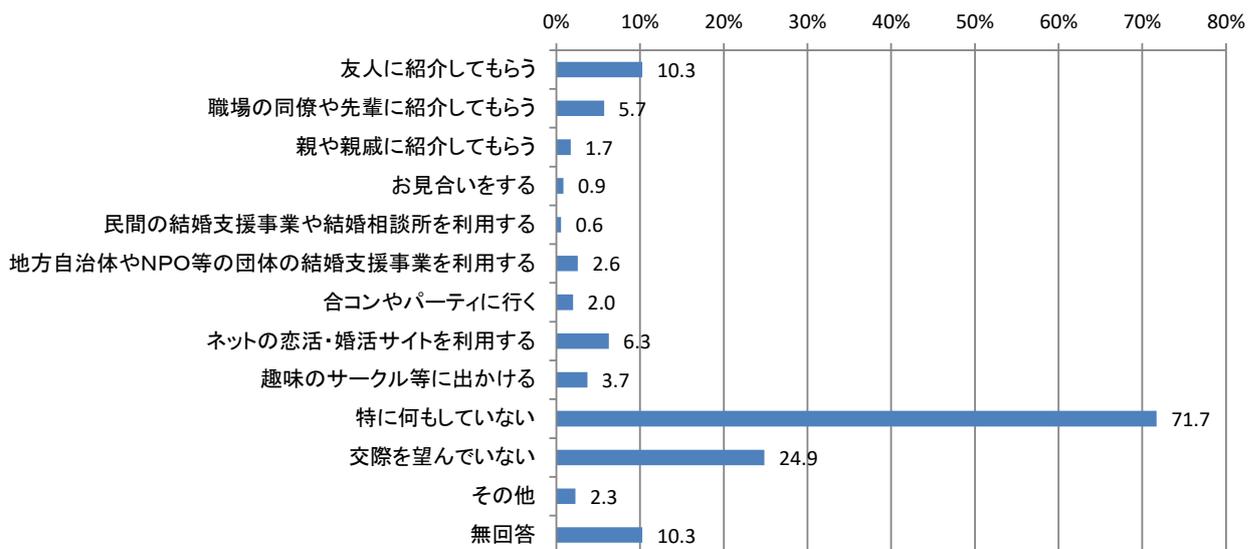


◆考察

・いずれの年代も「いない」とする回答が多く70%前後を占めている。

◆交際相手と出会うために行っていること。また、今後行いたいことは
 (「交際されている方はいない」と回答した方)

【現在行っていること】(最大3項目まで回答)

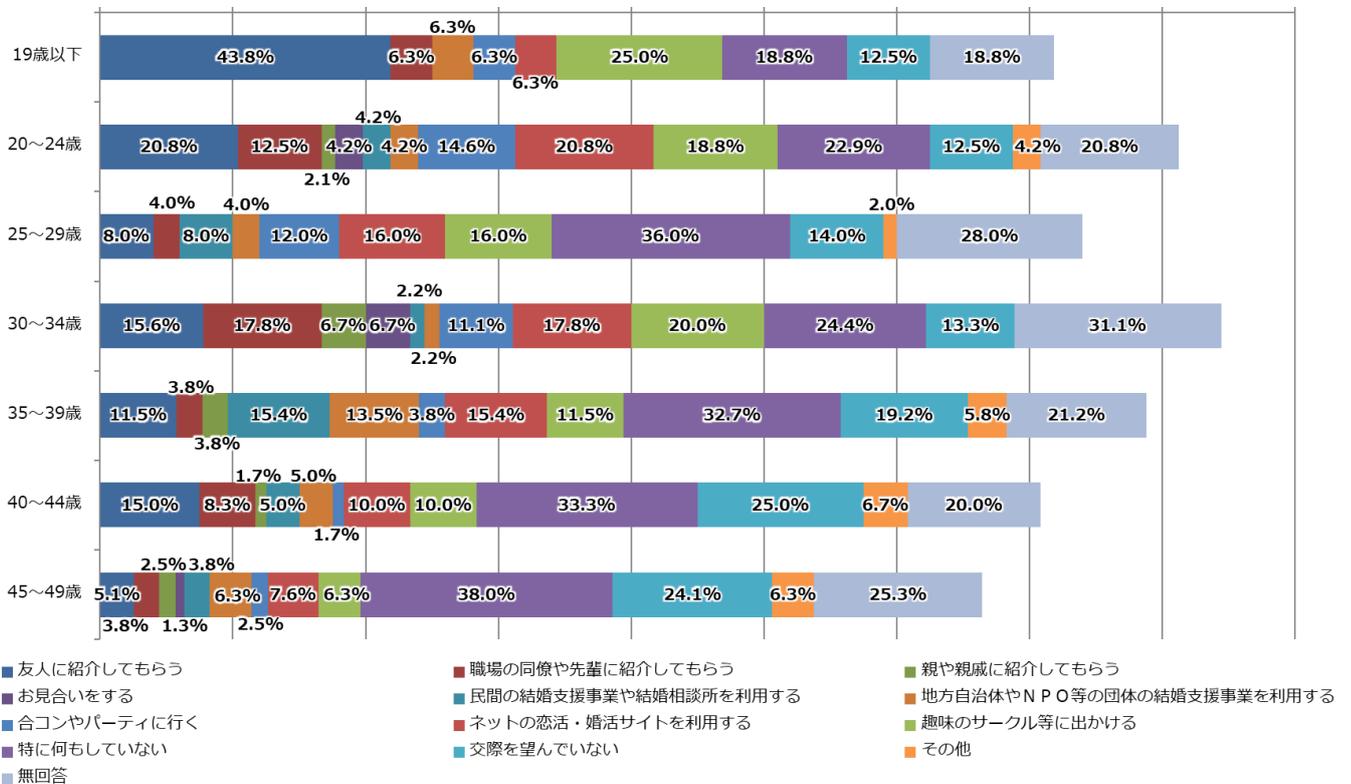
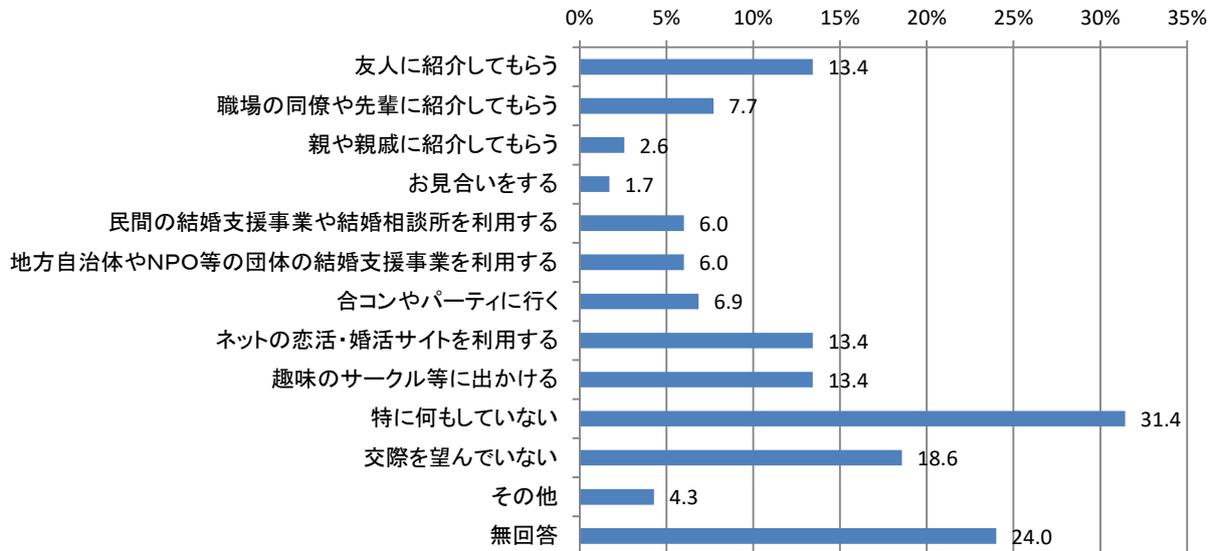


その他の自由回答	
1人でいたい。	しばられたくない。
相手自体探していない。	めんどろ

◆考察

・どの年代も「特に何もしていない」が最も多いが、次いで「交際を望んでいない」とする回答が続いており、若い世代では「友人に紹介してもらう」も比較的が多くなっている。

【今後行いたいこと】（最大3項目まで回答）

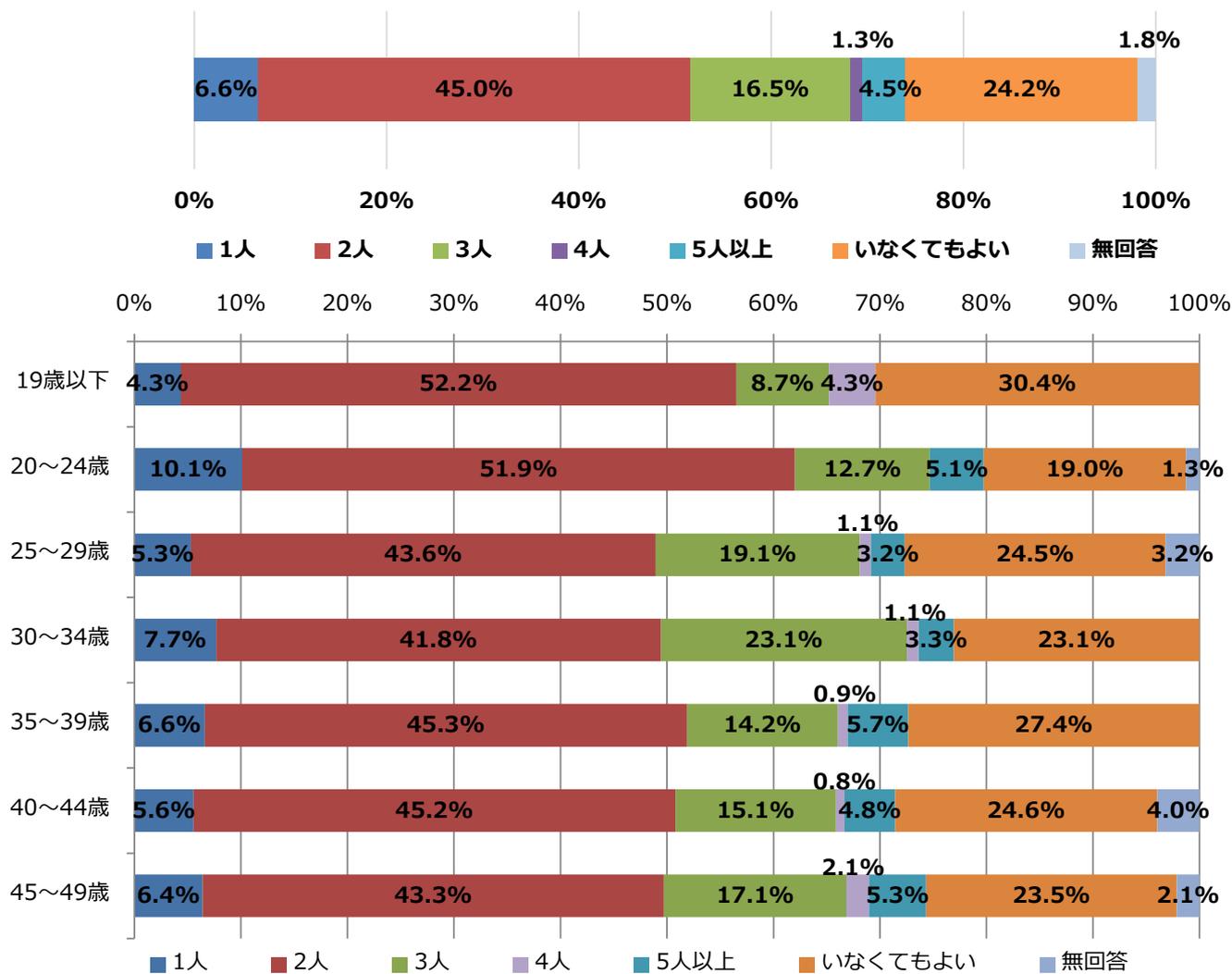


その他の自由回答	
何も考えていない。	わからない。
未来の日本次第	自然に出会いたい。
自然の成り行きを待つ。	しばらくは待たない。
1人でいたい(2)	めんどろ

◆考察

・19歳以下では「友人に紹介してもらう」が43.8%を占めて最も多いが、他の年代では「特に何もしていない(しない)」や「交際を望んでいない」が多くなっている。

◆理想とする子どもの数

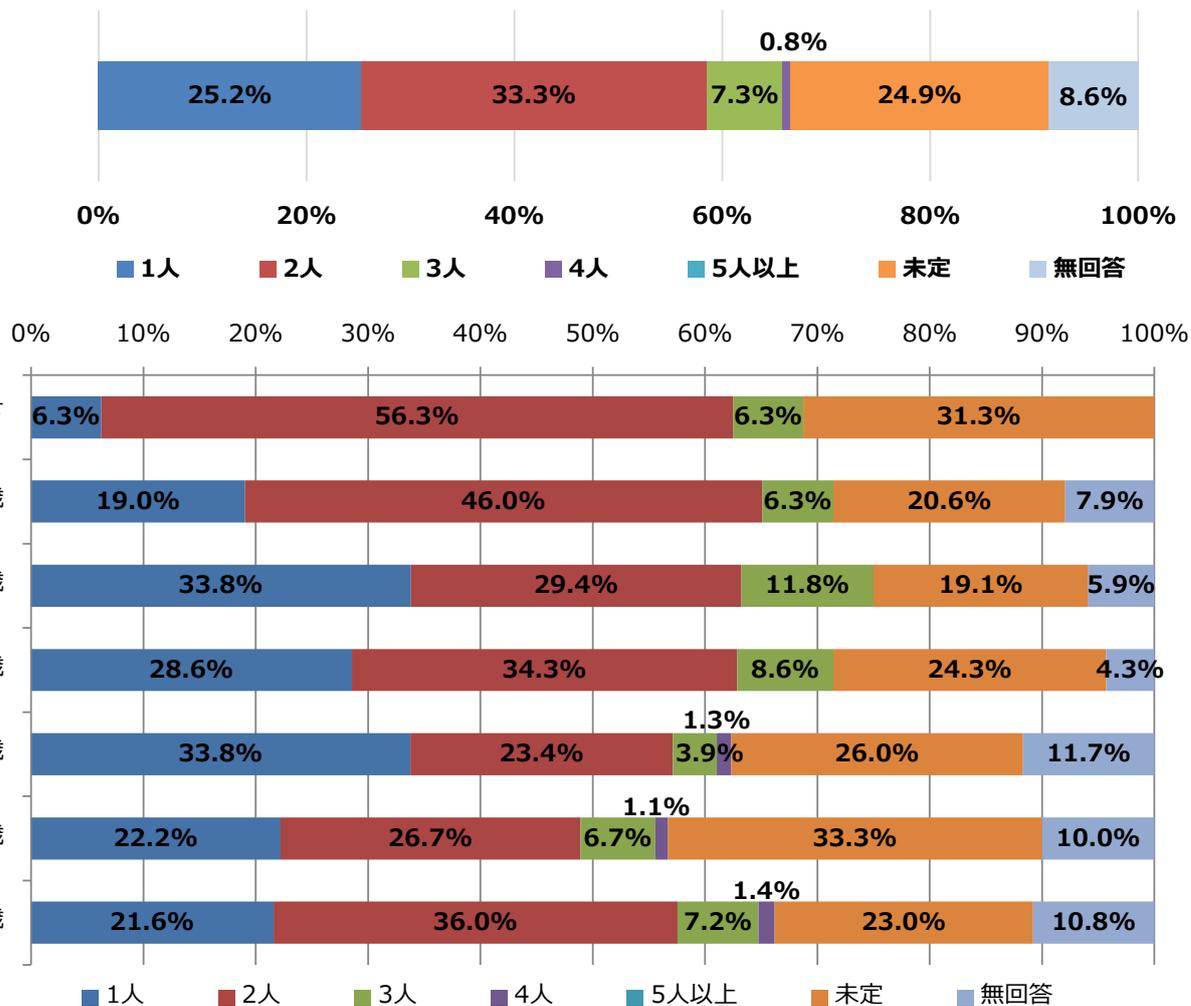


◆考察

・どの年代も「2人」とする回答が多いが、「いなくてもよい」が20～30%を占めている。

◆実際に持てると思う子どもの数

(理想の子どもの数を「1人」「2人」「3人」「4人」「5人以上」と回答した方)

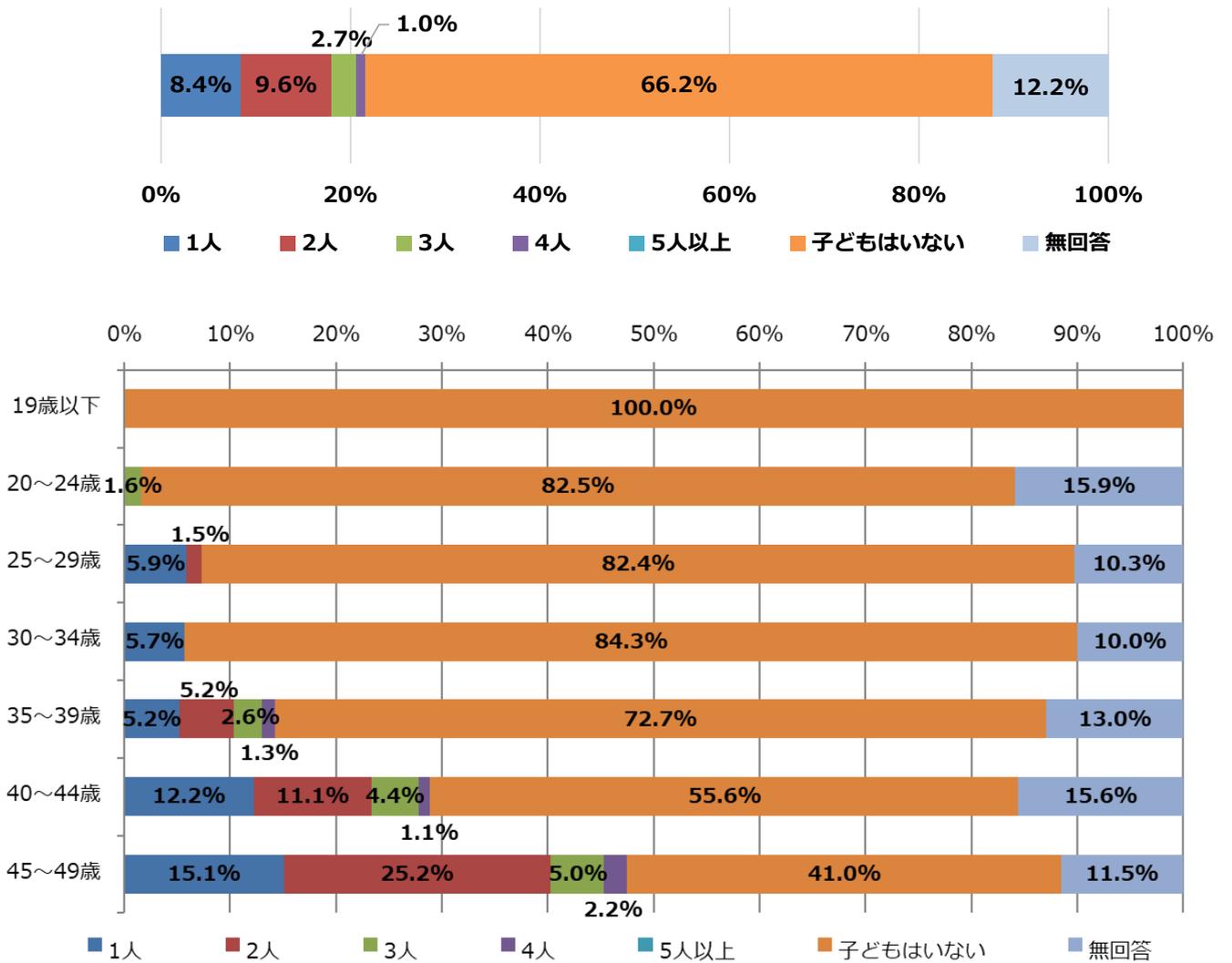


◆考察

・どの年代も、理想とする子どもの数での回答に比べて「1人」とする割合が多くなっている。

◆現在の子ども数

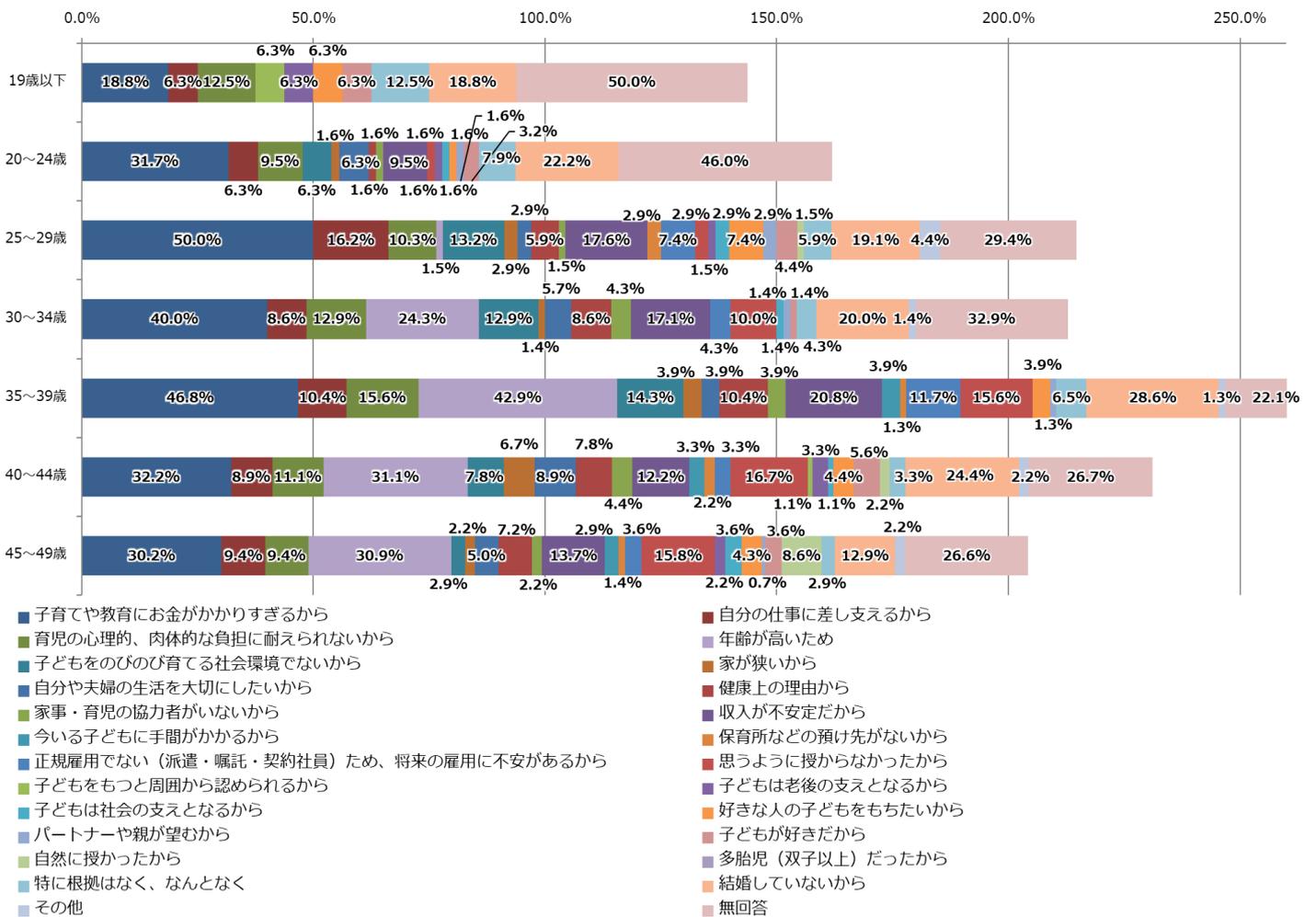
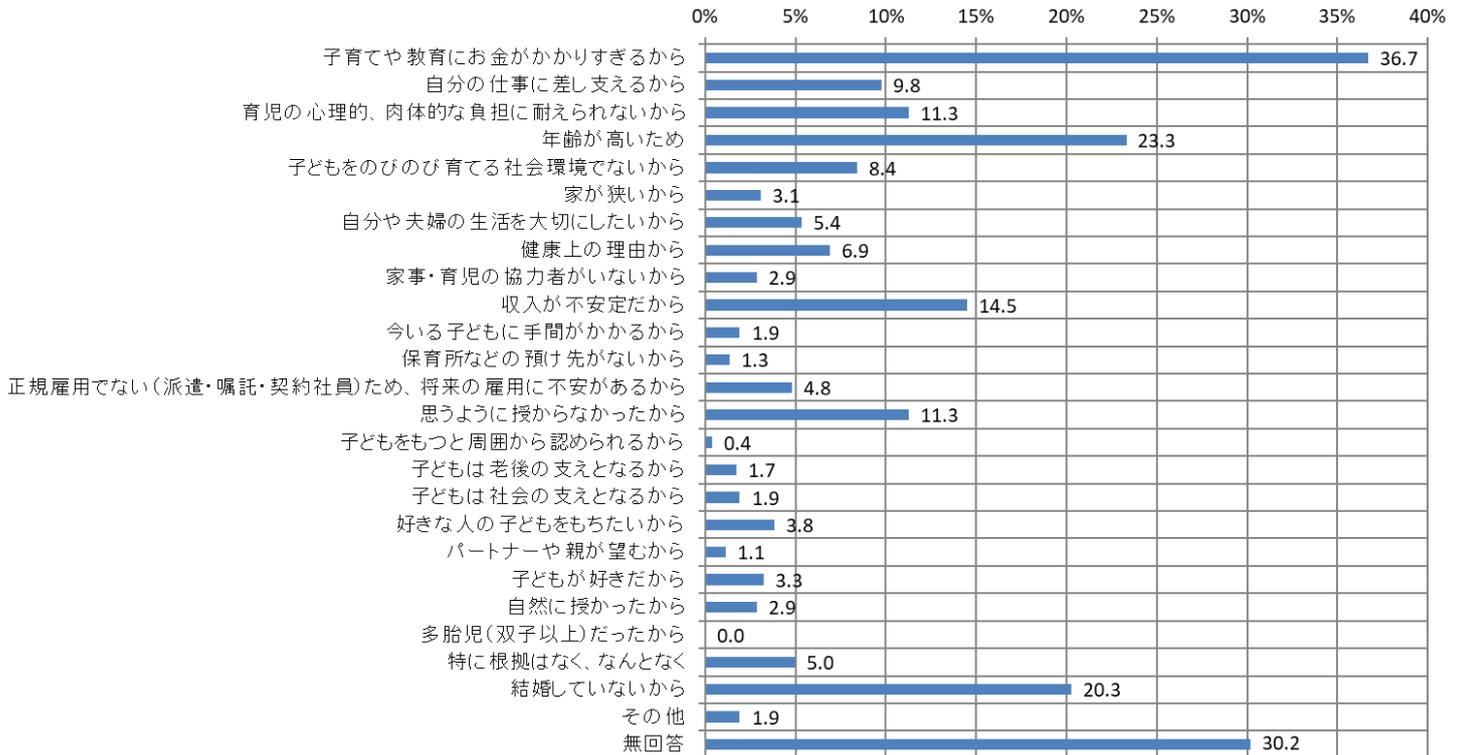
(理想の子ども数を「1人」「2人」「3人」「4人」「5人以上」と回答した方)



◆考察

・どの年代も「子どもはいない」が最も多くなっている。

◆「理想の子ども数」と、「実際にもてる子ども数」に違いがある理由は（あてはまるもの全て回答）
（理想の子ども数を「1人」「2人」「3人」「4人」「5人以上」と回答した方）



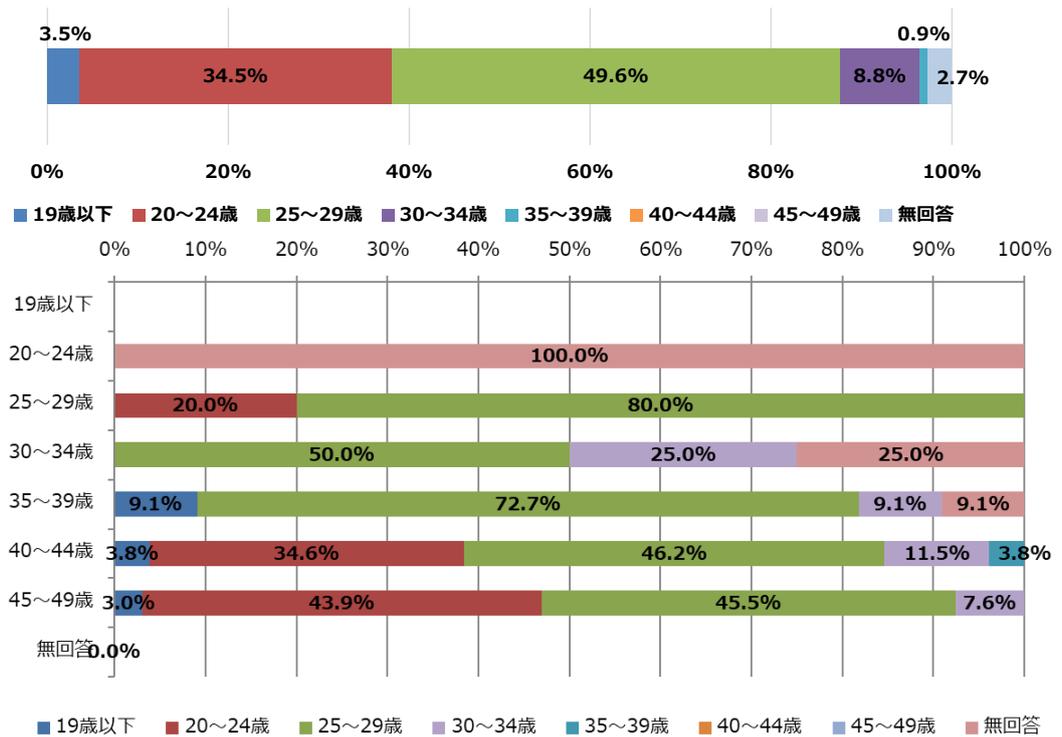
その他の自由回答	
金銭的に余裕がない。	不妊治療だったため。
育休、産休中の給料が少ないから。	親世代を見て子供を持ちたいとは思えない
離別したが子供はいる。また金銭的にも今後どうなるかわからない	あくまで一般的理想論であり自分はいない。子供は苦手。
もっと手当を厚くしてほしい	市としては2人位いればいいのかな？
無痛分娩できる総合病院がないから	違いがない

◆考察

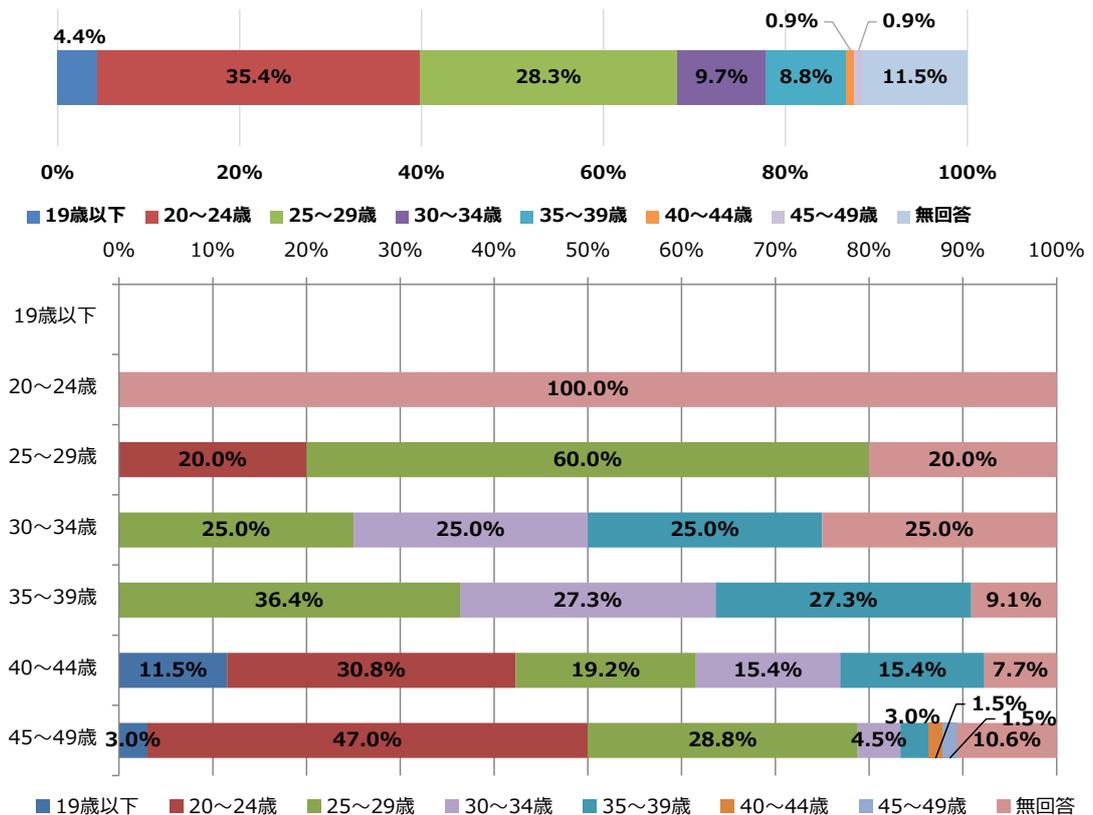
- ・どの年代も「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が多いが、35歳以上では「年齢が高いため」の割合も多くなっている。

◆ 第1子の誕生により親となった年齢の理想と実際
(子どもがいる方)

【理想】



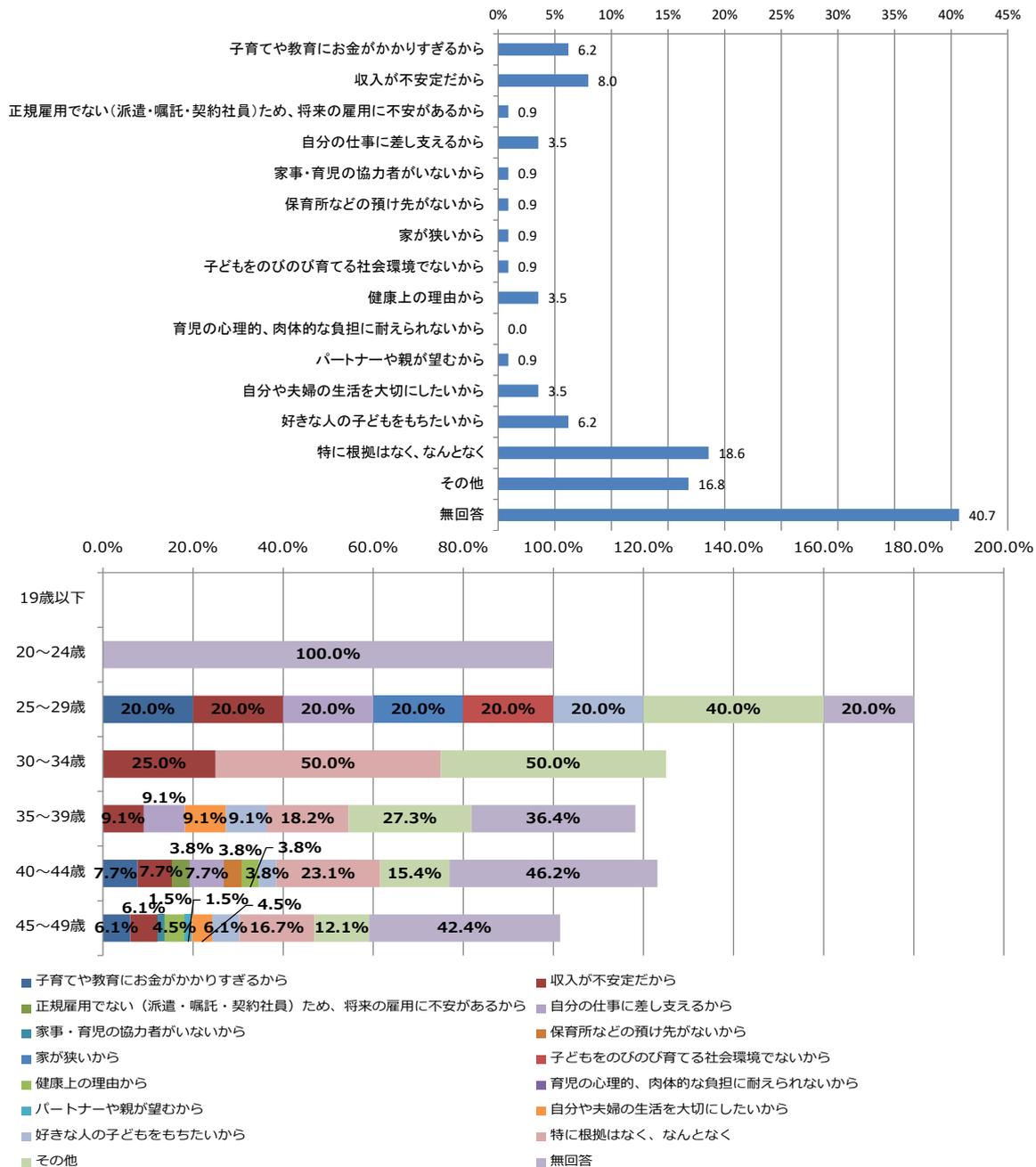
【実際】



◆ 考察

・理想は29歳までとする割合が多いが、実際は30歳以上の方では30歳を過ぎてから親になる割合が多い。

◆親となった年齢の理想と実際に違いがある理由は（あてはまるもの全て回答）

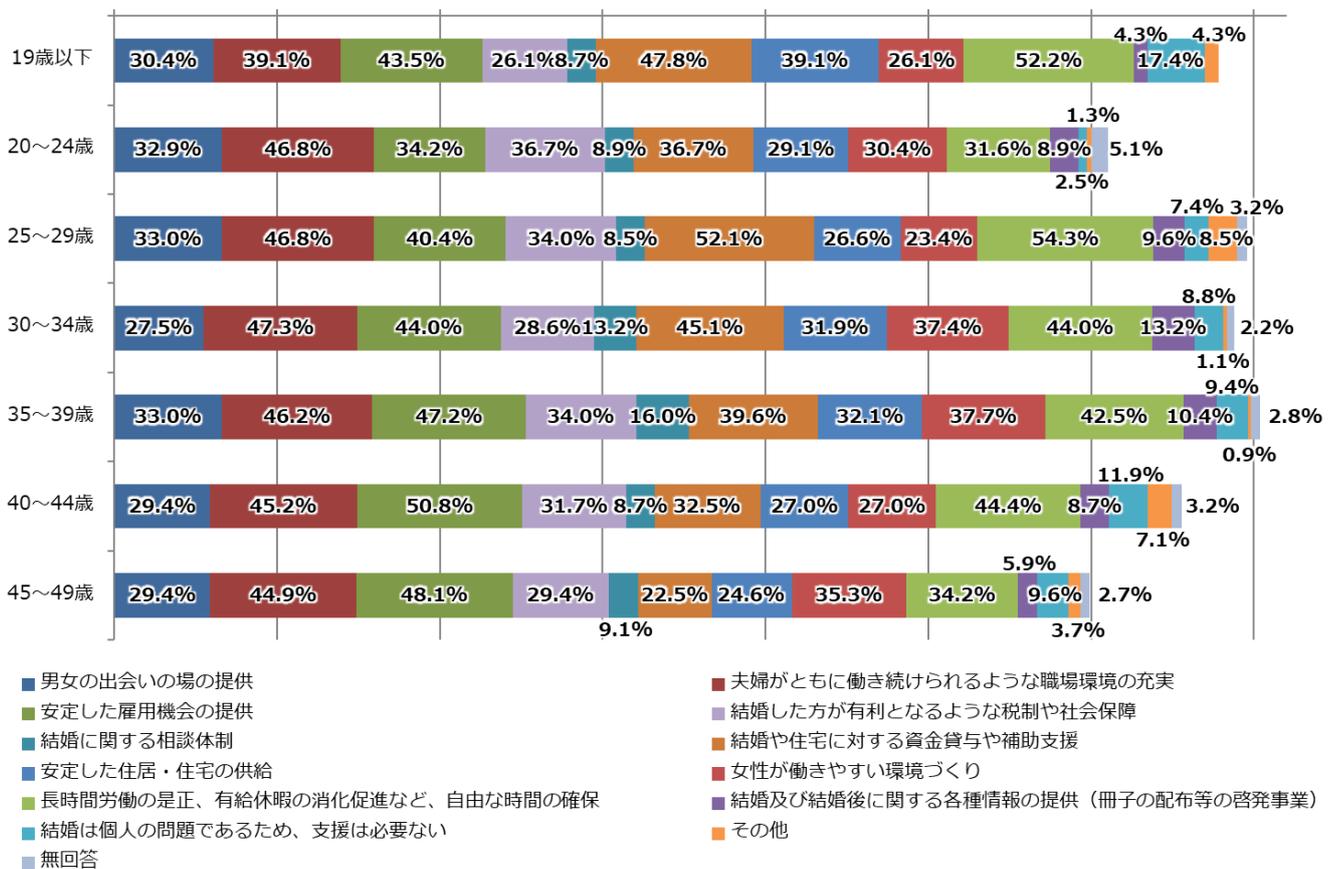
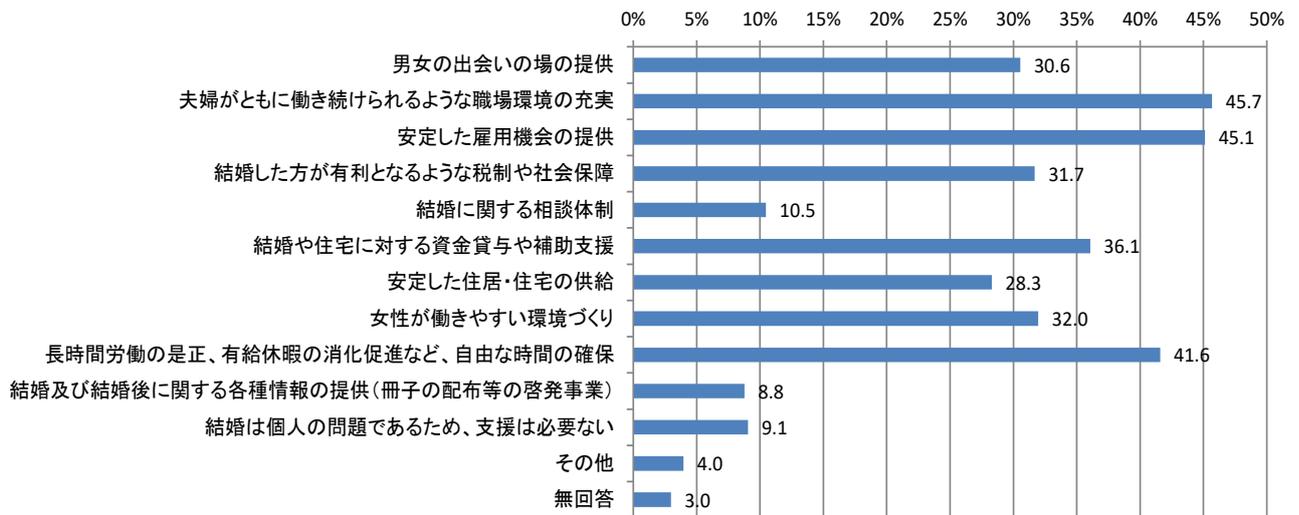


その他の自由回答	
授かり婚だった（４）	妻の子供と養子縁組したから
不妊治療していたから（４）	結婚が遅い。すぐ子供が授かるわけでない。
不妊だったため	お金も必要なのは確かだが、子育ては 24 時間 365 日のオールタイムなので、すべからく体力があった方がいいから。体力
予想もしない妊娠となってしまう娘の父親に逃げられたから	そんな簡単なことではない。当てはまるものがない
パートナーに出会ってなかったから	違いがないのに選択肢がない（２）
出会いがなく結婚できなかったから	

◆考察

・30歳以上では「特に根拠はなく、なんとなく」「その他」が多いが、30~34歳では「収入が不安定だから」とする割合も多い。

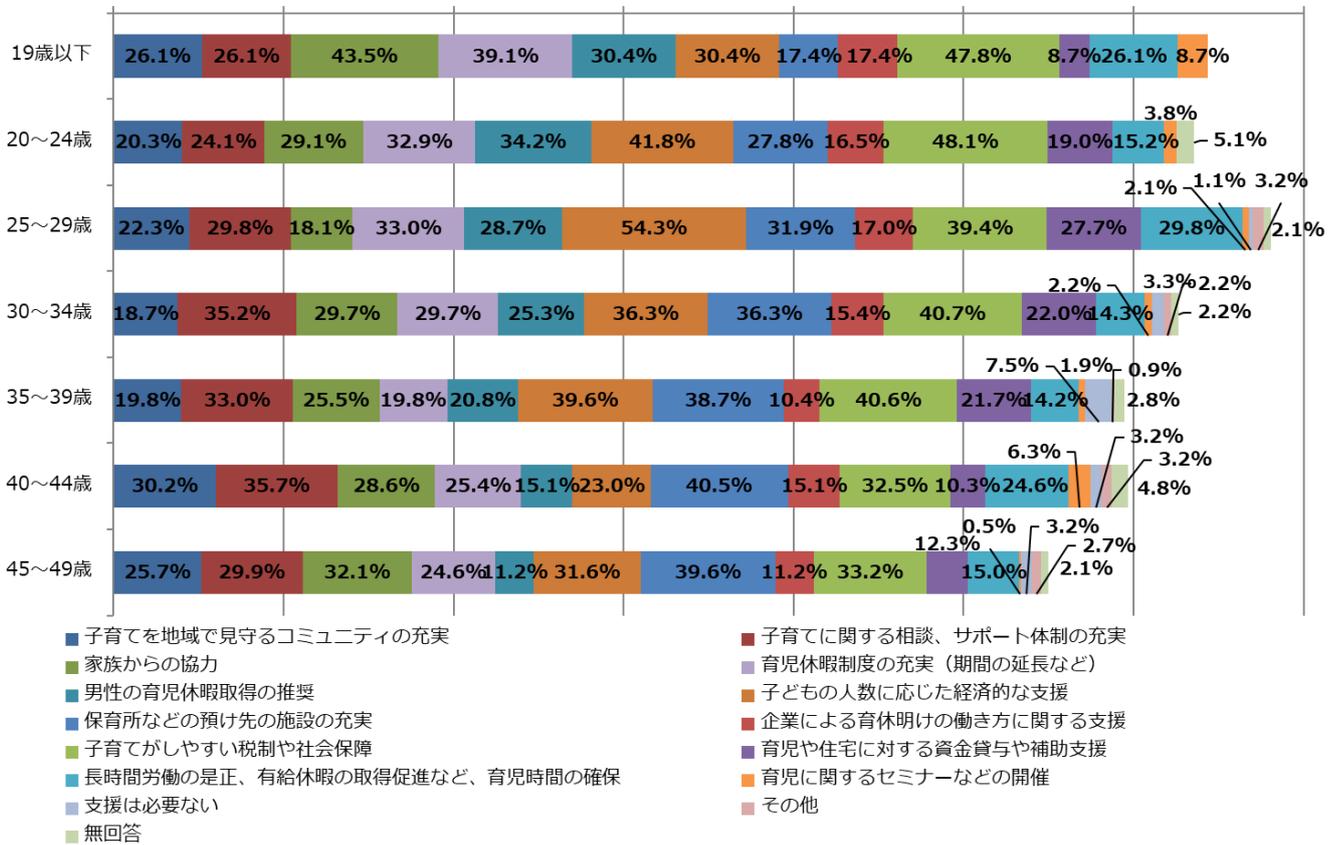
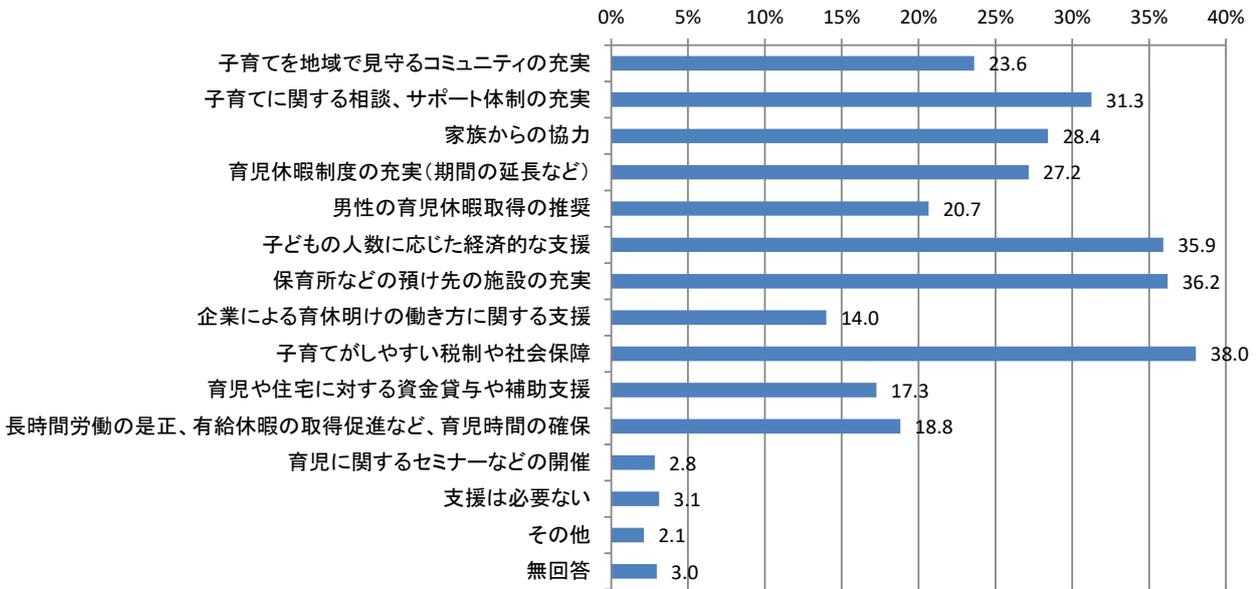
◆結婚しやすい、したいと思える環境づくりに効果的な支援は（あてはまるもの全て回答）



◆考察

- ・どの年代も支援策は多様にあげられているが、若い年代では「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」が比較的が多くなっている。

◆子育てしやすい環境づくりに必要だと思う支援は（最大3項目まで回答）

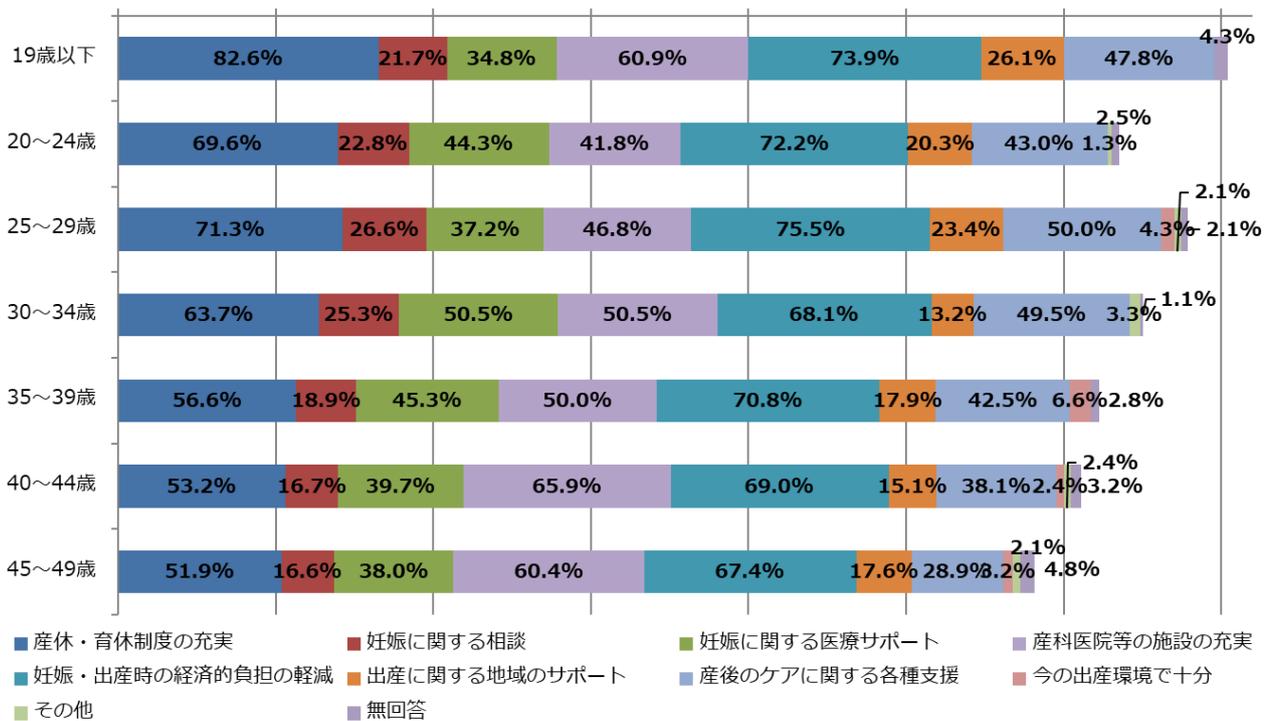
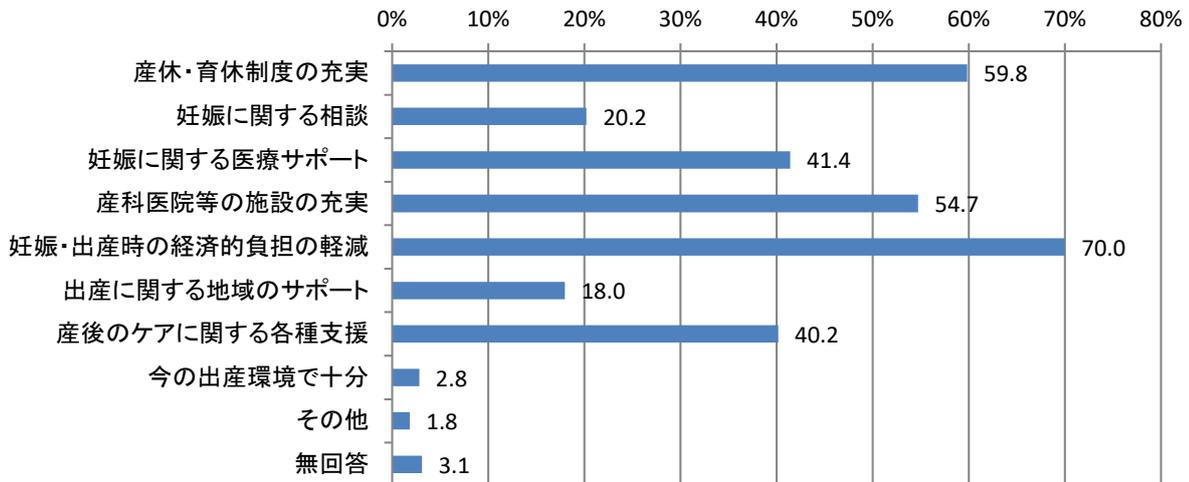


その他の自由回答	
結婚を選ばない背景に、給与や賃金の水準の低さがあり、根本的には給与の引き上げが必要である。	女性と男性が働きやすい環境づくり
男性側のあらゆる面での自立	結婚したい人は何もしなくても結婚します。(出来ず)補助よりも余計な高い税金をとり邪魔をしないこと
親の介護の心配が少なくなるような支援(パートナーとの生活に専念できる)	地域の方の理解、協力。年齢差による概念の違いの是正。
価値観が分かり合える場、人として成長できる場(修行体験)	結婚以前に、残りたいと思える市にすべき
資金や援助は貸与ではなく、給付してほしい。	今の栗原市の状況は小さい手当等ではなくてある程度目を引くような手当や保証がないと若者が定住しないし入ってこない
男性の育児や家事、介護に対する意識の変化が必要。幼児からの教育が必要だと思う。女性の負担が重すぎて、結婚に消極的な人が多いと思う。	支援なんて必要ない。減税一択。
保育園など子供を預けられる環境。	明らかに結婚意識の為の出会いの場より作業や活動共同でやる機会を企画参加の方が結婚する可能性が高いから
一番はお金	高齢者や子育て世代向けの社会保障給付を削減して、それを財源に住民税の納付額を減らして欲しいです。
手取りを増やす。若い世代の貧困化を止める。	出産に係る経費を全て国が保障する制度は必要。
男性の収入、貯蓄割合を上げる。	今の人は外見で見るから。
教育	わからない。
昇給や給料のベースアップ	

◆考察

- ・どの年代も支援策は多様にあげられており、「子育てがしやすい税制や社会保障」などが比較的によくあげられている。

◆出産しやすい環境づくりに必要だと思う支援は（あてはまるもの全て回答）



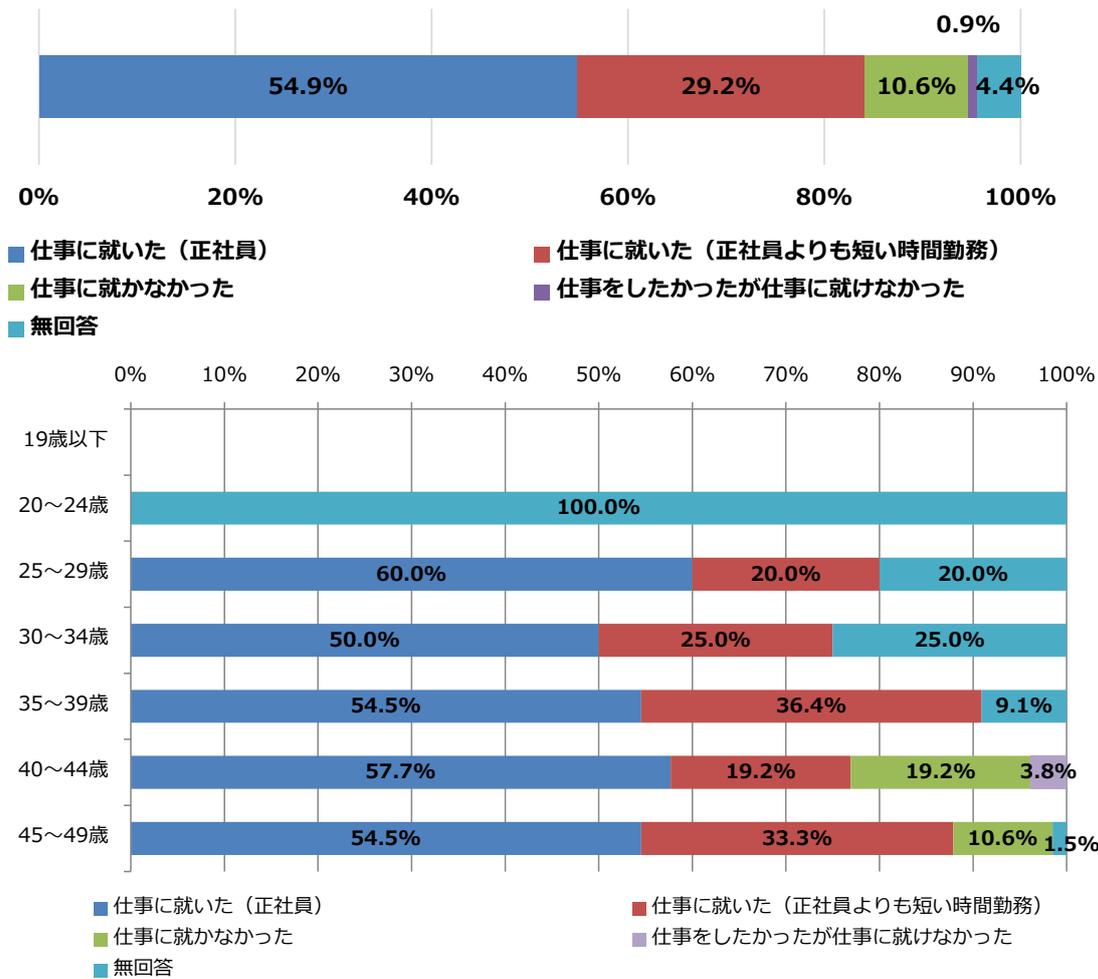
その他の自由回答
産婦人科の栗原市誘致、病児保育の充実、発達支援センターの充実
小児科、病後保育の充実。
育休を受ける人の代わりに仕事が増える同じ職場の人に対する特別給などのサポート。
充実した医療体制
病院や保育所の充実
栗原市の人口減少を止めるには結婚者や子育て世帯に明らかに目を引くような手当や保証を作らないと人口減少は止まらない
子供だけ支援がありすぎる。子供に支援というが、実際は大人が管理するのだから、支援してもらって足りないとかありえない。
仕事（金や時間的に良い）
そもそもの収入増
国や自治体が行う支援は現時点で十分すぎる。減らしてもいいくらい
したことがないのでわからない
志波姫で子供の差別があり、差別がない街づくりを徹底して頂きたい。
支援なんて必要ない。減税一択。
国際的な競争力を持つ企業を誘致することで、就労の選択肢を増やして欲しいです。

◆考察

- ・どの年代も「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が最も多くなっているが、20歳代では「産休・育休制度の充実」が、30歳代以上では「産科医院等の施設の充実」の割合が比較的が多くなっている。

③仕事のあり方について

◆ 出産した後の就労状況
(子どもがいる方)



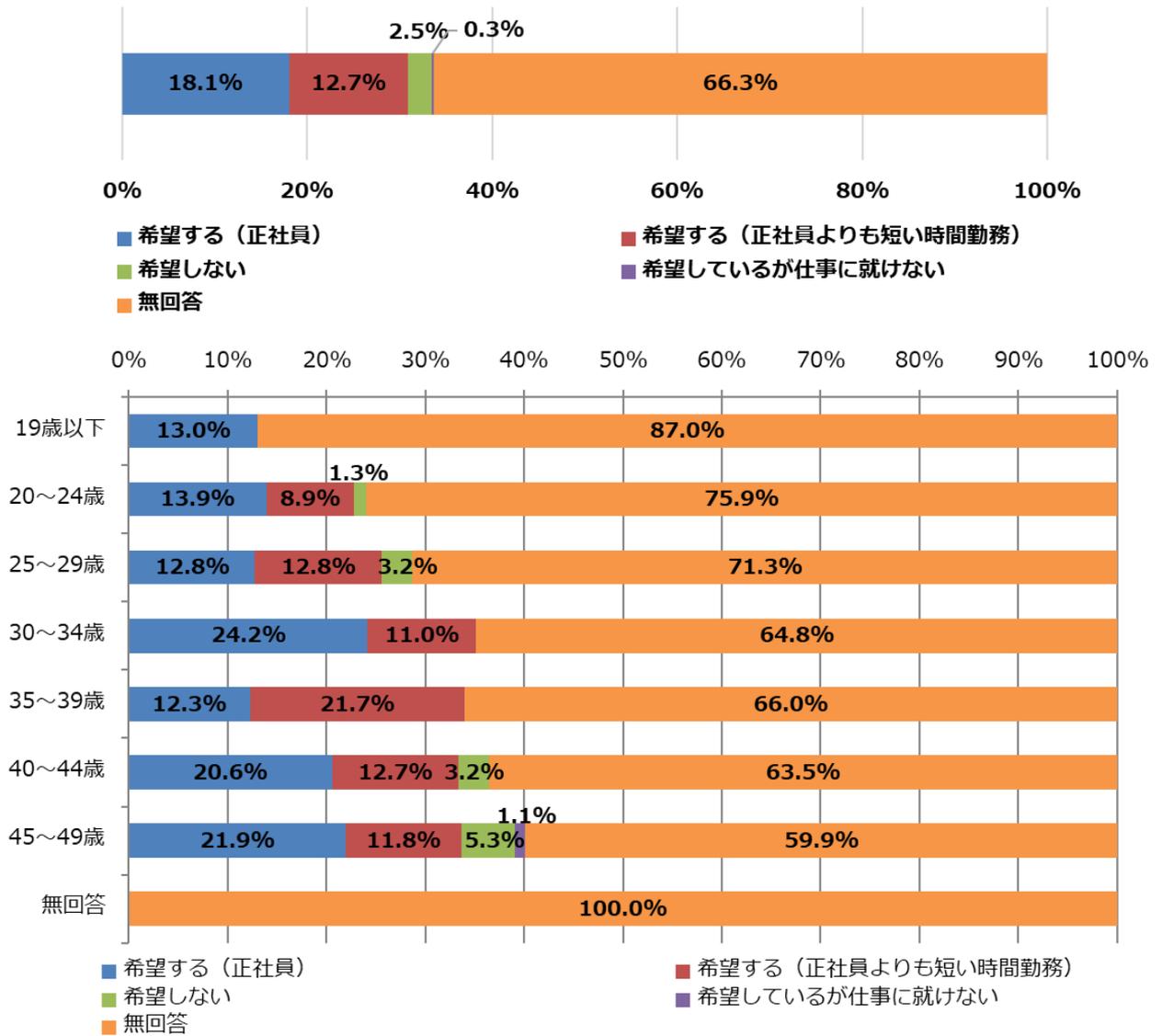
その他の自由回答
自営業でも出産や育児で働けない時に経済的支援がほしい。
無痛分娩などの経済的支援。
結婚や出産が、一定以上の所得を有する人の奢侈品になりつつあると認識しています。そのため、減税や就労機会の増加を通じた所得の向上が必要だと思います。
病院への送迎などのサポートがあると安心です。
減税。
職場の支援
パートナー等への育児の理解。
家族（実家）のサポート
市内に産婦人科が無いのは痛い
子供を差別する栗原人が多い為、栗原人の再教育を求める。
特に必要ない。
わからない、経験がないのでわからない（2）

◆ 考察

・どの年代も「仕事に就いた（正社員）」が多く、次いで「仕事に就いた（正社員よりも短い時間勤務）」が続いている。

◆ 出産後の仕事の希望

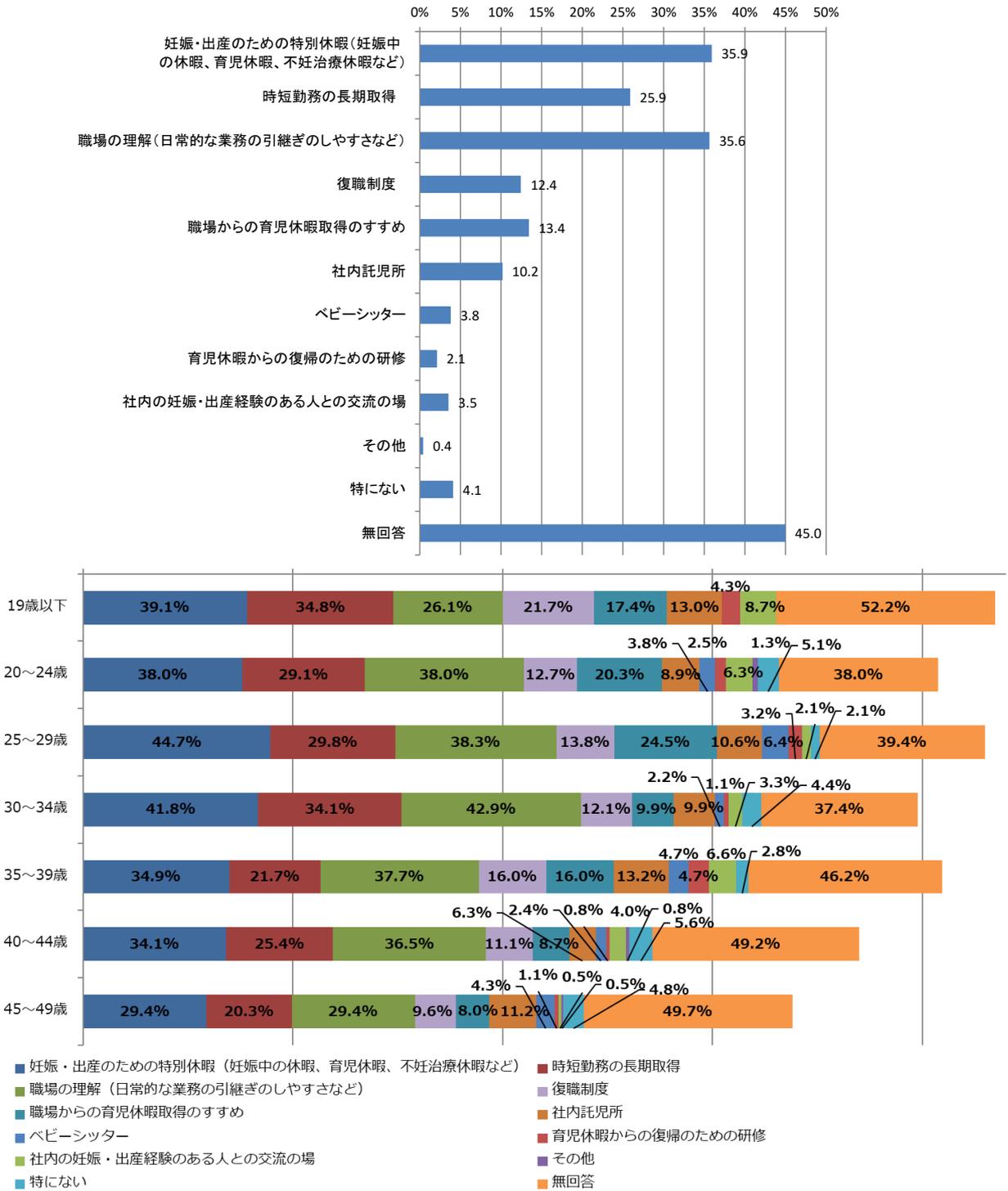
(子どもがいる方または子どもが欲しい方)



◆ 考察

・どの年代も無回答が多いが、回答の中では「仕事に就いた（正社員）」や「仕事に就いた（正社員よりも短い時間勤務）」が同程度の割合となっている。

◆職場に求める出産・子育て支援の制度や取組みは（最大3項目まで回答）
（子どもがいる方または子どもが欲しい方）



その他の自由回答

不妊治療の大変さを特に知って頂きたいので、各事業所に説明などする場を設けてほしい。

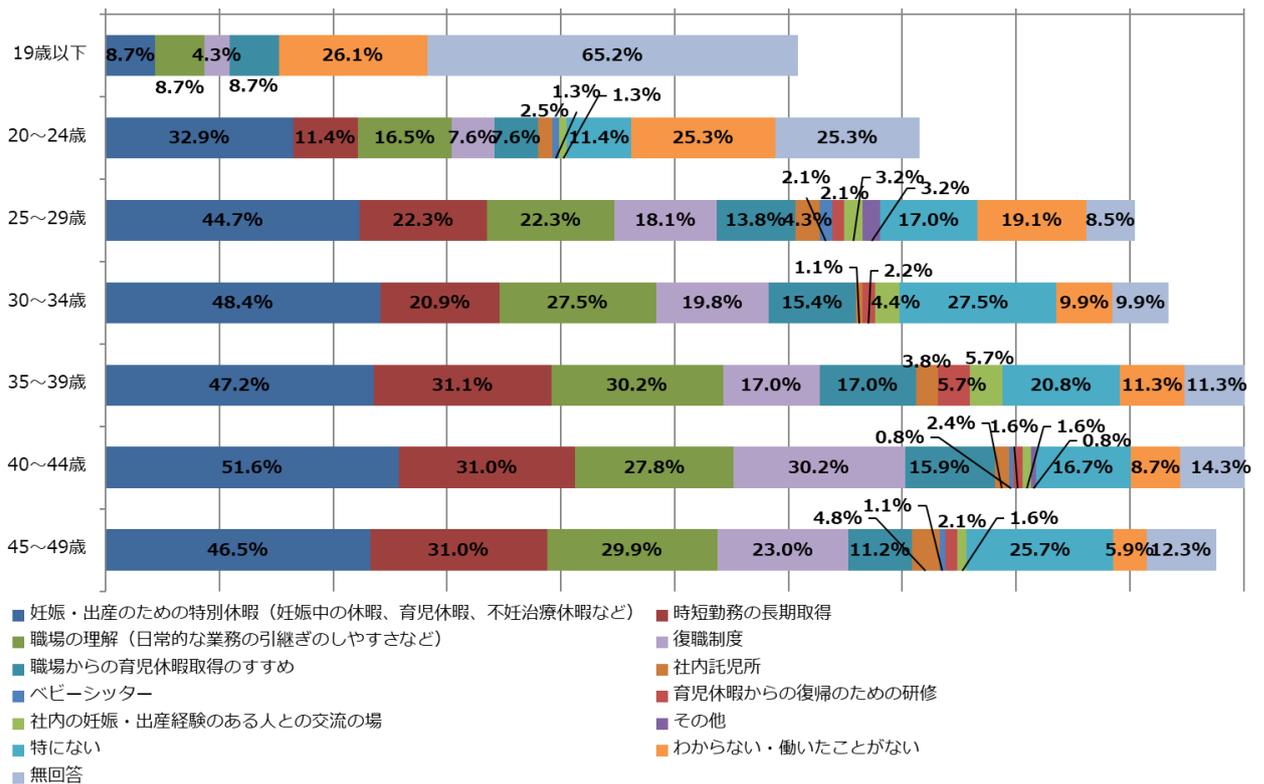
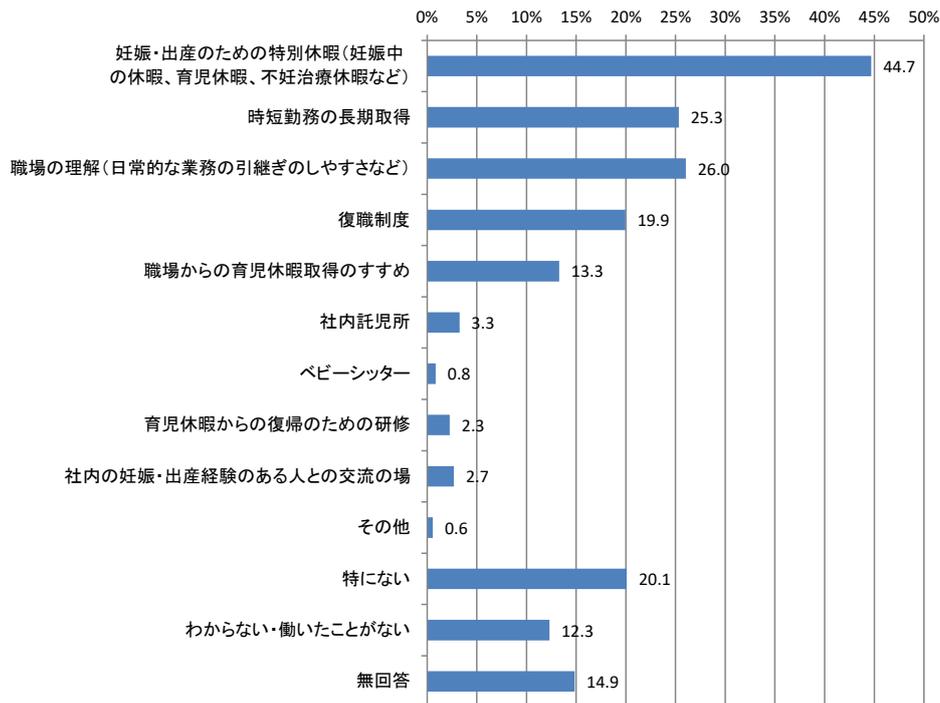
生活のため

世の中の物価高に対して給料が見合っていない

◆考察

・どの年代も多様な回答があげられているが、若い年代では「妊娠・出産のための特別休暇（妊娠中の休暇、育児休暇、不妊治療休暇など）」や「時短勤務の長期取得」が比較的に多くあげられている。

◆ 出産・子育て支援の制度や取組みの利用状況（あてはまるもの全て回答）
（現在働いている方または働いたことのある方）



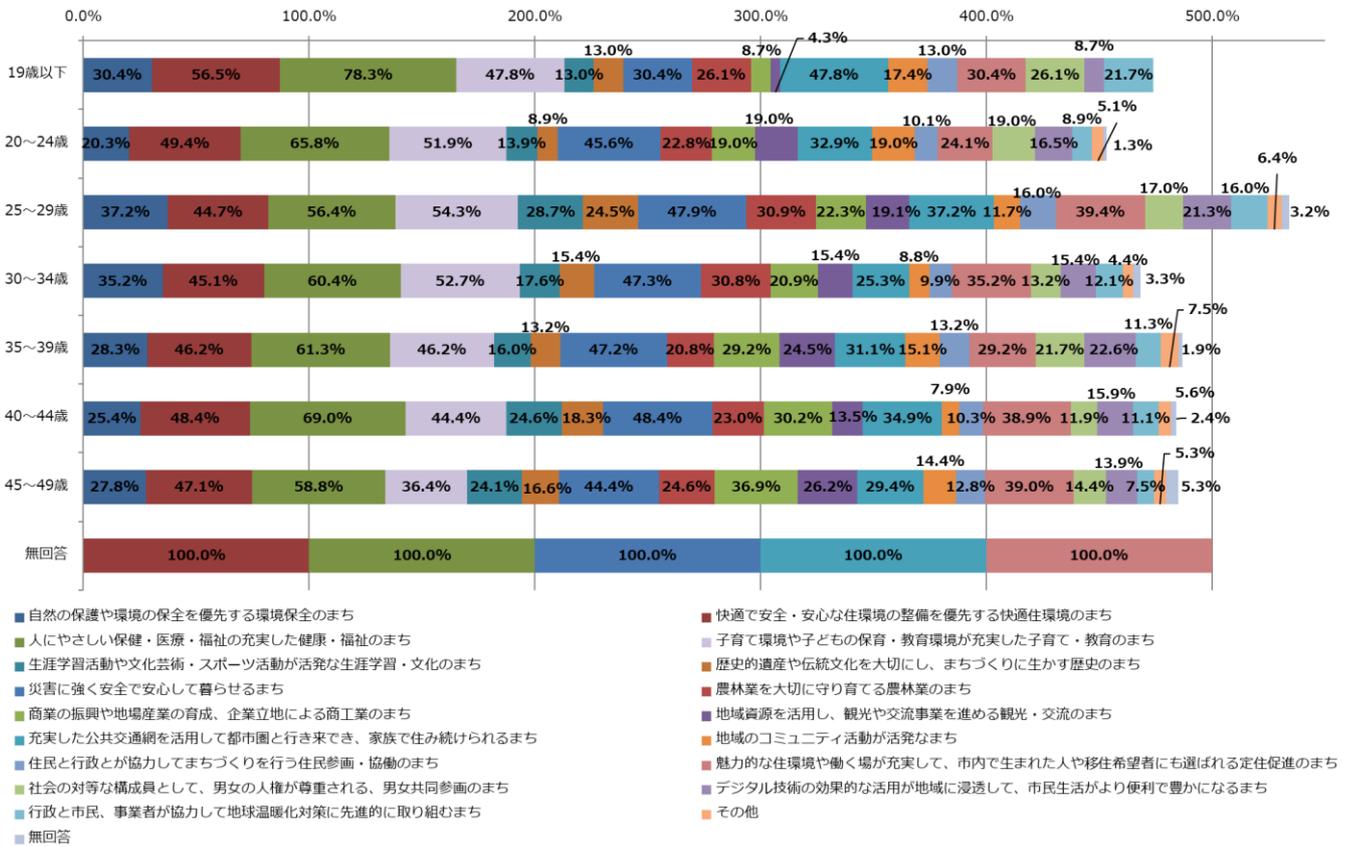
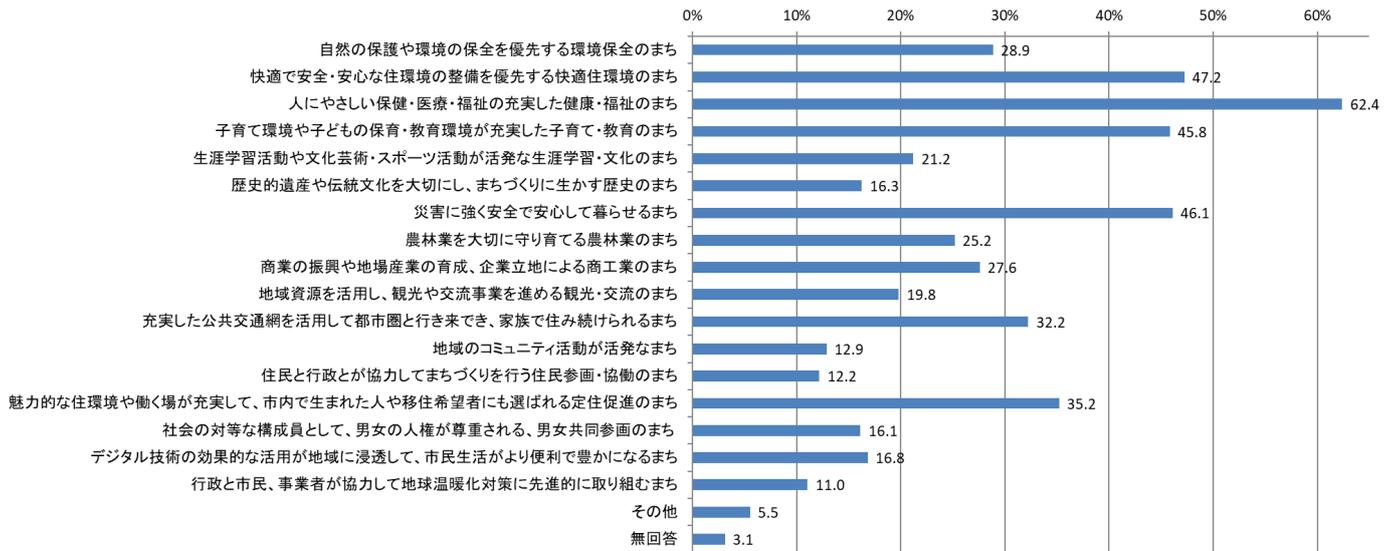
その他の自由回答	
給与補填	出産祝い
自宅からテレワークが可能。	

◆ 考察

・どの年代も「妊娠・出産のための特別休暇（妊娠中の休暇、育児休暇、不妊治療休暇など）」が最も多く、次いで「時短勤務の長期取得」が「職場の理解（日常的な業務の引継ぎのしやすさなど）」が比較的に多くあげられている。

④ 栗原市の施策について

◆ 今後栗原市がどのようなまちになってほしいか（あてはまるもの全て回答）



その他の自由回答	
1	■古い価値観を刷新し、保守的になりがちな物事に対して積極的に改革を行うまち。
2	■住民税を10%に恒久的に減税し手取りを増やす政策を行うこと。
3	■利権、既得権益是正！
4	■世界の平和を祈る街
5	■駅周辺等の再開発（車社会を前提とした住宅地と商業地）
6	■助成金を出して猟師を増やし職業化する。里に出る害獣はできるだけ射殺する。安全に外出できる街にする。
7	■地域ぐるみで助け合える町が少ない。
8	■買い物、遊ぶ所、交通の便が良くなるといいです。
9	■スーパーや病院があり、食べ物や病気になっても安心して暮らせるまちになってほしい。
10	■経済的に豊かな町
11	■L B G T支援、メガソーラーをやめてもらいたい。
12	■上の全部するといい。
13	■老若男女が安心して働ける職場が多いまち。子供が大学から就職まで完結できるくらいに仕事先や大学の種類が多いまち。
14	■子育ても充実しているが、高齢者にとっても住みやすいやさしいまち。
15	■もう少し障害者の方にも耳を傾けてほしいと思う。通院できる病院がない。なかなか受け入れてもらえない事が多い。
16	■生活保護を見直した方がいい。
17	■外国人の居ない町
18	■自然を生かしたレジャー、釣り、キャンプが楽しめる環境作りの推進。
19	■自給UP
20	■特に築館は交通の便がとても良いと思う。高速、新幹線、電車、高速バス、バイパス等、そういう便利な所を活かしたベッドタウンのような街も良いのかと感じる。
21	■イベントがあっても築館までのバスが土、日、祝日運行してない。
22	■工業化、商業化は隣接する市町村に委ね、その隣接する市町村の方たちが休日に遊びに来る街になればいいと思う。観光資源や立地を考えると立ち位置は工業化や商業化よりも周りの方たちが楽しめるまちの実現で栗原市民も楽しめるまちになるのではないのでしょうか？
23	■経済負担の少ない自治体
24	■ラーメンシティ
25	■外国人が少ないまち。特に不法滞在は絶対に許さないまち。日本人と同等の納税率がない外国人へは行政サービスを提供しないまち。
26	■動物を大事にするまち
27	■ペットにも優しいまち
28	■老人だけに優しい市ではなく、20～40代へのサポートも手厚くしてほしい。
29	■若者の積極性を育み、社会ならびに生活の両面を支えていくまち。
30	■若い人のためにも商業施設をもっと増やした方が良いと思う。
31	■若者が満足して住めるまち。
32	■虐められる子供が悪いと言って虐めを正当化させない街にして欲しい。
33	■子供がいじめ、虐待から守られるまち。
34	■期待していない。
35	■まだわからないです。

◆考察

- ・どの年代も「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が最も多く、次いで「子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」や「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が比較的に多くあげられている。

⑤結婚や出産、子育てがしやすいまちおよび若者が定着するために必要なこと 自由記述一覧

景観、自然と共生した生活環境	
1	■住みやすい環境をつくってほしい。
2	■様々な職種の職場環境が増えると良いなと思います。
3	■インフラの整備。自然環境の豊かさ。教育機会。
4	■・交通機関の充実→私鉄廃線により県外への通学、通勤が困難であった。・路線バスの本数の増加。
5	■もっと色イベントを行った方がいい。せっかく栗原市出身の有名人がいるのだから、楽しい（盛り上がる）イベント等を考えて、協力をお願いしては（例えば）。自然豊かなことは素晴らしい大切なことではあるが、ワクワクとした気持ちがない場所に若者は定着しないと思う。
6	■何でもお金を出せば良い訳ではないと思います。持続できる取り組みが必要です。あと、移住や子どものためを前面に押ししているように感じますが、今までずっとここにいる人たちには何が出来るか、も考えてほしいと思っています。若者が定着するためには、ここから出て“帰ってくる事のできる場所”という安心感が重要です。移住してくれたらお金あげますでは、ここにとどまる理由にもならないのかと…。10年先、20年先の帰って来たいと思っている人達がいるのに、このままでは存続もあやしいのではと感じております。栗原市の“人”を大切にしてほしいです。
7	■都会中心の発想時代において一市町村では限界があると思う。その上で都会が魅力があり流出するのは仕方ないと認め、今住んでいる方の生活の向上に取り組めば自ずと定着し移住も進むのではないのでしょうか。
8	■そもそも東北が人の集まりにくい状態なので、諦めて東京の集中解消が成されるのを待って環境や場を整えておくに留めれば良いと思う。
9	■栗原市は新幹線の駅があるのに、魅力的な店がない。新幹線を降りてわざわざ来ようと思わない。駅の周りをもう少し発展させた方がいいと思う。東北新幹線で1番何もない駅だと思う
10	■仙台市に比較的近いという立地の良さを生かして栃木県那須塩原市等のように新幹線定期券の補助があると移住や残って通ってくれる人が増えるかもしれないと考えます。
11	■遊具のある魅力的な公園づくり。○子供だけでなく、大人や高齢者も配慮した町づくり。将来も安心して暮らせる市を目指す。○道路の整備（雑草、色あせた設備などの除去や塗装をし、廃れた感じを是正する）○農業や介護でのパート雇用の充実を図る。○公共施設の利用のアピール。○公共施設の近くに食事場所や道の駅などをつくり、利用しやすいようにする。温泉地を整備して、働く場所や観光地をつくる。○Uターン就職に特典を付けたり、医療系や教育系進学者以外にも奨学金返還免除をし、地元への就職を促す。
12	■スーパーなど飲食店をもっと増やしてほしい。結婚したら手当が出るとか、もっとお金の面での補助がほしい。住んだら住民税などの減税されるとかがあれば住む人も増えると思う。
13	■駅前の商業施設をもっと充実してほしい。栗原市内に分娩までしてくれる産婦人科がほしい。栗原中央病院以外の大きい病院の設立。
14	■魅力的じゃない。新幹線の駅があって、高速道路のICが2つもあって、国道4導線も通っていて、交通の便も良さそうなのに人が全然集まらない。店もない。隣の登米市とかに行けばマクドナルドもケンタッキーも吉野家もあるけど、ちょっとファストフードって思ってもない。100均のセリアもほしい。若柳のヨークベニマルも撤退してしまっし。若者に好まれそうな店の誘致を頼みます。あと観光できる楽しいところとかも全くない。遊べるところ。あと、日テレ系でやってる「突破ファイル」でやってる『なんでもすぐやる課』みたいなものつくって、市民のことと思ってますよ的なのをババーンと打ち出してくださいよ。役場職員よろしくね。そしたら少し魅力的？あと病院ももう少し何とか。産婦人科と小児科の充実。栗原市の特色、何があるのか分からないところがダメ。もっといろいろあるけど…文句言ってごめんね。

景観、自然と共生した生活環境

15	<p>■若者向けの施設がない。思い切って老後に住みたいまちを目指してもいいと思う。医療、福祉の賃金を上げてほしい。おかねがないから自分のことで精一杯。結婚、子供のことまで考えられないのである。</p>
16	<p>■周囲に比べて賃貸アパート、マンションの家賃が高い。もう少し安くして欲しい。子供の遊び場がない。公園も遊具がなく、ベンチがあるだけ。遊び場所があると良い。保育所が市営（公立）のものしかない。公設民営や民設民営などして民間の保育を取り入れるとより良い保育になる。他の市や他県ではやっている。合併前の旧町村での夏祭りや花火大会が多く、規模が小さいので栗原市としての夏祭り、花火大会、大きなものがあると他市町村から観客が来るのではないか。</p>
17	<p>■最近、全国的なテレビに栗原市が紹介され知名度も上がっていると思うので、レジャー施設などを活用して若者が集まるイベントや婚活などを実施して、栗原市の人口向上を図っていただければと思います。個人的意見ですが、私は釣りが好きなので、迫川の環境（水質など）の改善を図っていただき、以前のような釣りやレジャーに最適な環境を作っていただきたいと思います。子供達が外に出て自然と触れ合い機会が増え、親子で自然を楽しめるような環境になればいいと思います。釣りやバーベキューなどが出来る環境を作っていただき、他県からの客も増やしていただければと思います。個人的な希望ですが、釣りが安全にできる環境作り、川岸の草や倒木の処理、駐車場・トイレの完備、アユ釣り時期のオトリ屋の設置などしていただき、アユやヤマメがいる迫川を小国川や気仙川のように釣り人でにぎわう有名河川にしていっていただきたいというのが、私の個人的な希望です。また学生は入漁料無料などにして頂き、漁業組合への支援などして頂ければと思います。</p>
18	<p>■運転免許を持っていない若者など、幅広い人達が暮らしやすい街にするために公共交通機関をもっと充実したらいいと思います。また、子どもが遊べる施設や公園を増やすと「ここで子育てしたい」と思えるようになるのでは、と思います。</p>
19	<p>■休日に市外に遊びに行かない環境にしてほしいです 何もないので、栗原で買い物をしたいとおもわない結婚、出産よりまず先に、魅力的な街になってもらわないと、子供が残らず、残るのは老人ばかり 過疎化が進み未来はないと思ってるので このままの状況ですと将来は市外に移住するしかない。</p>
20	<p>■栗原市のイメージがど田舎で何も無いというのが大きくある。 近隣の市のようにある程度大きな企業の誘致や店舗を増やして好循環を作っていないと栗原市の人口減少と衰退は不可避だと思う。 企業の誘致、有名どころの店舗増、ニュース等に取り上げられるくらいの目を引くような子育て世代や結構者に有利な制度や保証をどんどん増やしていくくらいじゃないと栗原市の未来はないと日々強く感じる。 栗原市の財政等厳しいのは分かるが今投資しないとハードルは高くなる一方。 毎日危機感が募るばかりで実際妻と栗原市を出る話を進めているのが現状。 まとめるととにかく小さくじゃなく思い切って大きなことをやらないといけない所に来てしまっている。</p>
21	<p>■旧市町村単位で公園が欲しい 若柳にばかり新しいのが増えているが 住んでいる一迫には無い 屋内遊び場が欲しいが、雪の多い地区に近い所に欲しい。花山、鶯沢、一迫方面。 子供が安心して給食を食べれるようにして欲しい。 無料だから良いわけではない。 給食のメニューを見ても組み合わせに驚く。 しっかり見てください。 カレーうどんにチョコチップパンにチキンのレモン焼きと言うメニューはどうなのでしょう？ 幼稚園から中学生まで餃子 2 個？？ 住みたい町等とうたって居ますが 住んでいる人は全く住みたい町、住み続けたい町と思えません。 新しい事に取り組むのも大切ですが、まず 現状を把握してください。 また、市で運営している幼稚園なのに 地域によって学ぶ内容が違うのは何故でしょうか？ 統一して欲しい。 子育てしやすい町になるようぜひご検討ください。</p>
22	<p>■私は未婚ですが甥っ子達がいます。栗原市は公園等の整備が遅れていて、子供達が遊べる場所が限られており、季節により利用の偏りがあると思いますが、遊具遊びや水遊びができる場所の整備があるといいと思います。若者がリフレッシュとして自然を利用できる環境や施設の整備があるといいのではと思います。また、交通網に関しては、若者というよりは高齢者が利用者しやすい、交通利用の在り方を考えておく方がいいのではと感じます。全てにおいて、お金がかかることなので難しいとは思いますが、実現されたら嬉しいです。</p>

景観、自然と共生した生活環境

23	<p>■栗駒は特になのですが栗駒から築館までの所や栗駒から金成までの所と栗駒から若柳に出るまでにコンビニが無く不便です。子供をどこかに連れて行くのにもトイレが利用出来なければ出かけるのを嫌がったりするのではないのでしょうか？コンビニを建てるとしたら男女共用のトイレを3個以上もうけるなどしてほしいです。駐車場も広くして欲しいです。次に買い物不便です。イオンモールを栗駒に建てて欲しいです。トワニーというカウンセリング化粧品や服、靴、バッグ他岩手県一関市に行っていて買っています。もう遠くて運転も限界です。1日ばかりで行っています。トワニーの化粧品の店、服（大きいサイズのものであたたかい、すすしい服、コート他もです）、ユニクロなどの店、靴屋さん（ニューバランスのスニーカー、お多福の磁気付シューズなど）を置いた店やダイソー、セリアなど栗駒に建てて欲しいです。メガネ屋さんも家電量販店も栗駒にほしいです。築館の靴屋さんも駐車場がなく歩いて行っています。宅配なども良いですね。他県にお金を落とすとしてもしょうがないのではないですか？子供だけでなくお年寄りも皆が安心して地元で暮らせるようにして欲しいのです。全科診療の病院も立てて下さい。</p>
24	<p>■公共交通機関の充実。大きな商業施設（娯楽施設やデパートなど）。</p>
25	<p>■マックやスタバなど若者向けの店をつくる。若者へのサポートを手厚くしてほしい。（子供と老人のいる家庭に金銭を渡すのではなく、平等にすべき）</p>
26	<p>■若者が好む店を増やす（マクドナルドなど）。若者、子供が遊べる室内施設を作る。</p>
27	<p>■ゲームセンターなど、アミューズメントパークを作って若者達の遊び場の確保！！若者達が気軽に食べれるマックやケンタッキーを作ってほしい。ドン・キホーテ、ラウンドワン、ダブルストーン、作ってほしい。</p>
28	<p>■近隣の市に遊びに行かなくても済むような商業施設やレジャー施設が欲しい。若者がお金を稼ぐ環境が欲しい。若者の持つ夢が無い。</p>
29	<p>■若者が住みやすい市くらしとしては。若者にあった街作り、くりこま高原駅前の再開発。ファストフードの店を作る（アイスクリームやマックなど）。そして空き店舗の開発。イベントを増やす。栗原文化会館やドリームパルでのコンサートやイベントなどを増やす。若柳地区に店を増やすこと（ヨークベニマルなくなったから）。イオンの中に店を増やすこと。</p>
30	<p>■カフェやチェーン店等、若者が好む施設や交通の便が充実できれば、若者も住みやすく定着していくと思います。</p>
31	<p>■イオンモールや若者が定着するような商業施設の充実。</p>
32	<p>■町の中心となる市役所や各総合支所の周辺に大手スーパーや有名チェーン店を設置したり、近くに公園がない場所に新しい公園を作ったりすると思います。あと、安心してキャッチボールができるように各公園に高い柵を設置してほしいです。</p>
33	<p>■若者が行きたいと思う店、夜にゆっくりできる店。（スタバ、マック、GUなど）</p>
34	<p>■ショッピング施設が充実すると良いと思います。私は今年度から栗原市に住んでいますが、スーパーの閉店時間が比較的早く、仕事が遅くなった日には寄りづらいです。また、衣服を購入できる店が少なく、週末は都市圏へ行く事が多いです。市内で買物が済むようになると、若者も定着しやすくなるかと思っています。</p>
35	<p>■若者が休日を過ごす際に、楽しいと思える施設や商業施設の選択肢が多くあるまち</p>
36	<p>■イオンモール、アウトレットなどの施設</p>
37	<p>■①各町において商業施設の充実 ②老後も見据えて、公共交通機関の充実(便数増、駐車場の増など) ③食料、日用品等の宅配 ④鹿、熊等の猛獣や害虫対策</p>
38	<p>■一日中大人も子供が遊べる様な大型商業施設がない ファストフード店があったら良い</p>

景観、自然と共生した生活環境

39	<p>■ 築館志波姫の街がさみしいと思う 仮にも新幹線の駅があるのにでかいイオンのみ 中はガラガラになりつつありますね 築館はカラオケ派あれど若者が興味持って 遊べるような場所もなく PTA とかがうるさくても昔からゲームセンターなんかも出来ないってありましたけど 4 号線沿いでもさみしい印象がありますよね 一関市に仕事に行っていますが せめて主要道路沿、また開発中であろう 4 号バイパス沿は頑張ってほしいです 子供服とか若者向けのテナント あっても行かないではなく古川、一関に行かなくても 色んな物がある。仕事もあればもっと人も集まるとは 思ってます</p>
40	<p>■ 店舗などの誘致</p>
41	<p>■ 子どもの遊ぶ所がないので作って欲しいです。 野外の公園も雑草が多く整備されていない公園が多いような気がします。 公園に行くのにわざわざ遠出している現状で長沼のようなイベントもできるような公園や豊里のような街の中心に公園がありコンビニやドラッグストアが近い公園などは足が運びやすいです。 栗原市には何もありません。</p>
42	<p>■ スターバックスコーヒー、マクドナルド、チェーン店の居酒屋、オカマバーなどチェーン店が利用できるなら若者がもっと気軽に入ることができるため定着すると考えます。</p>
43	<p>■ 新幹線や高速道路など移動はしやすいし、生活する上での必要なことは揃っていて暮らしやすいと思います。強いて言うなら、娯楽施設がもう少しあれば良いと思いました。(温泉施設や子どもの遊び場とか)</p>
44	<p>■ 志波姫イオンが利府イオンや富谷イオンのような複合施設になるいいと思います。 食材や生活用品はもちろん、中高生も楽しめるアパレルや雑貨店、アウトドア用品店、映画やゲームセンターで娯楽も楽しめる、雄大な景色を見れるカフェなど、市街に行かなくても楽しめるものが必要かと思います。</p>
45	<p>■ ・様々な分野のお店を増やす(服、食事、日用品など) ・子供を連れて楽しめる、テーマパークを作る(室内・外それぞれ)。</p>
46	<p>■ 若者が充実できるような施設を作る</p>
47	<p>■ 大規模なイベント</p>
48	<p>■ ・子供(10代、20代)の人達が遊べる所がほしい。(仙台、東京まで行かなくて良くしてほしい) ・子育ては終わりました。子供(小さい)人達ばかりにお金を使わず、全世帯にお金を回してほしい。</p>
49	<p>■ ・若者は大学等の進学で東京や仙台等に出て行く。 ・都会慣れをした若者は田舎の仕事、家、娯楽等への移動時間の問題や車が無い人も居るので都会にのこる。娯楽、仕事、家、店等を集約する大規模な再開発、栗駒高原駅、高速道路等周辺の開発、毎年開催の祭りなど若者向けイベントの充実(出会いの場)、特に若い女性向け。</p>

豊かな心と文化、生涯学習

50	<p>■大学進学後に戻ってきてもらう為に、卒業後に栗原市に就職した場合、奨学金の返済がなくなる制度の適応される職種を増やす。</p>
51	<p>■今の若者に気に入られてないならあきらめるしかないと思う。実際、上京したりする若者の方が圧倒的に多いと自分は、思います。残っているとすれば「いつか行きたい。大学目指したい。」と思う人の方が多数でしょう。ならば、逆にこの町でしかできない事を発掘していくべきだと思います。今問題になってるクマを狩るハンターとか、命を懸けて戦い、生存本能を刺激して子孫繁栄させるきっかけにもなると思います。バカバカしいとは思いますが、それくらいでなければ栗原市はおそらくなくなります。クマに喰われるか、役所のすいたいです。色々思う所はあるけど命をはぐくむためには、そうするしかありません。手おくれでしょうけどね。自分からは以上。</p>

安全・安心なまちづくり

52	<p>■安心する町づくり。・夜が暗すぎるため、外灯を増やす。・農業関係の仕事の就職率。・賃金等の低さ、物価高の対策。・病院の機械などの最新のを導入。・遠い所へ行かなくても安心できる施設の種類（病院等）。・都市部に住むことと、気を付けなければならない田舎の注意することを伝える。（最近では、クマや水害など、都市部ではまた違う苦労があることを伝える。良い情報だけ与えない）</p>
53	<p>■○遊具のある魅力的な公園づくり。○子供だけでなく、大人や高齢者も配慮した町づくり。将来も安心して暮らせる市を目指す。○道路の整備（雑草、色あせた設備などの除去や塗装をし、廃れた感じを是正する）○農業や介護でのパート雇用の充実を図る。○公共施設の利用のアピール。○公共施設の近くに食事場所や道の駅などをつくり、利用しやすいようにする。温泉地を整備して、働く場所や観光地をつくる。○Uターン就職に特典を付けたり、医療系や教育系進学者以外にも奨学金返還免除をし、地元への就職を促す。</p>
54	<p>■先ほども書きましたが、スーパーや病院、飲食店があり、当たり前の生活が普通におくれるまちになってほしい。地元の野菜を使ったおしゃれな高いレストランよりも、疲れた日に子供と一緒に気軽に行ける安いチェーンの飲食店がほしい。体調が悪いのに遠くの病院まで行くのがつらい。近所に病院がほしい。日々の買い物ができるスーパーが無さすぎる。老後、車を手離した時に生活できないだろうと思うと不安しかない。まともに普通の生活がおくれるまちになってほしい。</p>
55	<p>■栗原市に住めて嬉しく感じて安心して生活していけるようになればいいと思います。</p>

56	<p>■年々若者の転出が多く、地元に残る人の数が少なくなっている。原因の一つとして賃金や給与の水準が低い事が挙げられる。昨今増税や物価の上昇を引き金として「お金がなければまともに生きていけない」という考えが浸透している。地方の最低賃金はようやく1000円を超えた所であるが、関東地方に比べれば、まだまだ十分とは言い難い。東北地方に限った話では、宮城県は、住民税も高い。全国的にも住民税は高い部類に位置付けられている。引かれる税金や年金額は一律にもかかわらず、賃金が低ければ手元に残る額も少ない訳である。生活に余裕のない状況で、結婚、ましては出産、育児など考える余地もないのである。結婚はもとより、出産、育児、子供の将来を考えた時、子供にメリットのない社会になっていくことは明らかである。経済的余裕のない家庭がどれだけ子供を産んだところで、生活は益々苦しくなるだけである。経済的余裕のある家庭ほど、自分達の払う税金が市区町村のどの部門にどれだけ遣われるのか考えている。したがって、産科も無ければ賃金の低い場所で結婚、子育てなど行う訳がないのであろう。また、地域風土も関係している。地域のコミュニティがある事は良いことである反面、どこで何をしても筒抜けである。生まれてから現在まで、同級生や近所の人たちからのプライベートな質問や私生活の疑問の投げかけに不快になったことは数知れない。若者が定着するには、古い価値観を捨てられない高齢者達の意見ばかりに左右されず、若者の意見を重点的に取り入れるべきである。栗原市の未来をつくって行くのは若者である。したがって、若者にメリットがなければ定住はしないのである。ファストフード店やショッピングセンター、交通の便が改善されなければ、このまま少子高齢化が進んで行くだけである。結婚や子育てを推進する前に、現在の社会情勢を踏まえた施策をすべきであると考えます。</p>
57	<p>■今の物価高で毎日の生活がやっとです。その中で子供が欲しいと思っても前向きになれないのが現状です。支援が充実する事を願います。</p>
58	<p>■・栗原市に産院がないことが自分の中で子供を産む事の大きなつっかかりになっている。「もしも…」の事を考えると市内に産院またはNICUのような子供のケアが行える場所がほしい、または知りたい。・大学生ですが、医療費が18才を超えてからかかり、アルバイトと学業を両立しながらだと、ささいな体の不調でも受診しにくい（お金がかかるため）。何か支援又は学生のみ医療費を半額にして欲しい。・地域の子供たちが見なくなったこととして、子供が遊ぶ事が出来る場所や遊具の設置がないことも大きくあると思う。安全面を考慮しての措置だと理解できるが、学力の向上や運動能力の向上をふまえると、大切なことではないかと考える（昔よく近くの公園で遊び自分で考える事や協調性を学べた）。・子供や親と、地域の方々と一緒に楽しくイベントの開催(小学生の頃にバザーがあり、地域の方と一緒に楽しんだ記憶が根強くある)。</p>
59	<p>■1. 若い世代の人が良く利用する施設（映画館、ファーストフード店、アミューズメント系の施設等）や産婦人科病院の拡充。2. 若い世代の注目を集めるメディアへの展開。（SNS、アニメ、漫画の利用等）3. （自分の偏見ではあるが）地域、田舎特有の困習というか古い考えが、若い世代にとってはあまり好意的に受け取られていないと思うので、上の世代の意識もアップデート出来るのであれば、少しでもそうして若い世代の人たちに歩み寄っていただきたい。</p>
60	<p>■①安心して出産、子育てできる環境が十分ではないと感じています。（「子育てしやすいまち」と市外に宣言しているにも関わらず…）・出産できる病院が市内にない。→出産は命にかかわる事なので産院が近くにあると安心です。現状、市外へ行かないと出産できないので、特に緊急時は産院まで1時間程度（あるいはそれ以上）かかるとなると不安感があります。・小児科が少ない。→子供は体調を崩すことも多いし、緊急性のある病気にかかることもあるので、小児科が増えると安心感も増すと思います。②子供が欲しいと思っても自分の生活でいっぱいになり、なかなか妊娠に踏み切れません。・物価が高騰しているにも関わらず収入は増えない。→子供がいると今の倍以上の生活費がかかると思っていますが、その生活費を捻出できるほど今の自分の生活に余裕がないです。・出産や子育て関係の補助金、支援に条件がある。→経済的に余裕がなくて1人目の妊娠にすら踏み切れないのに、現状の支援は第2子、第3子以降の子供が対象のものが多く感じています。子供を増やしたいなら、まずは1人目から支援してほしいです。第1子妊娠、出産を手厚く支援していただき、1人目に踏む切れるようにしてほしいと思います。</p>

結婚・出産・子育て環境

61	<p>■・結婚しても栗原市からお祝いの品物や、経済的支援などはありませんでした。他の市町村では経済的支援を受けていると聞いています。また、夜勤などがある職種の方で、出産後の託児所の体制が整っておらず、託児所を変えたなどの話を聞いたことがあります。子供の医療費など支援いただけることは非常に助かりますが、結婚を支援し人口減少を抑制したいのであれば、やはり経済的支援が重要になると考えます。(人口が減少している中、非常に大変ではあると思いますが…)・若者の定着については、復職を考えている人がいましたが、ハローワークなどで働き口がない(紙面上では性別記載はないが、企業は実際のところ女性を求めているなど)があり、地元を離れてしまう人をみたことがあります。新幹線など通勤サポートなどがあれば、若者は実家から仕事に通勤することも選択肢のうちに入るのはないかと考えます。今後の栗原市のために尽力いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。</p>
62	<p>■店があまりないので、古川、一関まで行かなくてはならない。婚活パーティーなどあれば良い。イベントなど。</p>
63	<p>■若者が少ないので、出産後の交流に不安を抱えている人が多い。ママ友がいない、作れない等。小さな子がいるママさん達が子連れで参加できる交流会やサロンのものを企画し、広める必要があるかと思えます。それと、地区ごとに数名程度の母子または父子を集め、子供は歌やゲーム、おやつタイムを入れ、親は困り事や悩み相談の場などを作る。子供を任せられるボランティアの方(保育士など、心理師、心理士も)が必要となる。要は交流の場!!</p>
64	<p>■○出産、子育てはお金がかかる事なので、市からのサポートや支援が必要だと思えます。○若者が定着する事に対しては地区によって格差があるので、行政や市からのサポートだったり働ける場所などの情報が必要だと思えます。</p>
65	<p>■スクールバス、学童の充実。</p>
66	<p>■○結婚支援ー引越し、リフォーム費用。ささやかなお祝い(フォトウェディングなど)。○子育て支援ー1人目から支援(出産費用、育児費用)。大学進学したい者へスポーツ特待生、学力特待生制度。※奨学金制度ではなく。○若者の定着。○地元愛を育む①スポーツ特待生、学力特待生制度。※奨学金制度ではなく。②学校教育で地元農業、産業について学びの機会を増やす。○地元での雇用、起業ー企業誘致、スマート農業(法人化)、子供から参加できる起業セミナー。○ずっと住みたい街づくりー母子保健~介護保健、福祉保健+生涯住みたくなるような安心を。</p>
67	<p>■◎今よりもっと大学や専門学校を増やす事によって一時的でも若者が増え出会いも増える。◎出産ができる病院があると良い。◎キャンプ場やアウトドアが楽しめるような場所をもっと作れば他県からも人が集まる(出会いも増える)。</p>
68	<p>■物価高に伴って、子供にお金がかかる為、出産する人が減っている現状。出産後、子供育てやすい環境づくり、補助金をもう少し見直して頂きたいです。不妊治療の補助金を出してほしいです。</p>
69	<p>■若者が、地域貢献しやすいような環境作りが必要だと思えます。1世帯当たり、子供を出産したら、出産手当を支給していく制度も現在あっていいと思えますね!</p>
70	<p>■若者が定着する為には、働ける職場がもっと必要だと思う。産婦人科や不妊治療専門医などがあると良いなと思う。</p>
71	<p>■不妊治療の支援などもう少し大体的にしてもらえると若者の方(これから結婚予定の方や考えている方)にも考えるきっかけにもなるのではないかなと思えます(結婚や出産などの)。</p>
72	<p>■第1子からの保育園無償化。</p>
73	<p>■東京、仙台には無い独自の施設があれば、若者が定着するかも知れません。結婚、出産、子育ては今の日本では難しいです。物価高、価値観の変化、出会いの場がない、増税、治安低下、ネットで見られる結婚した人の愚痴、一人でも楽しめる娯楽が多いなど。今の日本は結婚=人生の墓場のイメージが強いです。今の若い世代は結婚しないと兵役みたいなのが起きない限り結婚しないと思えます。</p>

結婚・出産・子育て環境

74	■今の子育て世代や将来子育てを担うもっと若い世代が「子育てしやすい社会」と感じるためには、子供の成長に合わせた中長期的な支援制度があり、そしてそれは誰もが受けられる仕組みである事。制度は拡充される事があっても、縮小や廃止はなく、将来にわたって約束された制度であることが必要ではないかと思えます。子育てしやすい空気が醸成される事が、欲しい数だけ子供を産み育てられる社会の実現にむけた一歩となるのではないのでしょうか。
75	■栗原市は産婦人科の施設をもう少し充実させるべきだと思います。私は現在、仙台市の不妊治療クリニックに通っています。正直、仕事との両立は厳しいです。毎回高速バスや新幹線を使って仙台まで行きますが、交通費もかかるし遠いので大変です。栗原市で治療ができればいいのに…と何度も思いました。出産も栗原ではできないと知りました。不妊治療の助成制度をもう少し考えて欲しいのと、出産の制度も変わらないと、若者はどんどん減少すると思います。若者が暮らしやすいように、どうか制度や施設を良い方向にいくことを願っています。
76	■・仙台市と盛岡市の間として、商業施設などが充実し、若い世代のベッドタウンとして発展していく街づくり。・婚活のイベントを様々な方法で提供して、家庭を持つ機会を地域が積極的に取り組み、子供が増えていく街づくり。・栗原市へ移住する方のみではなく、栗原市に住んでいる方が結婚、出産、新しい家を建てる際の補助を充実させる。
77	■現在子なしの30代夫婦です。年齢的にもあと1～2年後に子供が欲しいと考えておりますが、金銭的、仕事のことも子供を持ち育てていくことに不安があります。親が同じ年齢の時よりも収入は上であると感じておりますが、金銭面では子供を育てていく資金、子供を育てる環境（住宅など）を整える資金に不安があります。仕事面では職場の出産に対する意識です。50代がメインの職場で先に出産した同僚は子供の関係で休みが多くなり、この間移動になりました。子供を親に預ければ良いという意識があるようですが、私たち世代の親は普通に働いているため頼れません。仕事と家庭を両立するにあたり昔よりもやりたいことをやる時間が少ないように感じます。正社員として働き、十分な収入を得るためには子育てにさける時間がより少なく感じます。産院が近くにあたり、子供の学校、17時以降に帰っても利用できるバランスの良いご飯が食べられる外食先など、コンパクトに必要なものがそろう場所であってほしいと思います。
78	■病院、特に小児科、産婦人科など。出産できる病院が栗原市に無い事は残念に思います。自分の子供がもしこの先里帰り出産をしたいとなっても、きちんと協力してあげられるだろうかと、近くに安心して出産ができる病院があったらいいなと思います。
79	■快適な居住環境。手ごろな住宅、若者や子育て世代向けの住宅支援、安価な土地の提供や補助金など。
80	■結婚を期に仙台から越してきました。人口の多い仙台に住んでいてもなかなか出会いは無く、アプリを利用して夫と出会いました。栗原に来てから最近「婚活バスツアー」が市内で開催されていることを知り、素敵に催しだと感じました！このような催しは仙台にいた時間いたことがなく、栗原市が結婚や出産について力を入れているのかな？という印象を持ったと同時に、私も夫も「参加してみたかったね」と2人で話していました。笑。栗原に住みはじめて2年、私は栗原市が大好きです。通勤路で毎日目にする栗駒山、その脇に広がる田んぼ道、伊豆沼のハスや白鳥、マガンなど自然豊かなところ、また最近ではオシャレなカフェもたくさん増え、私の知らない栗原市をもっと開拓していきたいと思っています。自然豊かなこの栗原市で子育てしていきたいです！私は色々な情報をinstagramで収集することが多いです。栗原市の公式アカウントでもさらにたくさんの発信楽しみにしています！！
81	■子供が遊ぶ施設（屋内・外）がもっと数多くあると良い。出産においては病院が少ない。若者の定着につながるかは不明だが、大学やイベント会場など栗原市に来て知ってもらえる場所があると良いと思う。
82	■今回のテーマだけで言えば、子供を2人以上産んだら生涯住民税免除くらい振り切ったことをしてみてもいい？所得税でもいい。その上で中央病院に産婦人科の復活、助産師育成に力を入れてみてはどうでしょう。
83	■産婦人科、出産できる場所がほしい。

結婚・出産・子育て環境

84	<p>■○子育て世帯に人気の施設、雨でも遊べる公園、動物公園。○若者が集まる施設、スポッチャ。○中年層が喜ぶ施設、複合型商業施設、カラオケ、ボウリング。○高齢者が和める施設、運動場、体育館、お祭りの行きやすさ、高齢者の席がある、大きい温泉施設、休憩所が広々していてバイキングあり、色々な種類が植えてある植物園、大きな公園、散策コース、花の名所。栗原市内に各年齢層にささる施設が充実していると人が集まるしお金を使うし。☆とにかくまず大きな公園が欲しい。高齢者にやさしい町だと結婚、出産、子育てにもつながると思います。</p>
85	<p>■子育て世帯に対しての支援は充実していると思う（金銭面において）。若者の定住に関しては、働く場を増やすことや、様々な勤務時間を選択できる等の体制の整備が必要と考える。</p>
86	<p>■少子化により若者の出会いは少なく、利己主義や自己中心的な傾向となり、さらに年齢を重ねれば結婚願望は消滅してしまうと考える。そこで①いわゆる昔の「仲人」のような「仲介役」を地域・職場等で作っていくことも必要か？行政主体の「出会いの場」設定と合わせて…。②結婚に対する若者の意識改革を図る。そのための場として青少年教育や成人式、各種学校の卒業式等で訴えていく。③義務教育学校・高校・大学の教育費、通学費…経済支援を行う。</p>
87	<p>■働きながら結婚、出産、子育てができるまち、仕組み、社会づくりが必要と思います。その先頭を切る市役所が、毎日夜8時でも9時でも電気がついているのでは、先は無いです。お疲れ様です。</p>
88	<p>■・月に1回でも良いので、ゴミ拾いボランティア活動など開催してほしいです（地域清掃以外で）。・勤め先で不妊治療の理解を得られず、結果的に退職することになりました。今後、同じような状況の方が働きやすい制度が整うことを希望します。</p>
89	<p>■保育園、等の預かり施設の充実。明確でわかりやすい支援内容。それらを多くの人に知ってもらう広告活動。</p>
90	<p>■・結婚祝い金の制度。・子育てがしやすい環境づくり（公園等を増やす）。</p>
91	<p>■仕事に専念したい等、様々な事情や価値観を持つ未婚女性に対して特にご年配の方から差別的な言動をされるケースが多く見られます。「女性は、結婚して子供を産んで初めて人として認められる」というような前時代的な考え方が根付いているうちは、若い世代はこの地域を離れている一方だと思います。</p>
92	<p>■・いろんな人が、楽しくできる行事を、何個か決めてほしい（アンケートを取ってほしい）。・給料が低いので、安定した給料にしてほしいのと、ボーナスを付けてほしい。・結婚は、強制ではなく個人で決め話しやすい環境を作り、支える場所をつくってほしい。・若者にいろんな人がしやすい仕事を増やしてほしい。・子育ては、男性も女性も協力できる環境にしてほしい。・栗原市は、他よりも文化が皆に伝わりにくいので、伝わりやすいようにする。・自然環境をもっと良くするととても過ごしやすい環境になる。・一度、きちんと皆の意見を聞いてほしいです。・若者や、老人が話しやすい環境を作ってほしいのと、交流できる場所を作ってほしいです。・どの求人を見ても、栗原市の給料が低いところもあれば、高い所もあるなど、とてもバラつきがあると思うので、もう一度考え直してみた方がいいと思います。・子育て、結婚は、女性が、とても負担に思っている人もいるので、男性の助けも必要となるので、コミュニケーションが取れる場所、そして、心のケアができる所、女性は、うつ病になり安いで、癒される場を作ってほしいとか、思いました。・最後に、決めてから動くのではなく、すこしずつでもいいので、栗原市をよくしてほしいと思いました。栗原市は、どの市よりも、美しい町なので皆で協力して栗原市を盛んな町にしていきたいです。</p>
93	<p>■栗原市は子育て子育てとそればかりにチカラが入っているようで、子供を欲しくても持てなかった人にはとても苦しい。給食費無料と親御さんたちが喜んでる声もよく聞かすが、自分の子供には最低限食べるものは自分たちで出してもらいたいと思う。または所得に応じての無料化など。行政から手厚く支援してもらった子供達が大きくなると、そこに定住しないのはやはり働く場所・学ぶ場所がないからだと思う。もちろん若者に魅力的な楽しい場所も。栗原に未来はない。若者から聞いたことがある。悲しい言葉だった。</p>
94	<p>■・不妊治療に理解のある医療機関や相談窓口の拡充 ・不妊治療している夫婦が安心して働きながら通院・治療しやすいように不妊治療休暇制度の導入や会社や職場への理解を広める取り組みをしてほしい ・妊娠、出産だけでなく治療中の人にも「安心して暮らせる」と思える支援がほしい</p>

結婚・出産・子育て環境

95	■すでに結婚、出産、子育てのしやすいまちです。若者が定着するために必要なことは、都市化です。ヒト、カネ、モノがあるところに人は集まります。
96	■現時点で、栗原市は子育てがしやすい環境ではあると思います。若年層当事者としての視点からは、キャリア形成の方が重要で出産自体に魅力を感じていないため、現在栗原市にいる若者の流出を止めることにこだわらず、栗原市が育児をしやすいまちであるという点を周知し、育児がしたい人たちを呼び込む政策があればよいのではないかと思います。
97	■医療費無料など子育てしやすいとうたってはいるが、子供向けの施設が圧倒的に少ない。整備された公園も少なく、昔は自然豊かでのびのびと遊べたりしたが、今現在は暑さや熊などの不安もありなかなか外で自由というのは難しいので屋内遊戯施設などがあればいいと思う。若者の定着にも関わってくるが、充実した施設があれば市内に限らず市外、県外からも人は来るし、雇用もうまれる。現状、私も含め、私の周りの若者が(正直、若者に限らず家族連れも)買い物や遊びに行くのは周辺の市ばかりで、栗原だけぽつんと何も無い。自然が多いのは美点だし大事にしていきたいが、そのアピールも若者に向けてはうまくできていないのでは？
98	■将来的に子供を持たずとして、下がる気配が無い税金が子供が成人する頃にはどこまで負担割合が増えるのかと考えると、結婚を前向きに考える事が出来ない。子育て世帯や、子供に手厚いサポートがあると安心出来ると思う。
99	■働く場所の提供 若者が住みやすい安い借家 栗原市の職場の出産子育ての支援と理解の向上
100	■市の規模としては小中高の学校はそれなりに良いほうだと思う。これから結婚を考える人が一番不安なのが収入だと思うので、それなりに大きな職場というか工場は早めに必要だったと思う。通える範囲に働ける場所がないと暮らせない。富山県に太閤山ランドという公園があり、何度か行ったことがあります。平日でもお子様連れが多く訪れていて、近隣から興味を持ってもらうのに良い土地の使い方を感じました。
101	■上記の問いに対する答えではありませんが、問 26 の選択肢に「結婚した方が有利となる税制や社会保障」とありましたが、社会保障を盾に結婚を迫るようなやり方は如何なものでしょうか。
102	■ようは金ですよ金 綺麗事じゃないですよ みんなの所得が増えてある程度仕事しながら余裕出れば勝手に結婚するし子供は生まれる難しっことなんかじゃない
103	■子育てに悩む方に多く出会います。子供が安心して遊べる場所、屋内施設などの暑くても雨でも遊べる場所があると良いと思います。また、子供の生活習慣の乱れを感じます。それによってイライラしたり学校でトラブルを起こしたりする原因にもなることがあります。市をあげて「子供も親も、生活習慣を大事にしよう」という取り組みをされるのはいかがでしょうか。子供に寝ると言っても、親が起きてスマホやテレビでは効果がないと思うからです。
104	■結婚や出産をしやすい政策や社会保障制度の実施 自治体の企業や地域コミュニティなどとの連携 百貨店や飲食店、娯楽施設などの設置 インターネット等を活用した栗原市のPR 活動
105	■産まれから老人まで市で暮せて大丈夫だから安心して子供産めと次の世代に言える事。地域のつながりから地域の理解目は不審者の割り出しや不審者が近づけ無いポールより強く硬い壁になる。出会いは結婚掲げるより男女出会いの場として共同で作業や交流出来る方が結婚意識する機会を増やす意味では有効。出産は産婦人科が無い、小児科が遠いでは無く市内に欲しい。若者になり学校から卒業して市内に戻る程の就職先や企業の誘致かなと思う。子育て支援で儲かるのは塾や関連産業なので支援費は医療費無料より 500 か 1000 円徴収すべきで本当に明日食べる物すら無い程の困窮にはすぐ出せる方が良いし食べるの厳しい老人に回すべき。いづれ子は老人となるので生きる為の支援は過剰に与える事でも無い。
106	■0歳からの保育料無償化 土地開拓及び住宅促進 助成、補助 商業施設の充実

結婚・出産・子育て環境

107	<p>■結婚、出産、子育てがしやすいまち、に関しては物価高に対する賃金の上昇、長時間労働の是正、男性の育児休暇の取得のしやすさなどの問題は急務かと思われます。若者の定着に関して、特に女性は賃金が低すぎる、フルタイムで働いても一人で暮らしていく分の賃金が稼げない、そもそも働き口がなさすぎることはとても問題だと思います。先日9月24日にNHKで放送されたクローズアップ現代の内容は自身もとても共感することばかりでした。働き口を用意してそれなりの賃金を得られれば若者も定着する可能性はあるかと思われます。しかし無意識の偏見や決めつけ、年上の人間から若者へ対する昔からのコミュニケーションの取り方などがストレスとなり、地元にいるのが苦痛になるケースもあるかと思われます。そちらに関しては個人個人が自分自身を鑑み、意識改革していけたらどうか、と思いました。</p>
108	<p>■出産費用などの支援を徹底して欲しい。</p>
109	<p>■出産、子育てに関しては働きやすい場所、企業の間特に役職についている人間が育児休暇等に理解がちゃんとある事が大前提かなと見ていて感じる部分がある。医療、インフラ関連が充実している事だと思う。若者の定着についてはやはり各々の価値観があると思われるため一概にはなんとも言えない所があるが、共通してこれも働ける場所特に賃金面が高ければ自ずと定着するようになるのではないか?と思う。</p>
110	<p>■廃校を利用した屋内遊戯施設。・“〇人目以上”の条件付きの援助ではなく、1人目から援助が受けられれば、「子供を産みたい!」「子供を産んでみようかな」と思うカップルが増えると思います。・農機具の低価格レンタル、農業のノウハウ伝達式・会など、農業を始めやすい、継ぎやすい支援。</p>
111	<p>■結婚と出産についてここ数年の間、結婚と出産について真剣に考えましたが、思うように進みませんでした。結婚については相手の仕事の休暇制度に課題があります。また、不妊治療をしようにも体外受精など高度な治療は仙台まで行かないと受けられないため、時間と距離に問題があり、断念しました。身近に不妊治療を受けられる環境づくりを求めます。</p>
112	<p>■現在行われている、子育て応援医療費助成事業で、18歳までの子供の医療費が全額無料や、市立小中学校の給食費完全無償化等、子供を育てていきやすい環境は整っていると思います。一方で、若者が定着しようと思えるような魅力があると言われると、、、と感じてしまいます。自然が豊かであるところ、新幹線や東北自動車道等交通の便が良いなど、いいところもたくさんある栗原市ですが、どうしても商業施設がいまいちパッとしないイメージを受けてしまいます。くりこま高原駅の近くにはイオン一つだけ、そのほかはと言われると、、、という感じがします。商業施設を流行らせるには、公共団体だけの努力ではどうしても達成するのが難しいところもあるかと思いますが、企業誘致のような、企業との連携を進めていき、商業施設の参入も図られれば、さらなる魅力アップ、ひいては若者の定着にも寄与すると思います。</p>
113	<p>■・出産に関する検診等の費用の自己負担額が少なければ少ないほど嬉しいです。・育休取得後1年で職場復帰をするのは、家庭と仕事のバランスが保てるか心配です。しかし長く育休をとると、経済面で不安が出てきます。・栗原市内で妊娠、出産に関わる病院の選択肢を持たないことが不安です。</p>
114	<p>■私は0歳児の母親ですが、周りの子育て世代の話を聞くと「本当は3歳まで自宅保育をしたいが、経済的な理由で子どもがまだ0歳から1歳のうちに復職せざるを得ない」といっている方が多いです。【復職したい】【働きたい】という方ももちろん居ますが、是が非でも働きたいというよりは【働かざるを得ない】という現状もあります。働きたいお母さん、子育てに思い切り専念したいお母さん、どちらを選択しても暮らしやすい栗原が実現されたら嬉しいです。</p>
115	<p>■産婦人科医や小児科医が充実すれば出産、子育てがしやすくなる。</p>
116	<p>婚活パーティーの場を増やす</p>
117	<p>■栗原市に産科医がないことがまず不安です。</p>
118	<p>■産科医院の設立は必須 築館町内の商店街復興→店舗を構える人への金銭的支援等</p>
119	<p>■産婦人科やレディースクリニックの充実、子どもと女性に対して手厚い町になることを期待する。</p>
120	<p>■妊娠、出産に対応できる病院、医師が減り続けている時点で論外。住宅ばかり増えて、子どもを産みたい若い世代を招く気がない、未来を考えられない行政だと落胆している</p>

結婚・出産・子育て環境

121	<p>■産婦人科がないと出産はムリだと思う。だけど、その前に人が居なければ産婦人科も維持し続けることはできない。住むにはいいかもしれないが仕事する環境もないので人は来ない。現に都会のいとこがここに住みたいと言っている(人が優しいって言う理由で)が、仕事はないし、給料も安いからムリだと思うよ。と伝えたことがある。人と自然だけでは生活はできない。全部東京に密集せずに田舎に産業を振り分ければいいのになと思う。土地は余ってるのだから</p>
122	<p>■・結婚に関して…今の職場で正社員だが収入が少ないため難しい。出会いが無い。・出産に関して…医療機関が乏しい。他の県や市と比較すると、圧倒的に支援が乏しい。・子育て…上記2つの問題点がある為、確実に子育てがしやすいまちづくりは不可能に近い状況になるだろう。若者が定着するために必要なこと～以前、くりはらの広報等で同様な意見があり、実際に記載したがいまだに実現に至っていない。(例：医療福祉の向上、発展の為、医療や福祉の専門学校等の増設) 上記に記載されたことが現実に至っていない為、高校卒業後、若者は仙台市等の大学、専門学校に行き、そこで知識と経験を積み、仙台市の方が医療・福祉が発展しているので、そこで移住してしまう。また、栗原市は他の市と比較すると求人数も少なく、医療・福祉の求人はあるものの、圧倒的に給与や賞与が少ない。だからお年寄りの町だと言われている。手厚い給与や福利厚生がなければ、もう既に始まっている事だが若者離れが施行されている。栗原市の議員達は農業ばかりに着目していることが多々有り、危機感を感じていない。もっと効率よく何事にも積極的に実行されなければ、栗原市のまちがなくなるのは近いであろうと私は思う。私は長年栗原市に住んでいるが、友人達は皆離れてしまい会うことも少なくなった。結婚や出産も同様でしょう。緑が有り自然が豊かな一面はあるが、高齢者の方々にとっては不便と言っている方が多数ある。大きな病院はあるものの、治療は疎かで待ち時間が長い。仙台市はその点、受付や検査等が的確で早い。医師の説明も丁寧で、患者の身になって診察をしてくれる。すごい差がある。私も大学や専門学校に行きたかったが、母子家庭で経済面で無理であった。働きながら資格を取った。きちんとした政策をして欲しい。</p>
123	<p>■最近、家を建てるために土地探しをしていました。結果的にちょうどいいタイミングでいい土地が出たため決まりましたが、土地は余っているのに活用できていなすぎます！住宅用地として積極的に売りに出したり、子供が遊べる広場にするなど、活用方法を考えてほしいです。産休・育休中に給料面で不安があるので、サポートもあつたら嬉しいです。休日に市内で遊べる場所が少ないです。長沼フットピアのような市の象徴となる大きめの公園や子供や若者が楽しめる場所を作ってほしいです。お年寄りの方が軽い運動になるようなアスレチック的な物もあつたらいいなと思います。私のおばあちゃんがいつも家の前でストレッチやお散歩をしているので、いつもと違う場所で運動やお散歩をさせてあげたいです。あと、内職のような働きながらも少しでもお金になる仕事があると、これから妊娠や出産で仕事を休んだ時に安心です。お年寄りのポケ防止にもなるのではないのでしょうか？自分がおばあちゃんになっても住みたい！と思える町になったら嬉しいです！</p>
124	<p>■やはりお金の面で、結婚をしなくていいとか子供いらぬとか言っている子が周りにたくさんいます。そんな人達が少しでも減れば、少子高齢化の対策にも繋がってくると思います。子供を作るということは、仕事を休まなくてはならないし、仕事が周りより遅れてしまう。そう思うと私自身も子供を産みたいか悩んでしまうこともあります。お金や仕事、生きていく上で必要なことに対するサポートや支援がとても大切だと思います。</p>
125	<p>■市内の独身者を統計。祝い金の充実。産婦人科誘致。月給25万円以上の企業誘致。映画館、ライブ・コンサートが開催できる大型施設の建設。地域コミュニティ参加金給付。一関市、大崎市、登米市にはあつて栗原市にないものを検討し、誘致する。移住者ばかりではなく既存の市民にも補助金拡充。</p>
126	<p>■減税。治安の良さ。外国人が少ない。子供達の未来に希望の持てるようにならないと無責任に子供が欲しいなんて言えない。自分の先々ですら真っ暗なのに養う余裕ない。</p>
127	<p>■子どもが遊べる公園を整備してほしい。</p>
128	<p>■キッズランド整備が進められているが、県内の他市町でも実施済みや計画されており、栗原市の施設については他市町と同等ではなく、それ以上の施設もしくは、他には無い設備を整備することで、交流人口の増加・経済効果が期待できると考える。(例：東北で一番の施設、東北で唯一の施設、ポケモン公園など)</p>

子どもの育成

129	■中高生の学力、学習意欲向上。
130	■市内に住む中高生に意見を聞く
131	■小学生や中学生のうちから地元栗原市にはこんなすてきな所があり、様々な職業があると教えたり、学ばせたりして地元愛を高めてもらうようにする。そうすれば都会への流出を防いだり、やがて地元で結婚することにつながっているのではないのでしょうか。ある程度大人になった若者は田舎に帰る、田舎に帰って仕事を探す、結婚するということがなかなか難しいと思います。
132	■若者の定着について 出身が栗原市であることに自信を持てるようにできれば定着率は高くなると思う。高校生に話を聞くと、栗原市は何もないと話す。より深く聞くと、良いところをそもそも知らない。または、当たり前すぎて良いと自覚していない節がある。栗駒山に登ったことはない、岩魚を食べたことがない、パブリカを生産しているところを知らない、ゆり園が復活しようとしているが行ったことがないなど。学校や部活、クラブなどの団体向けに地元の魅力を知るイベントをしていくのはどうか。山に登る、狩野英孝の思い出をめぐる旧 10 町村の穴場や有名どころを回るツアーなど。市役所は発信をしているが、住民に伝わってないかも、、、(伝えるのって難しいですね、、、) 住民が当たり前だと思っている(あまり良くない)ことを変えていくことも大事だと思う。全ては難しいが、せめてこれからの未来を作っていく子供達が見る景色・景観をよくしたりすることが大切なのではないか。通学路の雑草が生えっぱなし、放置されている田畑が雑草だらけでは、自然と「衰退」というイメージがついてしまう。あとは子供たちが学校生活を楽しく過ごすことができれば良い思い出となり、友人が多い地域に帰って来たい・離れたくないと思えると考え。正直、いじめが起きているような学校に通っていたら良い思い出にはならないし地域や友人に対し、いい思い出も持たないだろう。早く出て行きたいと思うのが当たり前だし、どうせ卒業したら関わらないからと、友人と深い関係も作らないだろう。子育てや結婚についても、いじめが多いとわかっていて通わせたいと思う親もいないと思う。ただ、子供が一生涯懸命になれることがあるのはとても良いと思う。ここ数年で増えたダンスや、築館のホッケー、岩ヶ崎の軽音など。(自信につながるため) 長々すみません。
133	■子供への投資がもう一歩攻めたものが欲しいと思う。それは周りの環境(ジオパークや栗駒山、伊豆沼だけでなく、田んぼなどの自分の育った何気ない環境も含め)などを活かした体験型の経験という投資を大人、街ができれば、記憶と体験、経験は大人になってからでは遅いと思います。「あの時の苦しい登山が、、、」「自分の足で最後まで歩いた」「稲作を体験して米作りがこんなに大変だとは」の様な記憶がコミュニケーションのエピソードツールとなり必ず役に立つと思います。子育て資金だけでなく、子どもへの投資も視野に入れながら街全体で栗原市を作り上げられたらいいと思います。
134	■【子育てについて】学校環境が悪い。タブレットを配るよりパソコンを配布したほうがいい。スポーツ(部活)も選べない。塾に行くのも一苦労。図書館が充実していない。【若者が定着について】色々なことにチャレンジしても、リトライできるような支援が必要。
135	■少子高齢化により高齢者優先もいいと思いますが、子供達が最優先で暮らせる環境にしていかなければ、栗原市の人口減少は止まらないと思うので注力していただきたい。

健康で安心して暮らせる環境づくり

136	<p>■・現状、大学や就職で栗原を出て行く人が多いと思います。・ゆりかごから墓場まで栗原市内で安心して一生を送れるような街づくりをして頂きたいです。・農業や公務員、工場勤務以外の職業で本当に食べていくことを目指すなら栗原を出ていくしかない現状が未だに有り、問題があると思っています。・私の周囲にも未婚の男女がけっこう居ります。特に女性は食べていく為に働いて、出逢いの時期を逃してしまった方も多いです。20～30年くらい前から出逢いの場の提供や就職の拡充、子育て支援に力を入れていれば、もっと違ったかなと思います。</p>
137	<p>■結婚、子育て、若者の定着、全てに言える事ですが、地方のため仕方がない事ですが、例えば遊ぶ所等（公園、ショッピングセンター、アミューズメントなど）が少なく、ただ暮らす分には不便はないですが、休日など他の市に行かざるを得ない事が現状です。また、結婚をするための出会いの場や機会も、これによりとても少ないです。高齢の人も車がなければ交通機関が乏しいため暮らしやすいとは言えません。これは地方なので仕方がない事・問題ですが、これを解決しなければ全ての人が暮らしにくいままです。良い考えは地方では難しい事ばかりなので、少しでも良くなれば良いと考えております。結婚、子育てに関わらず、全ての人が暮らしやすいまちになることを願っております。</p>
138	<p>■結婚・出産・子育てだけでなく、家庭の事情で介護を担っている若い世代も少なくありません。以前、ケアマネジャーの変更を相談しに地域包括支援センターへ行った際、『うちではそういうことはできない』と取り合ってもらえず、大変ショックを受けました。介護をしている人は心身ともに疲れていることが多いので、相談に来たときにはもっと優しく寄り添っていただけると安心できます。若者が定着し、安心して暮らせる街になるためには、困ったときに『どうすれば解決できるか』を一緒に考えてくれる窓口が必要だと思います。たとえその場で解決できなくても、『ここに行けば対応してもらえる』とつなげてくれるだけで気持ちは大きく違います。相談に行った人を断るのではなく、解決への道を示してくれる体制を望みます。</p>
139	<p>■○ドン・キホーテがきてほしいです。○LGBT（性的少数者）への理解や支援を充実してほしいです。○親からの虐待で苦しんでいる人へのサポート、支援を充実してほしいです。○パートナーからのDVで苦しんでいる人への支援もお願いします。安心できる居場所が必要です。○仕事場に出勤しないで在宅で仕事ができる職種を増やしてほしいです。○私自身、栗原市内の仕事場でパワハラとセクハラの被害を受けて精神科に通うようになりました。今もつらいです。○就労支援施設A型事業所をたくさん増やしてほしいです。</p>

高齢者の生きがい、支え合いのまちづくり

140	<p>■生まれてから栗原市を離れたことはありません。大好きな市であるからこそ魅力のある住みやすい環境が必要だと思います。子供無しの夫婦世帯ではありますが、頼る子供も無いからこそ将来が不安でなりません。子供、高齢者だけでは無く現役時代も老後生活に不安が無い市にして欲しいです。</p>
-----	---

安心して暮らせる地域医療

141	<p>■・腕のいい医師が居る病院が少ない。・商業施設が少ない。・築館、若柳、志波姫は栄えているが、瀬峰、高清水なども活性化させてほしい。瀬峰は駅があるのに、駅前が寂しい。買い物に行くのにスーパーがない。市外へ行く事が多いので、スーパーやドラッグストアが瀬峰にほしい。・車が無いとどこにも行けないので、交通の便を良くしてほしい。</p>
142	<p>■医療機関の充実</p>
143	<p>■夫の転勤で全国を転々としています。今年度中には県外に行く立場で恐縮ですが、回答させていただきました。栗原市は都会とは違って落ち着いて暮らすことができ、とても好きな場所になりました。ただ車の運転ができない私にとっては、交通の便が悪くて非常に困りました。また、病院の数が少なく選択肢がないこと、商業施設がなく買い物をするときは市外に出なければいけないことも不便でした。将来の定住先候補として考えるほど宮城県のことを好きになったのですが、そういった不便さから宮城県なら栗原市ではなく仙台市を選ぶだろうと思います。</p>
144	<p>■診療科に偏りがあるため、クリニックや病院を増やすべき。数少ないクリニックの受診をするも、都会よりも横柄なスタッフが多いと移住してきて感じる。受付も最低限のマナーができていないことが多いので研修制度を設けるべき。診療科が少ないため、車1時間以上かけて通院中。親も子供も安心して過ごせるまちにするために、栗原での病院数と質の向上を図るべき。また、息抜きをする場所がなく、車で遠出しなければならない。市内に時間を潰せるお店やカフェ(チェーン店)、娯楽施設がないため作るべき。図書館も、座席数がかなり少ないので増やしたほうが良い。(以上の理由でこのまちで定住するのは不安があるため来年移住する予定です。)</p>
145	<p>■医療の充実</p>
146	<p>■・栗原市の医療の主軸である栗原中央病院に産婦人科(お産ができる)を常時設けて欲しいです。・病气や事情によって妊娠、出産できない方も居ると思います。その様な方への支援はあるのでしょうか?あるのであれば市民へ発信してほしいです。・医療的ケアが必要な子が沢山居ます。重度の場合、ベッドやバギー、車など自己負担で揃えています。補助があればと思います。医ケア児+親の交流の場を設けて欲しいです。</p>
147	<p>■・産婦人科・小児科・耳鼻科(栗原耳鼻いんこう科は、ドクターの評判がとても悪いから、行きたがらない)・皮膚科、コアな病院がない!非常に不便!そして、あったとしても、評判が悪い!皆、一関や古川に行っている。自然豊かで住みやすいが、若者は定着しない。市役所のふんいきも超悪い。あのどんよりした感じをどうにかして欲しい。子供達も(初めて来庁した)何なの市役所?と云ってますよ。イメージって大切だと思います。</p>
148	<p>■住みたい田舎1位に選ばれて居るので 定住イベント開催内容と 実際の暮らしが一致(交通網)等々 病院産科充実必要 栗原中央病院あるものの非常勤だけでは 大学から1週間に一度診療は無くすべき 毎日診療無ければ子育てする人は不安 子供は直ぐ体調崩しやすいから 診療行くにもたもらう 各診療する先生の定住促進 病院スタッフの子供預かり等々充実 都会から来て田舎キャップ無くす対策しないと 解決には中々繋がらない</p>
149	<p>■栗原市に産科医がないことがまず不安です。</p>
150	<p>■産科医院の設立は必須 築館町内の商店街復興→店舗を構える人への金銭的支援等</p>
151	<p>■産婦人科やレディースクリニックの充実、子どもと女性に対して手厚い町になることを期待する。</p>
152	<p>■妊娠、出産に対応できる病院、医師が減り続けている時点で論外。住宅ばかり増えて、子どもを産みたい若い世代を招く気がない、未来を考えられない行政だと落胆している</p>
153	<p>■産婦人科がないと出産はムリだと思う。だけど、その前に人が居なければ産婦人科も維持し続けることはできない。住むにはいいかもしれないが仕事する環境もないので人は来ない。現に都会のいいところがここに住みたいと言っている(人が優しいって言う理由で)が、仕事はないし、給料も安いからムリだと思うよ。と伝えたことがある。人と自然だけでは生活はできない。全部東京に密集せずに田舎に産業を振り分ければいいのになと思う。土地は余ってるのだから</p>

農林業の育成

154	<p>■若者が都会に出るのは必然の事だと思う。都会に負けて帰って来る者が、魅力的な仕事や充実した「くらし」ができればいいのかなあ。理想論でまずできないでしょうが…。なんだかんだで栗原は農業で食べてかないといけないうちです、一次産業を魅力的な仕事として何とかできないものか？</p>
155	<p>■農林業の所得増が基本。若者が働ける職場の増大。スポーツの盛んな街造り。</p>
156	<p>■公共交通機関が他のまちより充実していて、広大な土地もあるので是非それらを活かす方向に目を向けていただきたいです。高齢化が進み、田畑が荒れている様子が多く見られます。担い手不足は現状のまま変わらないと思います。であれば観光や企業誘致に力を入れる。例えば大規模な運動施設や音楽のライブもできるドームなど。他にも栗原市の交通網と広大な土地を活かすことのできることはもっとあると思います。市民の声を聞く場をまずは設けていただければ、いろいろな考えが出てくると思います。</p>
157	<p>■・企業の誘致や農業の推進など、若者（20～23歳）が魅力的に感じる仕事を増やす。・農業や林業などの一次産業の大きな拠点を作る。一次産業の中核となる地域となることで、他の地域からの人口流入や雇用を提供する。・米どころであることを生かすべき。民間の農業系企業が参入しやすい環境を整える。廃田などの土地を市で購入し民間に安めに提供したり。・日本酒やお菓子のブランドをもっと確立するべき。農作物を作り、それを利用する産業をより強固にするべき。→ブランドの設立、マーケティングをより入念にする、卸す。</p>
158	<p>■農業と兼業できる雇用の充実。働くところがないから若者が出て行ってしまいう現実もおもいます。あと、公園や外で遊ぶ場所が少なく感じます。コミュニティの場が増えればいいとおもいます。</p>
159	<p>■自由恋愛でなくとも結婚がしやすい社会。お見合いの復活。栗原に残る事に対するメリットの付与。地元に残り生活する人の年々毎の経済負担の軽減。栗原は商業や流通の要所として発達しづらいため、農業に対して力を入れ、住み込みでの農業アルバイトの普及、また開墾した土地の譲渡、働きお金を稼ぐ場所があり人が集まれば金は生まれます。農業ブランドとしての栗原の確立、また栗原の子供に対して小さな頃から農業や自然に対して触れる教育を実施し愛郷心を育む。</p>
160	<p>■仙台市などの大都市と連携した行政のあり方を考えてみたり、近隣の成功している都市、例えば一関市のような商業施設が充実しているのは何故か？など真似をするのではなく、何を核として栗原を魅力的にかつ、経済的に発展させていくのかを有識者を交えて討論すべきだと思えます。私は結婚する前は仙台市に住んでおりました。仕事で青森県、岩手県、栃木県、神奈川県に居たこともありました。その中で、栗原市は自然が多く、農業が盛んですので後継者の育成や支援の拡充、個人ではなく産官学の力で大規模化を推進できる仕組みを考えて頂きたいです。1つの大企業を作るのではなく、中規模大規模の会社、農家が沢山できたほうがより人が集まりやすい町になるのではないのでしょうか？</p>
161	<p>■職場環境が安定する交通手段が取れる会社や企業。農家に優しい町作りや、農家も会社組織として給料せいにし組合との差をなくす。</p>

産業育成と企業誘致

162	■大手企業の誘致が必要だと思います。ドン・キホーテ、マクドナルド、スターバックス、丸亀製麺、アパレルブランド等。
163	■若い人が定着するには1にも2にも就労場所と賃金で、それがあれば自然に市は豊かになると思います(大衡村「大和?」のように)。
164	■都市部(関東)から積極的に工場や商工業につながる物と呼んで、若者に色々な選択肢を示して、少しでも若者が定住しやすい環境を整える事が大事だと思います。その為には現役の(特に就職氷河期で苦しんだ人々)に大いに犠牲になってもらい、次世代の人達に尊敬してもらえるような行政の覚悟を示す必要があると考えています。誰かを見捨てるくらいの覚悟がなければ市の発展はありません。がんばって下さい。(少なくとも私はそれがかまいません)
165	■若者が定着するには働く場所が必要。企業の誘致。
166	■安定した雇用。それに伴う給料の上昇。
167	■大型の企業誘致。
168	■働く場所(企業誘致するなど)
169	■・賃金が安い。・働く場所が少ない。
170	■現在大学生ですが、就職する場合、企業の選択肢がない。給与面などどうしても仙台市などを選択してしまう。また、生活環境としては買物やレジャーにおいて施設が少なく、移動距離も長く不便を感じる。子供の成長を考えた場合(学校、教育)、栗原市での生活は考えられない。人口減少に歯止めはかからず、いかに縮小していくか考えるべき。
171	■・会社に託児所を設けるような支援。・若者が就きたいような職種の起業などの支援。
172	■大企業誘致。市政の柔軟性。
173	■起業を増やし、働く場所の充実。
174	■どんな企業がきても結局は高齢者のたまり場所になるのが問題だと思います。土地の相場が高すぎて、企業がこない問題の一つだと思います。
175	■・企業誘致。・核家族を増やさない工夫を考えて下さい。
176	■未婚の若者にもっとお金を配る 若い世代の給料を上げる
177	■給料が都心部に比べればはるかに安い。手取りが少ない事と選べる職場や求人が無いなどの理由で地元離れに繋がってると思う。都会のように高い給料が貰えるて働き続けられれば建物の維持管理や貯蓄に回せるお金が出来るので、安心して定住出来る環境になると思う。
178	■市の歴史や文化を大切にしつつ、若者が面白い、行ってみたいと思えるようなイベントや商業施設が増えると良いと思う。
179	■安定した雇用と給与及び安価で環境の良い住居の拡充。若者向けの商業施設ならびに娯楽施設の誘致。(現在遠く離れた所まで行かないと無いので移動だけで時間と経費が余計にかかるため)
180	■栗原市だけでなく、近隣の市や町と連携して 世界的な企業を誘致して雇用の場を拡げてはどうか? 結局のところ栗原市では魅力的な仕事がないから他所への転出も止まらないし、他からの移住も増えないと思う。今後の栗原市の目指す姿を栗原市長、栗原市議会の方々はどのようにお考えなのか 聞かせて下さい。
181	■住みやすい環境にするために、若柳にはスーパーが1つしかないのもっと増えてほしいと思いました。働く場所もあまりないので、もっと色々なお店が増えて欲しいです。
182	■1人で生活できるくらいの年収をでる職場が少ない。 出会いがあるような場所がない。他の県が来なくなるような場所がない。 商業施設がない。買い物等が不便で、若い人が集まるようなところがなく他の都市に行くようになる。 政策が若い人よりお年寄りにに向けてあるような気がする。若い人に合う政策を考えてみたらどうか? 理想は若い人が定住できて活気あるような都市に発展して欲しい。
183	■栗原市の財源を確保し、かつ若者の就労の選択肢を増やすために、原子力発電所と放射性廃棄物の最終処分場を栗原市に誘致する施策を提案します。

産業育成と企業誘致

184	<p>■・企業の誘致 ・以前あったスポーツ施設のアンケートの内容の実現 ・子どもの遊ぶ施設（最近では海外の知識も取り入れて室内で遊べる施設を作っているところもあるようです。） など 高速道路が2ヶ所、新幹線の駅もあるので若者の定着の可能性は大いにあります。大崎市や一関市のように一部でも中心地のような地域ができれば若者は集まると考えます。</p>
185	<p>■大企業を誘致する。高齢者を優遇するのではなく、若者を優遇する。道の駅を建てる。廃校を利用してもらい起業してもらう。キッズパークなど。学童保育の充実。私立学校の誘致。農作物のブランド化、広告にもっと力を入れる。巨大複合商業施設を建設し人を呼び。</p>
186	<p>■「村田製作所やトヨタなどの大手企業を誘致し若手を定住させる」結婚や出産、子育て支援の給付金を出しても、若者の働きたいと思う場所がなければ田舎には来ないし住まない。若者が来れば商店も潤うし起業も増えると思う。</p>
187	<p>■仕事がないので（しかも低賃金）雇用をもっと何とかしてほしい。外国人労働者を工場などで安い給料で雇っているが、日本人を優先してほしい。外国人労働者はいらないです。あと栗原市だけの問題ではないですが、社会保険料が高すぎる。結婚の予定ありませんが、パート・アルバイトで8時間以上働いて給料14万円いかない。ギリギリの生活です。車ないと生活できないし、お先真っ暗。これではパートナーも探す気力ありませんね。</p>
188	<p>■働く場所を増やす。栗原市に産婦人科の設置。オリンピック競技のスポーツ施設の増設。</p>
189	<p>■出産、子育てのことを考える前に、まずは若者が集まり定着してくれるような環境を整えることが先に必要と考えます。 ・勤めたいと思えるような企業を増やす。 →福利厚生が充実している、仕事を休みやすい。賃金が高い。 ・休日に人が集まるような魅力的なお店や施設、家族や子育て世代でも利用しやすいようなお店、施設を増やす。 →自然、温泉などの栗原市の強みを生かした新しい施設等。又は現在ある施設をリノベーションする等。 →魅力的な飲食店を増やす。</p>
190	<p>■栗原市の活性化には、若者が十年以上定住出来て、子育ても栗原市でやろうと思える程度には、収入が必要だと思います。 そのような雇用を栗原市に作ってほしいです。</p>
191	<p>■今の支援でも子育てはしやすくなってると思う。さらに企業誘致など働く場所の確保、娯楽、観光施設の充実にも力を入れるべき。子育てや出産ばかりでは、仕事とがなから若い人達は離れて行くし、娯楽や観光がないから若い人達はよりはつかない。何も無い栗原市だから子供が大きくなればまた栗原市から離れて行く。働く場所や娯楽や観光があれば「自分もこの栗原市で子供を産みたい育てたい」となると思う。</p>
192	<p>■まず何より最重要なのがショッピングモールや商業施設を誘致し、働く場所の確保と経済循環として消費活動ができる場所を作る必要がある。現状の市では金成と栗駒は一関市へ、若柳志波姫は登米市へ瀬峰高清水は大崎市へと人と金が流れている状態。いわば全方位ストロー現象が起きている。市の中心部である築館も多少の店はあるが全てにおいて魅力がなく飲食店も商業店もどこにでもある田舎の店やチェーンばかり。過去に店舗だった建物も住宅兼商店のため新たな店舗が入れずシャッターも人も錆びて風化していきだけの商店街となっている。 玄関口をうたっているくりこま高原駅周辺も大昔から言われているように開発が遅れに遅れもうイオンですらテナントの撤退で空きスペースが増え、フードコートは意味を無くし夜には客が少なすぎて開店するだけ損失だけが増えているようなもので潰れるという噂が流れてしまうほど手遅れである。 立て直しを考えるのであれば築館から志波姫に繋がる新バイパスのルートに新たな商業圏を作ることが必須である。 栗原中央病院から高原駅までの間に商業圏を誘致し中央病院側に陸上競技場とホッケーで多用される多目的競技場などを移設し震災など有事の際には病院との連携(野外病院や仮設診療、ドクターヘリ発着所)を可能にし、平時は競技場で開かれた大会等の参加者や家族、関係者が利用する際に便利な駅から競技場までの商業圏(ホテルや飲食店、スポーツショップ等)の展開など。 近隣都市に依存しない商業圏の構築がこれからの栗原再興に必須と考えます。 旧築館町の群時代で固まった考えの老人たちの反対(築館が主役にはないと協力しない他地域を下に見た態度)を押し切っても、現市長の子ども施策を餌に媚び売って数年前に手に入れた住みたい町ランキング 1位のいわば住むだけランキング 1位なんていません。 栗原で住めて働けて遊べてる栗原で完結できる街づくりが必要なのです。</p>

産業育成と企業誘致

193	<p>■栗原市は仕事がなさすぎる。あってもとても充実したものは無いので高賃金、福利厚生の手厚い職が必要。そのような企業を誘致、創業する事。不可能なのであれば、仙台のベッドタウンとして機能するよう通勤にかかる負担を減らす補助、手当などの拡充。あと、個人的な意見だが、主だった沼地にフェンス、立入り禁止の看板を立てるのをやめて欲しい。子供たちの自然学習の機会が損なわれている。老人達のヘラブリ釣り、自分位の若年層のバス釣りなどの娯楽も失われている。許可制なり、ライフジャケットの必着などルールも設けるなど。自然が豊かで魅力的だから栗原に住んでいるのに一番手近な自然との触れ合いの場が失われて本当に魅力のない、ただ生きる人、生きてるだけの住地となった。老後の楽しみもないので親が他界したら移住するつもりでいる。</p>
194	<p>■働き口が無いと定住者は増えない</p>
195	<p>■行政の取り組みとしては十分にできていると思うが、定着するために必要な職場がほとんどなく、自営業、農家、工場勤務、公務員、施設勤務等ほぼ決まっている。また子供の遊ぶところが少ないため、大規模な公園や、たくさんの雇用を生む道の駅、日本ではまだあまり作られていない今後人気になりそうな野菜作りや人気店の誘致は難しいと思うが、そのお店のためだけに県外から栗原市にくるような人気店の誘致。土地はたくさんあると思うのでまずは働く場所だと思います。</p>
196	<p>■産業の定着による人口の増加</p>
197	<p>■・若者が高校卒業後、大学卒業後に正社員として働ける会社・職種の提供。・専門学校（短大）の誘致。例）車の整備の学校→トヨタ・ホンダ・日産等の入社につながる。・出会うための場（堅苦しくないイベントや四季に応じたイベント、栗原市の桜祭り・夏祭り・ケーキバイキング等の提供）を率先してやる。「街コンと言ったら栗原市として、毎月軽いイベントを行う。」・出産の出来る病院とその後乳児に対応した相談窓口（24時間対応だと嬉しいかも。）今もあるけど子供が通院できる専門病院。・今もあるけど、図書館などの公共施設の充実。今ある施設の、もう少し広いパソコン使用スペースの拡充。軽食が買える（出来る）カフェなどの併設。（営業時間が20時くらいまで希望）・年寄りの場所は（パークゴルフ場など）は有るけど、現在若者が集まる場所が無いように感じるなのでそのような場があると良い。～こちらに嫁に来て10数年勝手に思ったことを書かせて頂きました。つたない内容を読んでいただきありがとうございます～</p>
198	<p>■就業場所を増やすこと、人に干渉する風習が無くなること</p>
199	<p>■働く場所の充実させることが必要</p>
200	<p>■経験がないと入れない仕事や分野が狭い。限定されたような仕事しかないため栗原から出たい人多いと思う。</p>
201	<p>■職場の確保が第一です。仕事が無ければ若者は住みません。もしくは仙台等へ、栗原に住みながら通勤できる仕組みを作るべきだと思う。新幹線の定期補助、高速バスの本数増加等、やり方はあるのではないのでしょうか。</p>
202	<p>■・働く場所を確保し、若者が定住できる環境を整えてほしい。・若者が集まる飲食店の充実。コーヒー店も。ファミレス、ファーストフード店。・若柳はヨークベニマルが無くなり、スーパーが減り高齢者も不便である。跡地に食品を売るお店を誘致してほしい。・気軽に集まりコミュニティを作る場としても飲食店が多くあるといい。・栗原市に産婦人科（産科）がないので、出産時困っているのでは？・とにかく若者に残ってもらえるような魅力がなければ流出していく一方だと思います。子育て充実するのはいいですが、子育て終了したあと、また移住されては意味がありません。・ベッドタウンとしてはいいけど、魅力がなければいいまちとはいづらいです。大型店やチェーン店など誘致していただき、地域が活性化して他の街からも人が集まってくるような栗原市となることを望みます。・中～高年の婚活イベントもあると、孤独死や栄養の偏りなどで体調悪化を防ぎ、健康寿命が伸びるのでは？</p>
203	<p>■住みやすい街ではあるが就職の選択肢が少ない気がします。企業の誘致や商業施設の充実が必要と思いますが、何をしても結局若者は都市部へ一度出ていきます。そこで戻りたくなるような街になっていれば良いと思います。それには何が必要か、結婚、子育てばかりに目を向け過ぎるのもどうかと思います。独身者が肩身の狭い思いをすれば該当者は去ります。</p>

産業育成と企業誘致

204	<p>■若者の定着。・働く場所がない。栗原が好きで住み続けたい子は居ますが、就職先を考えると働きたい職がないため市外へ出てしまいます。特に優秀な子は大手企業へ就くため街を出て行きます。企業の誘致を願います。・学生の遊び場、溜まり場がない。(若い世代も)若者が良く集まる、お手頃価格で利用できる施設(ファストフード店、サイゼリア等の安価なファミレス、丸亀製麺(お年寄りも利用できる)など)の誘致を願います。あまりにも遊ぶ場所がなく、かわいそうに思います。田舎から出たくなる気持ちが良く分かります。※まずは若者の定着がないと結婚、出産に繋がらないと思います。定着を最優先に考えていただきたい。※議員さんも若い方が増えたと思います。若い方の考えを取り入れていただきたい。</p>
205	<p>■若者が定着するまちには「働く場所」が必要です。結婚、出産、子育て支援がどんなに充実していても、そこで暮らしていくためには収入が不可欠です。その収入を得る勤め先がなければ人は定住できません。あるいはここ栗原市に暮らし、近隣で通勤可能な就職場所があればいいと思います。築館からであれば現在は高速バスで仙台まで約1時間の通勤も何とか可能です。そういった公共交通機関等のルート確保も継続すべきだと思います。就業場所の確保、雇用創出等と併せて、是非考えてもらえると有難いです。</p>
206	<p>■働ける場所があれば、若者が定住出来るのではないか。</p>

地域資源を生かした広域観光	
207	■あまり住宅ばかり増やさない方がいいのではないか…。森林保全（ジオパーク、景観）して下さい。
208	■調査お疲れ様です。個人的には栗原市の魅力は自然だと思っています。それを目的に通ってくる人に対してプラスの何かがあれば通う→住むになるのかな…と考えています。（花山の温湯温泉のクラウドファンディングの記事を読みました。実際に住むことで良さに気づく人もいるので、地おこ隊の取り組みは素晴らしいですね。）伊豆沼にシマエナガがやってきた時に何回も写真を撮りに行きましたが、北海道より近いということで関東からやってきている人がたくさんいました。とても良い環境なので、これからも続くといいなと思っていました（たまたまやってきたみたいなので、その後2年ほど見かけていませんが…）。その人たちは新幹線でやってきたそうですが、駅のまわりがあまり栄えておらず不便に思ったそうです（たぶん食事する場所が歩いて移動できる距離ではなかった？くわしくは分かりませんが…）。とりとめのなく書いてしまって申し訳ありません。私個人としてはとても好きな場所ですし、子供を産み育てていくのに良い場所だと思っています。これからも住み良い栗原市であって下さい！
209	■・商業施設（モール）等、人の集まる場所を作ったら良いと思います。・地域差が大きいと思われる為、各地域毎ではなく栗原市としての魅力をどんどん発信して行った方が良いと思います。・プロスポーツの受け入れ。
210	■交通機関の充実 雇用確保 観光
211	■チェーン店などを設置する。グランピングなどの少ない負担で気軽に旅行ができる場所を作る。（観光スポット的な）

コミュニティを大切にしたい地域づくり	
212	■世代を越えて、悩みなどを相談しあえる環境を提供して欲しいです。
213	■若い世代が、もう少し働ける社会を、増やしたり、又、気軽に遊びに、行けるようなコミュニティ的な広げてもらいたい。
214	■仕事があり 生活するのに支障がない収入(手元に残るお金)がある事を前提として 困っている事を気軽に相談出来たり、自身と同じ興味を持つ人達と実際に意見交換や教えてもらえる コミュニティ?等の充実があると良いかなと思います 人が集まるところに物や知識等が集まって それを見つけた人が集まると思うのです [自分の好きなこの場所がある] と感じてもらえたら定着し続ける一つの理由になるのではないのでしょうか
215	■新卒で今年から栗原市に住み始めたのですが、同年代の人と交流する機会がなく、関係を築くことが難しいと感じています。気軽に参加できる交流会のようなものが開催されたら是非参加したいと思っています。

市民のまちづくり活動	
216	■他の地域とは違う思い切ったまちづくり。今までと同じことをずっとやっている事ばかり。高齢者の意見ばかり聞かないで下さい。自然を大切に自給自足を目指しやすいサポートを補助金を願います。新しいこととするなら、止めることも実施。イノシシを加工して食べる施設欲しいです。◎移住者同士の交流会を定期的にやって欲しい。月1回ペース（場所だけ用意してもらい、飲食は持ち込みにして、低参加費で）。◎補助金30万円、10/10補助、個人でも可で毎年10件くらいで面白い栗原活性化企画に予算をプレゼントして欲しい。

効率的な行政サービス	
217	■住民税10%を恒久的に減税し手取りを増やす政策を行うこと。光熱、水道費に補助を出し、手取りを多くすること。
218	■色々な方の意見を聞くのが一番だと思います。
219	■引越してくるメリットがなければ誰も来ない。
220	■若者、現役世代の優先した行政。
221	■楽しく働ける、安定した収入のある仕事、職場がたくさんあれば人は残るのではないのでしょうか。若い人がやってみたいと思うような新しい仕事、それに対する金銭的・人的な支援、それを継続的に続けて外にももっとPRして知らせる。栗駒でやっているような事を他の町でもやっていけば人が来るのではと思います。楽しい、人がたくさん参加してくれるようなイベント、興味を引くような新しいことをどんどんやっていくべきではないかなと思います。
222	■働いている独身男性に市からの情報が届いていないと感じるので、広報に小さく掲載するより、ポスターや大きな催し等で目に付くと助かります。
223	■減税
224	■・空き家をリフォームし、5～10年既住した（賃貸し）場合、自分の持ち家になる制度があると良いと思う。・若者だけではなく、晩婚層にも移住支援などがあると良いと思う。・栗原市の移住支援制度がいまいち分かりずらいです。移住後、そのような支援が分かり、市役所に確認したが数年が経っている為、制度が使えませんでした。
225	■定着している所を例にする。
226	■とにかく減税。
227	■子ども1人あたりの手当て、並びに減税
228	■経済負担の低減
229	■栗原市が発展するために。 1.市議会議員を他市町村並みに減らす。（なぜ栗原市より人口の多い市の議会議員数より多いのか） 2.議会議員の報酬を人口あたりで決める。（なぜ栗原市より人口の多い市の議会議員の報酬より多いのか） 3.全国に先駆け議員定年制の導入。（70代以上の議員に現代の若者の現状がわかるはずがない）
230	■money
231	■同じ職業で働いていますが、仙台で暮らしていた時よりも、年収が下がってしまい、家庭を持つことに不安があります。働き場所が増え、選択肢が増えると嬉しいなと思います。
232	■移住し、移り住むには近隣に比べてアパートの家賃が高いように思う。転職もして移り住むには不安が残るので、市営住宅の選択肢や家賃補助制度を充実させてほしい。
233	■出会いの場をメール等で案内が欲しいです。すでに実施済みでしたらすみません。
234	■子連れやカップルの人達がそれぞれに楽しめるような場所が少ない感じがする。
235	■制度、手続きの流れがよく分からない。
236	■・安定的な収入を得るための仕事。・快適で安定したインフラ整備。・低所得者や子育て世代ばかりの給付金に、中間層で働きながら納税している者からすると不平等を感じる。給付金はその場しのぎにすぎません。減税の方が平等で事務経費も少額で済むし、労働者の就業意欲を削がないような対策を考えて欲しい。手取りが増えれば結婚、出産、子育て、定住につながると思います。
237	■人口減少が加速化している中、総合支所や小中学校、病院等の市が運営する、所有する施設や事業所の集約化、閉鎖等、集中と選択をし、職員不足やサービスの低下を補っていくべき。費用対効果を重視し予算を割り振りしてほしい。
238	■出産可能(適年齢)年齢の女性が自由度高く働ける企業・業態が、市内に数多くあることがマストだと思う。栗原市の施策はこれまでいつも、他の自治体の後追いのものばかりの印象が強い。失敗してもいいから何処も取り組んでいない新しい施策、または取り組んでいる自治体の少ない施策に目を向けるべき。自分はあまり詳しくないが、栗原市では全国でも数が少ないジオパークというものに取り組んでいるので、そういう全国的にも珍しいものを観光だけでなく研究する人や機関も招き入れることが出来ると思う。

効率的な行政サービス

239	■就職先の充実
240	■分からない
241	■支援とサポートを充実にしつつ、移住希望者に注目が集まりやすくする。

その他	
242	<p>■数十年、関東の方に住み、地元に戻りました。質問内容が主に、結婚出産子育て。人口が減っているのは分かりますが、子供ができない、結婚できない、单身も多々います。そちらには何も保障はなく、子供がいる家庭だけ優遇するのもいかがなのでしょうか？税金を使うのですから、平等にやって頂ければと。子供をつくるのは自己責任だと自分は思います。子供ができない人にはただ損をする感じがありどうなのかと…。年老いた一人身の方々の土地の除草や、土地の維持などにも目を向けて…。個人的には栗駒の町づくりがとても良く感じます。高齢の方は多いですが、移住の方も多く、イベントもあり、いい町だなあと感じます。有壁も歴史ある町なので、駅周辺で何かできないかなあと感じます。地元に戻り、まだ数ヶ月の感想です。</p>
243	<p>■〇世間全体で結婚・出産が“女性の幸せ”みたいな空気を出してくるのが苦痛。独身者に対する支援もほしい。独身者だろうが既婚者だろうが、物価高で困っているのはみんな同じなのに、子育て世代ばかり注視されているのが心良くは思えない。〇交通の便が悪い。就職するにも、まずは免許を取得することから始めないといけないからハードル高い。免許を取得するための支援もあるといいと思う。〇自治会をなくしてほしい。休日の早朝から草刈りの強制参加は納得いかない。近所付き合いは最小限にしたい。</p>
244	<p>■住みたい田舎ランキングで1位になりましたが、市外の方々に対しての優遇だけではなく（移住してくる方々だけでなく）栗原で生まれ、育ち、学び…長年生活している市民への恩恵がもっと充実すれば良いと思います。“今までもこれからもずっと住みたい田舎ランキングがあれば1位になれるような栗原市が良いです”子育ても終わり、自分達だけの生活となった今、老後を考えて生活しやすい地域に移り住んでも良いなあ～と思っている所です。（お店とか病院とか、行きたい場所にすぐに行ける等）若者が定着する事だけが大切ではないと思うので、高齢者よりも少し若い世代（中年）も大切にしてほしいです。</p>
245	<p>■申し訳ないのですが、私個人としては結婚や出産、子育てには一切興味が無く独身のままで十分幸せです。私のような考えで人口減少に繋がっているのも否めません。しかし、人と価値観が合わず精神を病む事の多い私には結婚＝ストレスにしかありません。子供も好きではありません。私のような人間が存在する事を知ってほしいです。</p>
246	<p>■高齢者や子育て世代には制度は充実してると思うがその他の現役世代に対しての制度が少ないように感じる。また、出産も市外に行かなければ産院もないので安心しての妊活、出産が難しいと考える。</p>
247	<p>■現在の老人が幅を利かせ、好き勝手に暮らしている状況の是正をしてほしいです。具体的には車道にはみ出て走る自転車の老人、地域コミュニティや行政で無駄に老人向けイベントを開くこと、高齢者マークをつけた車がよく行う直進車を無視して強引に右折する行為、地域行政で老人が決めたルールを話し合うこともせず一方的に強制してくること、歩道があるのにも関わらず車道を歩く老人、こういった老人の自分勝手な行為を是正しなければこの街はいつまでも若者が定着せず、老人が減っても無人の街が残るだけだと感じます。もちろん行政だけでは対応が難しいかもしれませんが、できるだけこういった行為に対する行動を起こしてほしいです。このまま老人だけをのさばらせていてはこの街はいずれ死んでしまいます。どうかこの現状を打破してください。お願いいたします。</p>
248	<p>■不倫や浮気が多い栗原市では、若者だけではなく高齢者の不倫問題も問題になっている。そこで、各夫婦達が不倫浮気の出来ない街作りが必要です。東京の様な不倫が毎日あるような街ならば住みたくはありません。不倫される側にも問題はあります。でも、不倫で子供達が一番悲しむ訳ですから。</p>
249	<p>■・空き家のリノベ支援。・テレワーク施設整備。・農業や観光を職業として魅力化（観光プロデュース、アグリビジネス）。・公共交通の充実。・イベントで交流を促進。・若者が企画、運営するプロジェクトの資金援助。・スタートアップ支援、リモートワーク施設。・若者カフェ、地域ラボ、サードプレイスの設置。</p>
250	<p>■通信インフラの充実、交通機関の少なさを理解し、リモート、テレワーク化業務の推奨。それに伴うサポートの充実。</p>
251	<p>■仙台等に行く交通機関を無料回数券を年に何枚か20～50代に配布＆大規模な宣伝を何十年か続ける。中途半端に観光に力を入れるよりは、今ある交通機関のアクセスをつかって、若者をつった方が良い。</p>
252	<p>■お金の問題を解決する</p>

その他

253	<p>■・安定した収入を得られる働く場が必要。・女性に対する古い価値観を向けられると、特に若い女性は都市部に出て行っている気がするので、その意識改革が必要だと思う（難しいと思いますが）。地域の集まりで、女性だけが動いている等。</p>
254	<p>■自分のやりたいことと職業とキャリアのギャップがある為になかなか難しいところがあると感じる。</p>